TOSHIBA
Leading Innovation

東芝デジタル複写機

印刷ガイド

e-STUDIO255/355/455

●このたびは東芝デジタル複写機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

©2009 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved
本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷方法について説明しています。これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
⚠注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
注 意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
補 足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
📖	関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本文中の画面について

本書に掲載している画面は、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

□ 商標について

- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueTypeおよびLaserWriterは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

目次

はじめに **1**

第1章　概要

特長および機能について **6**

プリンタドライバについて **7**
Macintosh 7
UNIX/Linux 7

第2章　Windowsアプリケーションから印刷する

プリンタドライバを使用する前に **10**
オプション構成を設定する 10
部門コードを設定する 13
Windows用PPDファイルをコピーする 15

アプリケーションから印刷する **16**
注意点と制限事項について 16
印刷方法 17

印刷機能をセットアップする **19**
セットアップ方法 19
プリンタドライバの設定 23

さまざまな機能を使って目的別に印刷する **58**
印刷ジョブタイプ 58
［基本］タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能 67
［フィニッシング］タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能 68
［排紙先／挿入］タブで設定する仕上げ機能 75
［効果］タブで設定する仕上げ機能 78
さまざまな用紙を使って印刷する 82

第3章　Macintoshアプリケーションから印刷する

アプリケーションから印刷する（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x） **88**
注意点と制限事項について 88
印刷方法（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x） 88
「ページ設定」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x） 90
「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.3.x ～ Mac OS X 10.5.x） 95
「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.x） 111

第4章　UNIX/Linux環境から印刷する

アプリケーションから印刷する **124**
注意点と確認事項について 124
LPコマンドを使用して印刷する 125
一般的なlpおよびlptapオプション 125
一般的なオプション 126
PCL5e固有オプション 134

第5章　操作パネルから印刷ジョブを管理する

印刷ジョブの実行状況を確認する **138**
通常印刷／予約印刷ジョブ 138
お試し印刷ジョブ 142

プライベート印刷ジョブ 145
ホールド印刷ジョブ 149
無効ジョブ 153
USBメディアからファイルを印刷する（USBダイレクト印刷） 156
印刷ジョブの実行履歴を確認する 161

第6章　その他の印刷方法

FTP印刷 164
Eメール印刷 165

第7章　フォント一覧

内蔵フォント一覧 168
内蔵PCLフォント一覧 168
内蔵PSフォント一覧 169

索引 171

1

概要

この章では、印刷機能の概要を説明します。

特長および機能について 6

プリンタドライバについて 7

Macintosh 7

UNIX/Linux 7

特長および機能について

サポートするクライアントプラットフォーム

本機は、IBM互換コンピュータ、Macintosh、およびUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。（プラットフォームによってサポートする機能は異なります。）

多様なポート機能

SMB、IPP、Raw TCP、DPWS、LPRポートの印刷ポートをサポートしています。

多様な印刷ジョブ

印刷ジョブの種類を用途によって使い分けることができます。

- 通常印刷は特別な設定を必要としません。通常は、この印刷モードを使用します。
- 予約印刷では、印刷する時間や日付を指定して印刷します。
- プライベート印刷では、本機の操作パネルよりパスワードを入力するまで、ジョブを保持します。
- ホールド印刷では、本機の操作パネルより印刷操作を実行するまで、ジョブを保持します。
- お試し印刷では、複数部数を設定した印刷ジョブを１部だけ印刷します。印刷結果を確認後、残り部数の印刷を実行します。
- オーバーレイファイルで保存では、印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。保存したオーバーレイファイルは印刷する文書の背面に印刷することができます。
- 本体に保存では、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管します。

高度なフィニッシングオプション

本機に装着されているフィニッシングオプションの構成によって、ソート印刷、グループ印刷、ステイプル印刷、サドルステッチ印刷、ホールパンチ印刷など、さまざまな出力機能を使用できます。

レイアウトの変更とページ組み機能

アプリケーションで作成した文書をそのまま印刷する以外に、両面左右開き印刷や複数ページを1枚の用紙に印刷するなど、レイアウトを変更して印刷を実行できます。
また、表紙印刷や裏表紙印刷、指定したページのシート印刷、ページごとに用紙を挿入する差し込み印刷なども利用することができます。

多様な大きさの印刷用紙に対応

アプリケーションで作成した文書を、カスタム用紙サイズで定義した定型サイズより長い用紙（最大297×432 mm）に印刷することができます。

ウォーターマークとオーバーレイファイル

ウォーターマークは、印刷する文書に指定の文字列を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。ウォーターマークによって、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類できます。代表的なウォーターマークとして、「コピー」、「ドラフト」、「社外秘」などがあります。いくつかのウォーターマークは用意されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。
オーバーレイファイルは、ウォーターマークと異なり、テキストだけでなくグラフィックスなどを含んだドキュメントをオーバーレイファイルに変換し、透過した状態で印刷する文書の背景として印刷されます。グラフィックスを使用するため、通常のテキストのみのウォーターマークより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より文書に適応したウォーターマークを印刷したい場合に便利です。

注 意

本機では、プリント機能はオプションです。お使いの機体によっては、すでにオプションが装着されている場合があります。

プリンタドライバについて

OSごとのプリンタドライバはClient Utilities CD-ROMに収録されています。必要なドライバのインストール方法については**インストールガイド**を参照してください。

■ Macintosh

Macintosh用のプリンタドライバは、Client Utilities CD-ROMの下記フォルダに収録されています。

Macintosh PPDファイル

- ［Client Utilities CD-ROM］:MacPPD:OSX
  Mac OS X 10.2.4～10.5.xの環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。

■ UNIX/Linux

UNIX/Linux用のプリンタドライバは、Client Utilities CD-ROMの下記フォルダに収録されています。

Solarisフィルタ

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/SolarisFilter/Usa/
  Solaris v2.6/2.7/7.8/8/9用tarファイルが収録されています。

HP-UXフィルタ／HP-UX64フィルタ

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/HP-UXFilter/Usa/
  HP-UX ver.10.20/11.x用およびHP-UX64 ver.11.31用のtarファイルが収録されています。

AIXフィルタ

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/AIXFilter/Usa/
  AIX 4.3.3用tarファイルが収録されています。

Linuxフィルタ

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/LinuxFilter/Usa/
  Red Hat 7.x/8.x/9.x、Red Hat Enterprise WS2、SuSE Linux 7.x/8.x/9.x、Mandrake Linux 7.x/8.x/9.x、Turbolinux 8/10用tarファイルが収録されています。

SCOフィルタ

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/OpenUnixFilter/Usa/
  SCO UNIXWare 7およびSCO Open UNIX 8用tarファイルが収録されています。

CUPS PPDファイル

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/CUPS/Usa/
  UNIX/LinuxのCUPS環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。

2

Windowsアプリケーションから印刷する

Windowsからの印刷方法について説明します。

プリンタドライバを使用する前に 10
- オプション構成を設定する 10
- 部門コードを設定する 13
- Windows用PPDファイルをコピーする 15

アプリケーションから印刷する 16
- 注意点と制限事項について 16
- 印刷方法 17

印刷機能をセットアップする 19
- セットアップ方法 19
- プリンタドライバの設定 23

さまざまな機能を使って目的別に印刷する 58
- 印刷ジョブタイプ 58
- [基本] タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能 67
- [フィニッシング] タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能 68
- [排紙先／挿入] タブで設定する仕上げ機能 75
- [効果] タブで設定する仕上げ機能 78
- さまざまな用紙を使って印刷する 82

プリンタドライバを使用する前に

印刷を行う前に、以下の機能を設定してください。

- **オプション構成の設定**
  本機に装着されているオプションの給紙カセット、フィニッシャ、ホールパンチユニットなどのオプション構成を設定します。このオプション構成情報を設定しないと、装着したオプション機器の機能は使用できません。

印刷を行う前に、必要に応じて以下の機能を設定してください。

- **部門コード**
  本機は、各ジョブを部門コードで管理することができます。この機能は、ジョブカウンタ情報を部門コードごとに管理します。たとえば、ネットワーク管理者は、この機能を使って特定の部門が実行した印刷部数を確認できます。部門コード機能が有効に設定されている場合、印刷を実行するには部門コードの入力が必要となります。また、プリンタドライバの双方向通信が有効時に印刷操作を行うと部門コードの入力要求画面が表示されます。
  使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。また、あらかじめプリンタドライバの［部門コード］ボックスに部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

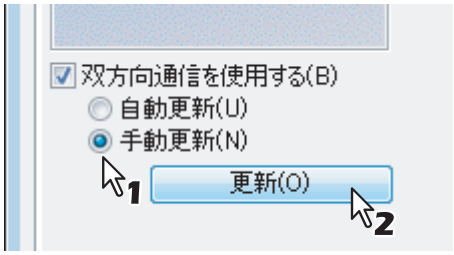
■ オプション構成を設定する

プリンタドライバのインストールが完了したら、本機の機能を正しくお使いいただくために、［構成］タブを開いて装着されているオプションの構成情報をプリンタドライバに設定する必要があります。初期設定では、プリンタドライバの［構成］タブを開くと自動でオプション構成情報を取得します。本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合などに、オプション構成の設定を手動で行うときは、以下を参照してください。

P.10 「手動でオプション構成を設定する」

補 足

- 本機と双方向通信できる場合は、［手動更新］を選択し、［更新］をクリックしたタイミングで本機のオプション構成情報を取得できます。



- 本章に掲載されるスクリーンショットは、すべてWindows Vistaで表示される例です。

□ 手動でオプション構成を設定する

本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合の手順です。

手動で［構成］タブを設定する

重 要

Administrators（管理者）（Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合）またはPower Users所属のユーザ（Windows 2000の場合のみ）でログインする必要があります。

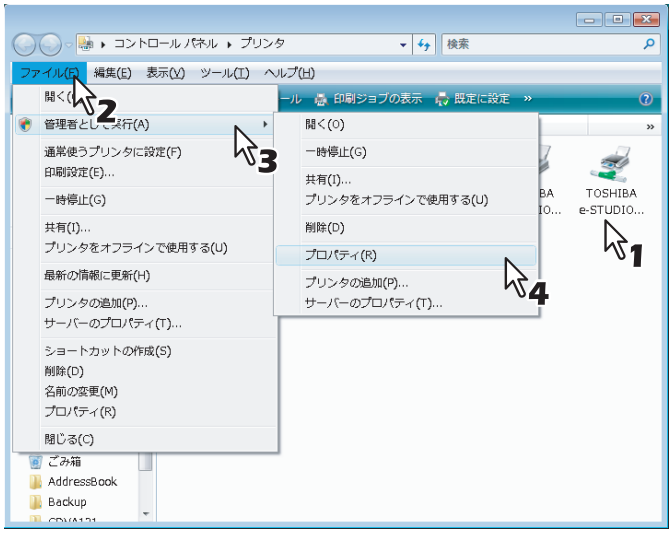
1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択します。

プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows XP/Server 2003をお使いの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows 2000をお使いの場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

2 本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［管理者で実行］、［プロパティ］の順にクリックします。管理者アカウントのパスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。

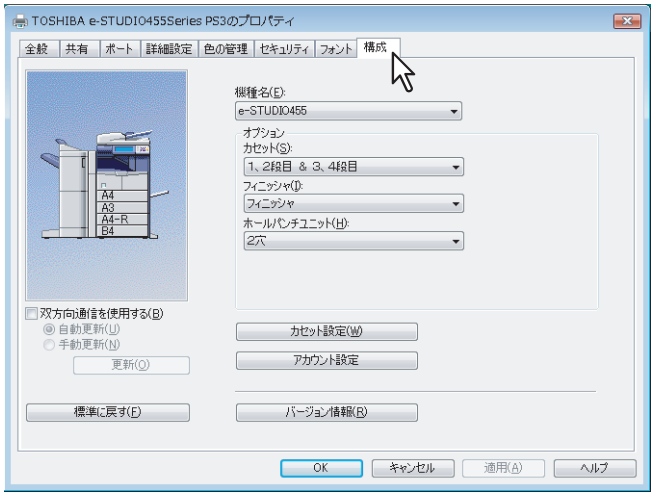


- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
- 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示されます。
- ユーザアカウント制御が無効になっている場合は、プリンタドライバのダイアログボックスが表示されます。手順4へ進んでください。

3 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスの［続行］をクリックします。

プリンタドライバのダイアログボックスが表示されます。

4 ［構成］タブを選択し、以下のオプションを設定します。



機種名：機種名を選択します。
オプション：以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

- **カセット**：カセット（3、4段目カセット（オプション）、または大容量給紙装置（オプション））が装着されているかを設定します。
- **フィニッシャ**：フィニッシャ（オプション）が装着されているかを設定します。
- **ホールパンチユニット**：ホールパンチユニット（オプション）が装着されているかを設定します。

補 足

各項目の詳細については、［構成］タブの説明を参照してください。
P.54 「［構成］タブ」

5 ［カセット設定］をクリックします。

「カセット設定」ダイアログボックスが表示されます。

6 以下のオプションを設定し、[OK] をクリックします。



1段目カセット：1段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
2段目カセット：2段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
3段目カセット：3段目カセット（オプション）が装着されている場合に、セットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
4段目カセット：4段目カセット（オプション）が装着されている場合に、セットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
大容量給紙装置：大容量給紙装置（オプション）が装着されている場合に、セットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
手差しトレイ：用紙タイプ、および使用目的を選択します。
ドライバ給紙元優先：アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用する場合にチェックボックスをオンにします。

補 足

各項目の詳細については、カセット設定の説明を参照してください。
P.56 「カセット設定」

7 [適用] をクリックし [OK] をクリックして、設定を保存します。

■ 部門コードを設定する

本機が部門コードでカウンタ情報を管理している場合、各ユーザはプリンタドライバを介して印刷ジョブを送信する際に部門コードを入力する必要があります。ネットワーク管理者は、部門コード機能を使用し、特定の部門が実行した印刷部数を確認できます。また、各ユーザは印刷ジョブをどのユーザが送信したのかを本機のタッチパネルまたはジョブ監視ツールから確認することができます。部門コードの入力が必要であるかは管理者にご確認ください。また、必要である場合、入力すべき部門コードをあわせてご確認ください。
部門コードを入力する場合、以下の手順であらかじめプリンタドライバの［部門コード］ボックスに部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

注 意

本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとして部門コード強制の設定に従って処理されます。

補 足

- TopAccess管理者設定の部門管理強制の有効／無効、また本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。双方向通信が有効で部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。双方向通信が無効で部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、［部門コードなし印刷ジョブ］リストに表示されます。部門管理強制が無効の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
- 部門コードは、印刷を実行するごとに入力できます。複数の印刷ジョブを異なる部門コードで処理する場合は、印刷を操作するときに該当する部門コードをそれぞれ入力してください。

部門コードを入力する

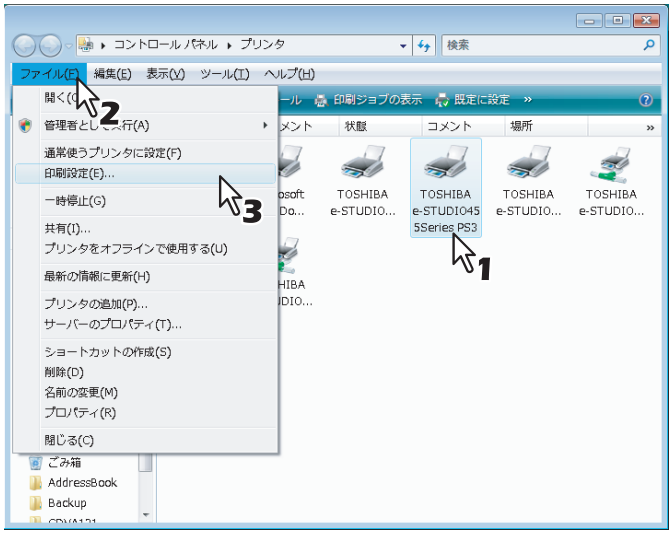
1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択します。

プリンタフォルダが表示されます。

補 足

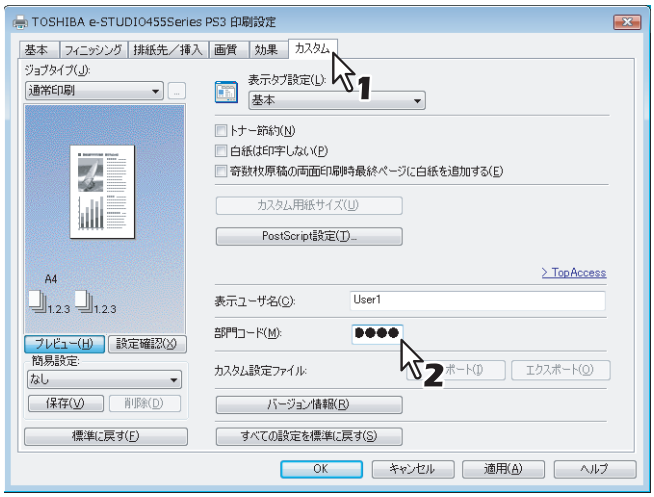
- Windows XP/Server 2003をお使いの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows 2000をお使いの場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

2 本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。



- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
- 印刷設定のダイアログボックスが表示されます。

3 ［カスタム］タブを選択し、［部門コード］ボックスに部門コードを入力します。



このボックスには、5桁の部門コードを入力します。部門コードが5桁未満の場合には、コードの先頭に0を付加し、5桁のコードにして入力してください。

4 ［適用］をクリックし［OK］をクリックして、設定を保存します。

■ Windows用PPDファイルをコピーする

Client Utilities CD-ROMには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

PPDファイルをコピーする

1 Client Utilities CD-ROMのPS3プリンタドライバが収録されているフォルダを開きます。

- Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合：
  [Client Utilities CD-ROM]：¥Client¥Drivers¥PS¥W2K_XP_VISTA¥JPN¥
- Windows XP x64/Vista x64/Server 2003 x64/Server 2008 x64の場合：
  [Client Utilities CD-ROM]：¥Client¥Drivers¥PS¥XP_VISTA_X64¥JPN¥

2 PPDファイル（*.ppd）を適切な場所にコピーします。

補 足

PPDファイルのコピー先については、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

アプリケーションから印刷する

Windowsアプリケーションからの印刷方法について説明します。
🕮 P.16 「注意点と制限事項について」
🕮 P.17 「印刷方法」

■ 注意点と制限事項について

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとして部門コード強制の設定に従って処理されます。
  また、Windowsドメイン認証を使用している場合は、コンピュータがドメインにログインしている必要があります。
- いくつかの印刷機能は、プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できます（例：丁合機能など）。ただし、アプリケーションで丁合機能を設定すると、正しく印刷されない場合があります。この場合には、プリンタドライバのソートモード機能で設定し、アプリケーションでは設定を行わずに印刷してください。また、アプリケーションによっては、印刷の向きなど、アプリケーションでの設定が必要になる印刷機能もあります。プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できる場合は、アプリケーションの取扱説明書で説明されている印刷方法を参照してください。

［アプリケーションのPostScriptを優先］項目について

- PS3プリンタドライバを使用してAdobe Acrobatから印刷する際に、プリンタドライバのPostScript設定で［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスがオンになっている場合は、用紙サイズに合わせて印刷をする機能は無効になります。用紙サイズに合わせて印刷を行う場合は、［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
- Adobe Acrobatなど印刷時にPostScriptコードを独自に作成するアプリケーションからPS3プリンタドライバを使用して印刷する場合、以下の印刷機能が正常に機能しないことがあります。その場合は、［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにして印刷を行ってください。
  - 手動倍率
  - 用紙サイズ
  - 用紙タイプ
  - 表紙挿入
  - 裏表紙挿入
  - 指定ページに挿入
  - 1ページごとに挿入
  - マガジンソート
  - Nin1印刷
  - ［効果］タブの全機能
  - ［画質］タブの全機能
  - 余白

■ 印刷方法

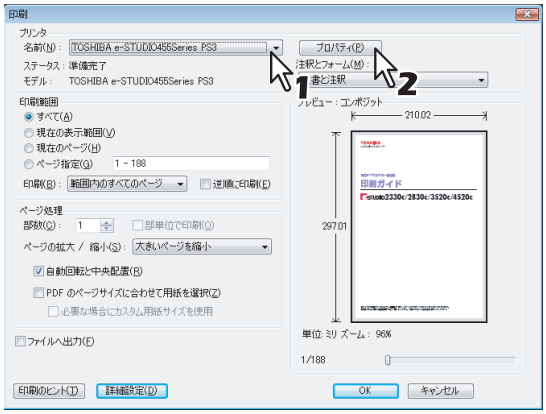
プリンタドライバをインストールし、設定を完了すれば、ほとんどのWindowsアプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選択するだけで印刷を実行できます。プリンタドライバが提供する印刷オプションを設定すると、印刷目的に合ったさまざまな印刷機能を使用することができます。

Windowsアプリケーションから印刷する

1 印刷するファイルを開き、アプリケーションの［ファイル］メニューから ［印刷］を選択します。

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

2 プリンター覧から使用する 本機プリンタドライバを選択し、［プロパティ］をクリックします。

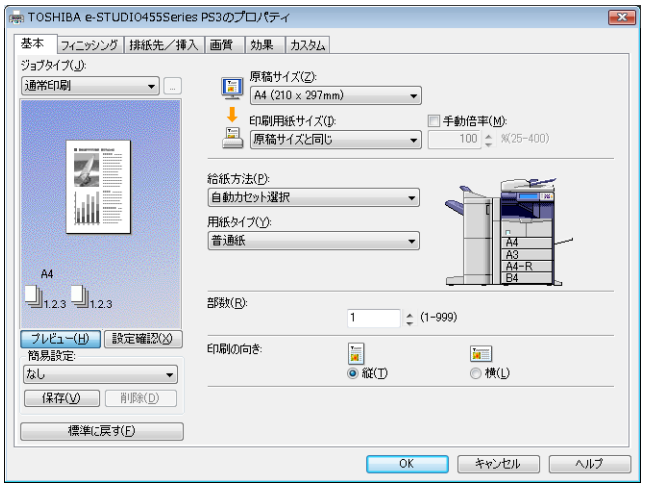


プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

注 意

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示させる手順は、お使いのアプリケーションによって異なる場合があります。詳細はアプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

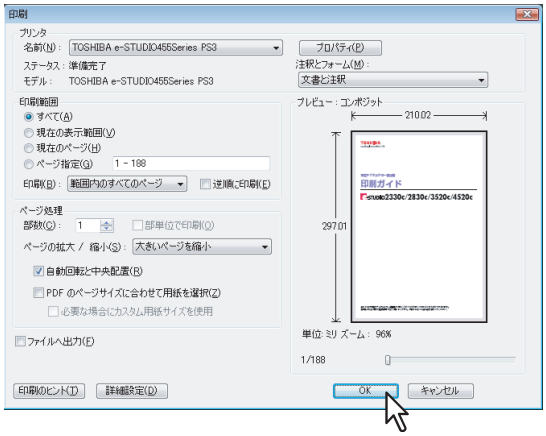
3 印刷目的に合わせ、各タブで印刷機能を設定します。



- 印刷機能の設定は、どのように印刷するかによって異なります。
  P.23 「プリンタドライバの設定」
- 簡易設定を使って印刷機能を設定することもできます。
  P.20 「簡易設定を使って印刷機能を設定する」

4 ［OK］をクリックして、設定を保存します。

5 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックして、文書を印刷します。



印刷機能をセットアップする

印刷機能では、印刷ジョブの印刷方法を設定します。たとえば、プライベート印刷やお試し印刷は本機が印刷ジョブをどのように処理するかを設定するものです。

補 足

印刷目的に合った印刷機能を確認するには、以下を参照してください。
P.58 「さまざまな機能を使って目的別に印刷する」

■ セットアップ方法

印刷機能を設定する方法はいくつかありますが、設定が印刷にどのような効果をもたらすかは、印刷機能の設定方法によって異なります。また、プリンタプロパティのダイアログボックスに表示されるタブも、それぞれの表示方法によって異なります。

□ 印刷機能の初期値を設定する

プリンタフォルダからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で印刷機能を設定します。

表示方法：Windows Vista/Server 2008の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］メニューの［プリンタ］を選択します。

2 本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。
［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。

表示方法：Windows 2000/XP/Server 2003の場合

1 ［スタート］をクリックし、［プリンタとFAX］（Windows 2000 の場合は、［設定］→［プリンタ］）を選択します。

2 本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。

□ 印刷ジョブごとに印刷機能を設定する

アプリケーションの「プリント」（印刷）ダイアログボックスからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、現在の印刷ジョブのみに適用されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると無効になります。

表示方法：

1 アプリケーションのファイルメニューから ［印刷］を選択します。

2 プリンター一覧から使用する 本機 プリンタドライバを選択し、［プロパティ］をクリックします。

□ 簡易設定を使って印刷機能を設定する

簡易設定では、印刷機能の設定を保存したり、保存した印刷設定を呼び出して使用することができます。

補 足

工場出荷時に4個の簡易設定が登録されています。

- 会議資料印刷
- 小冊子印刷
- 配布資料印刷
- ファイルとじ用印刷

簡易設定を使用するには、まず印刷機能の設定を簡易設定ファイルとして保存する必要があります。
🕮 P.20 「簡易設定を保存する」
簡易設定を保存すると、特定のジョブを印刷する際にいつでも適用することができます。
🕮 P.21 「簡易設定を適用する」
簡易設定は必要がなくなったら削除できます。
🕮 P.22 「簡易設定を削除する」

簡易設定を保存する

プリンタドライバの簡易設定は、あらかじめ登録されている4個を含め最大20個まで作成できます。

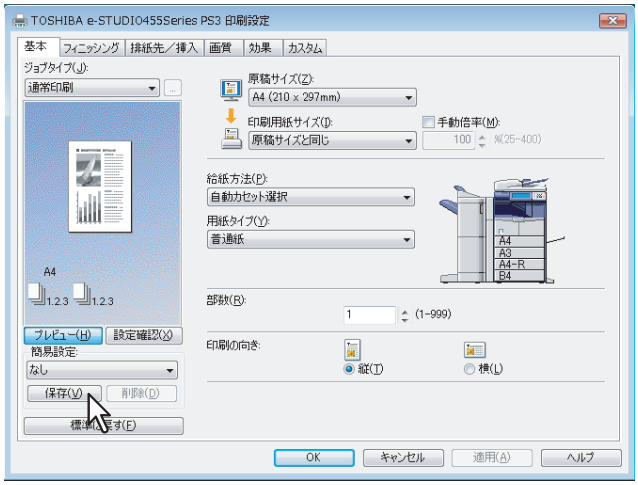
補 足

あらかじめ登録されている簡易設定は同じ名前で上書き保存、または削除することができます。

1 各タブで、印刷目的に合わせ印刷機能を設定します。

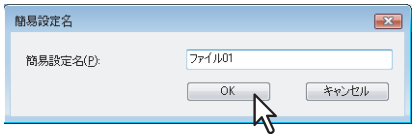
印刷機能の設定は、どのように印刷するかによって異なります。
🕮 P.23 「プリンタドライバの設定」

2 簡易設定の印刷機能の ［保存］ をクリックします。



「簡易設定名」ダイアログボックスが表示されます。

3 簡易設定名を入力し、[OK] をクリックします。



ファイル名は、半角・全角63文字以内で入力します。

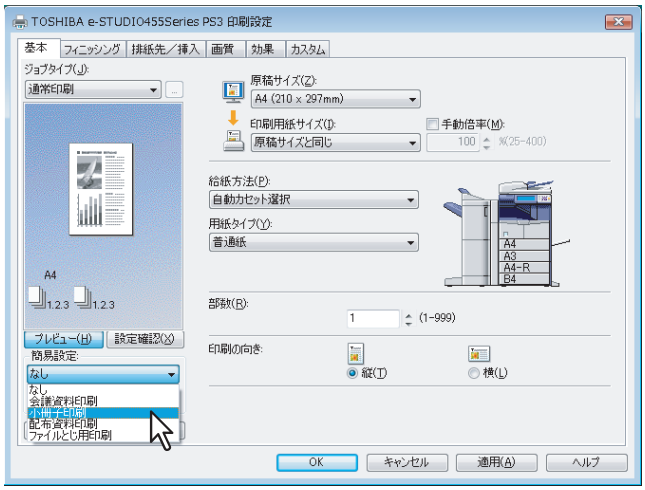
補 足

- 簡易設定名がすでに使われている場合は、既存の簡易設定ファイルを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は、[OK] をクリックします。
- 20個を超えて簡易設定を保存した場合には、「簡易設定が一杯です」というメッセージが表示され、設定内容が [一時保存] として保存されます。[一時保存] に簡易設定名を作成するには、不要な簡易設定を1つ削除し、[一時保存] を選択して [保存] をクリックします。
- 簡易設定名に [なし] を設定することはできません。

4 簡易設定が保存されます。

簡易設定を適用する

1 [簡易設定] ボックスで目的の簡易設定名を選択します。



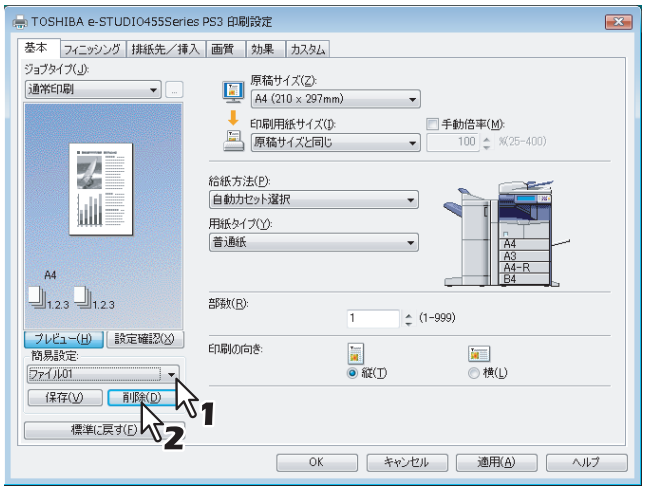
選択した簡易設定ファイルの設定が、各印刷機能タブに自動的に反映されます。

注 意

[簡易設定] ボックスから [なし] を選択しても、プリンタドライバの初期設定に戻すことはできません。簡易設定を選択した後に初期設定に戻す場合は、各タブの [標準に戻す] をクリックします。[フォント] タブ、[構成] タブ以外のすべてのタブを初期設定に戻す場合は、[カスタム] タブの [すべての設定を標準に戻す] をクリックします。

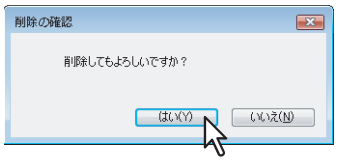
簡易設定を削除する

1 **［簡易設定］ボックスで目的の簡易設定名を選択し、［削除］をクリックします。**



削除を確認するメッセージが表示されます。

2 **［はい］をクリックし、選択した簡易設定ファイルを削除します。**



■ プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの各タブで設定できる印刷機能について説明します。

表示方法：

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択します。**

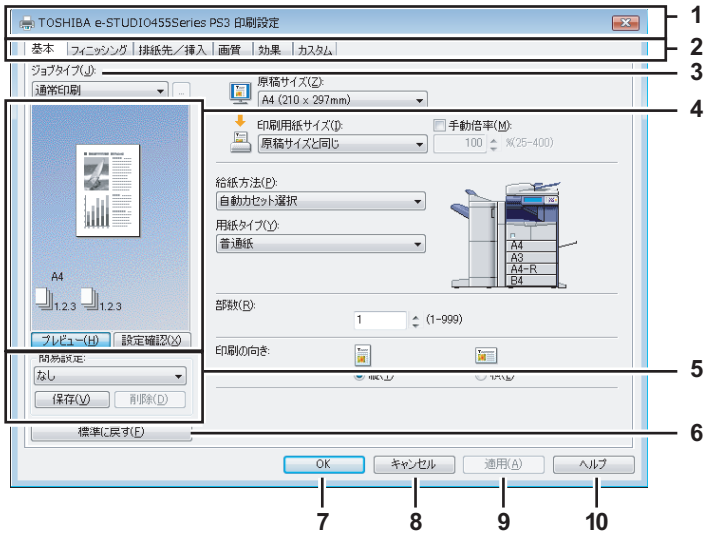
プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows XP/Server 2003をお使いの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows 2000をお使いの場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

2 **本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。**

- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
- 印刷設定のダイアログボックスが表示されます。



1) プリンタ名

プリンタドライバ名を表示します。

2) メニュータブ

プリンタドライバの各メニュータブを表示します。各タブをクリックすると、選択したタブの内容をダイアログボックス上に表示します。表示されるタブの種類は、プリンタプロパティの表示方法によって異なります。

- **［基本］タブ**

  このタブでは、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙方法、用紙タイプ、印刷の向きや印刷部数などの基本的な印刷操作に関する設定を行います。

  P.26 「［基本］タブ」

- **［フィニッシング］タブ**

  このタブでは、印刷方式、両面印刷、Nin1印刷、ステイプル印刷、ホールパンチ印刷などフィニッシャ機能に関する設定を行います。

  P.29 「［フィニッシング］タブ」

- **［排紙先／挿入］タブ**

  このタブでは、排紙先、表紙挿入、裏表紙挿入、指定ページに挿入、1ページごとに挿入など排出先／挿入機能に関する設定を行います。

  P.35 「［排紙先／挿入］タブ」

- **［画質］タブ**
  このタブでは、イメージをどのように印刷するかを設定します。文書のタイプに応じた適切な画質を簡単に選択できます。
  P.42 「［画質］タブ」
- **［効果］タブ**
  このタブでは、ウォーターマーク、オーバーレイファイル印刷など印刷ジョブに効果を加える設定を行います。
  P.43 「［効果］タブ」
- **［カスタム］タブ**
  このタブでは、表示タブ設定、トナー節約、白紙は印字しない、カスタム用紙サイズなど、特別な機能に関する設定を行います。
  P.47 「［カスタム］タブ」
- **［フォント］タブ**
  このタブでは、TrueType フォントをどのように印刷するかを選択します。このタブはプリンタフォルダからプロパティ画面を表示した場合のみ表示されます。
  P.52 「［フォント］タブ」
- **［構成］タブ**
  このタブでは、本機に装着されているオプション機器の構成を設定します。このタブはプリンタフォルダからプロパティ画面を表示した場合のみ表示されます。
  P.54 「［構成］タブ」

3) ジョブタイプ

本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。

- **通常印刷**
  通常の印刷を行います。
- **予約印刷**
  指定する日付と時間に印刷します。
  選択した場合は、［...］をクリックして、ジョブを印刷する日時を指定します。本機での印刷が少ない時間帯に大量印刷するときなどに便利な機能です。
- **プライベート印刷**
  プライベート印刷ジョブとして本機に保存します。本機のタッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。他人に見られたくない機密文書などを印刷するときに便利な機能です。
  この機能を選択した場合は、印刷設定終了後に1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21～0x7EまでのASCIIコード）の文字を使用できます。

  注 意

  プライベート印刷機能は、本機のユーザ管理設定が無効な場合に使用することができます。

- **ホールド印刷**
  ホールド印刷ジョブとして本機に保存します。印刷を実行するには、本機のタッチパネルで目的のジョブを選択し、［印刷］を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
- **お試し印刷**
  複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから 残り部数の印刷を実行します。間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、目的に合った印刷結果を効率よく得ることができます。

  注 意

  複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

- **オーバーレイファイルで保存**
  印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。印刷ジョブはオーバーレイファイルとして保存され、別の文書に重ねて印刷することができます。たとえば、印刷文書の背面にマスタページのイメージを印刷する場合、この機能を使ってマスタページのイメージを作成し、そのイメージを［効果］タブの［オーバーレイファイル］で選択すれば、印刷文書の背面に印刷できます。
  選択した場合は、［...］をクリックしてオーバーレイファイル名を指定します。

注 意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ・用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScript コマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3 プリンタドライバを使用してオーバーレイファイルで保存を行うと、オーバーレイファイルが正常に作成されないことがあります。その場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
P.51 「PostScript設定」

- 本体に保存

印刷ジョブを本機のファイリングボックスに保存する機能です。選択した場合は、印刷設定終了後に保存先のボックスを選択します。パスワードで保護されているユーザボックスを選択した場合は、［パスワード］ボックスにボックスのパスワードを入力します。ファイリングボックスに保存したジョブは、本機のタッチパネルから印刷を実行できます。また、Webベースの文書編集アプリケーションである ファイリングボックスWebユーティリティを使って別の文書と合成するなどの編集作業を行うこともできます。保存と同時に印刷を行うときは、［印刷］チェックボックスをオンにします。

注 意

- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタドライバを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補 足

- ファイリングボックスに関する操作については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- ［ジョブタイプ］の詳しい印刷方法については、以下を参照してください。
P.58 「印刷ジョブタイプ」

4) プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウでは、プリンタドライバの現在の設定でページがどのように印刷されるかを表示します。ウィンドウ下にある［プレビュー］をクリックすると、設定した印刷機能を反映したページイメージが表示されます。［設定確認］をクリックすると、設定した印刷機能の詳細がウィンドウに表示されます。

5) 簡易設定

設定した印刷機能を簡易設定ファイルとして保存します。［保存］をクリックすると、印刷機能の設定が保存されます。保存した設定ファイルは、［簡易設定］ボックスで選択し呼び出すことができます。
P.20 「簡易設定を使って印刷機能を設定する」

補 足

工場出荷時に4個の簡易設定が登録されています。

6) ［標準に戻す］

表示しているタブの印刷機能をプリンタドライバのインストール時の状態に戻します。

7) ［OK］

変更した印刷機能の設定を保存し、プリンタプロパティを閉じます。

8) ［キャンセル］

変更した印刷機能の設定をキャンセルし、プリンタプロパティを閉じます。

9) ［適用］

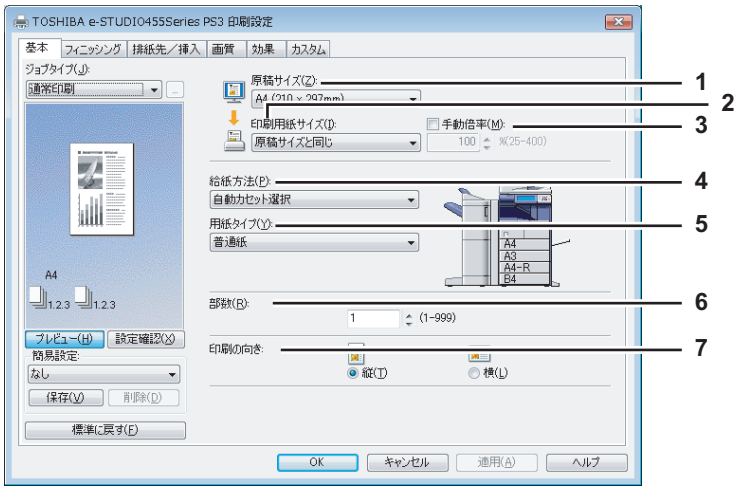
プリンタプロパティを閉じずに、変更した印刷機能の設定を保存します。プリンタフォルダからプリンタプロパティを表示した場合にのみ表示されます。このボタンは、設定を変更するまで使用することはできません。

10) ［ヘルプ］

プリンタドライバのヘルプを表示します。

□ [基本] タブ

このタブでは、基本的な印刷操作に関する設定を行います。設定項目には、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙方法、用紙タイプ、印刷の向き、印刷部数などがあります。



1) 原稿サイズ

原稿のサイズを選択します。

使用できる原稿サイズは、次のとおりです：

- A4（210×297 mm）
- A5（148×210 mm）
- A3（297×420 mm）
- B4（257×364 mm）
- B5（182×257 mm）
- Folio（210×330 mm）
- はがき（100×148 mm）
- 封筒長形3号（120×235 mm）
- 封筒洋形4号（105×235 mm）
- 封筒DL（110×220 mm）
- Letter（8 1/2×11"）
- Legal（8 1/2×14"）
- Ledger（11×17"）
- Statement（5 1/2×8 1/2"）
- Computer（10 1/8×14"）
- 13" LG（8 1/2×13"）
- 8.5" SQ（8 1/2×8 1/2"）
- 封筒COM10（4 1/8×9 1/2"）
- 封筒Monarch（3 7/8×7 1/2"）
- 16K（195×270 mm）
- 8K（270×390 mm）

注 意

［原稿サイズ］ボックスには、上記原稿サイズ以外にも20個のカスタム原稿サイズが表示されます。カスタム原稿サイズは、［カスタム］タブで設定します。

P.47 「［カスタム］タブ」

2) 印刷用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを選択します。原稿サイズと同じサイズで印刷するときは、［原稿サイズと同じ］を選択します。

タブ紙印刷を行う場合は、ここで［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択します。［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択すると、「タブ紙設定」ダイアログボックスが表示されます。

P.28 「タブ紙設定」

補 足

［印刷用紙サイズ］ボックスには、標準用紙サイズ以外にも20個のカスタム用紙サイズが表示されます。カスタム用紙サイズは、［カスタム］タブで設定します。

P.47 「［カスタム］タブ」

3) 手動倍率

このチェックボックスをオンにして、ページイメージを拡大または縮小する倍率を入力します。倍率は、25～ 400（%）の範囲で設定できます。給紙方法でカセットまたは大容量給紙装置（オプション）が選択されている場合やマガジンソート印刷が有効なときは、この機能は使用できません。

補 足

［手動倍率］設定を使用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.67 「用紙に収まるように印刷する」

4) 給紙方法

印刷に使用する用紙の給紙元を選択します。用紙サイズに合った給紙元を選択します。右横の本機プレビューで、各給紙元に設定されている用紙サイズが確認できます。また、給紙元を選択すると、選択した給紙元がシアン色の囲みで表示されます。

- **自動カセット選択**：印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- **1段目カセット**：用紙を1段目カセットから給紙します。
- **2段目カセット**：用紙を2段目カセットから給紙します。
- **3段目カセット**：用紙を3段目カセット（オプション）から給紙します。（3段目カセット（オプション）および4段目カセット（オプション）装着時のみ有効）
- **4段目カセット**：用紙を4段目カセット（オプション）から給紙します。（3段目カセット（オプション）および4段目カセット（オプション）装着時のみ有効）
- **大容量給紙装置**：用紙を大容量給紙装置（オプション）から給紙します。（大容量給紙装置（オプション）装着時のみ有効）
- **手差しトレイ**：用紙を手差しトレイから給紙します。手差しを選択して印刷した場合は、印刷すると本機のタッチパネルの［状況確認］が点滅しますので、［状況確認］を押して印刷ジョブで用紙サイズを確認後、用紙をセットして［スタート］ボタンを押してください。

注 意

- 選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［構成］タブの設定によって異なります。
- ［構成］タブのカセット用紙サイズが本機にセットされた用紙サイズと異なる場合、［給紙方法］の設定を無視し、タッチパネルの［状況確認］が点滅して、正しいサイズの用紙を手差しトレイにセットするよう求めるメッセージが表示されることがあります。

5) 用紙タイプ

印刷に使用する用紙の種類を選択します。

- **普通紙**：普通紙（64～80 g/m^2）に印刷する場合に選択します。
- **厚紙1**：厚紙1（81～105 g/m^2）に印刷する場合に選択します。
- **厚紙2**：厚紙2（106～163 g/m^2）に印刷する場合に選択します。
- **厚紙3**：厚紙3（164～209 g/m^2）に印刷する場合に選択します。
- **薄紙**：薄紙（52～63 g/m^2）に印刷する場合に選択します。
- **OHPフィルム**：OHP用フィルムに印刷する場合に選択します。

注 意

- ［印刷用紙サイズ］ボックスで［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択した場合は、［タブ紙］が表示され設定を変更することはできません。
- ［印刷用紙サイズ］ボックスで封筒を選択した場合は、［封筒］が表示され設定を変更することはできません。

補 足

各用紙タイプに対する推奨紙については、**クイックスタートガイド**を参照してください。

6) 部数

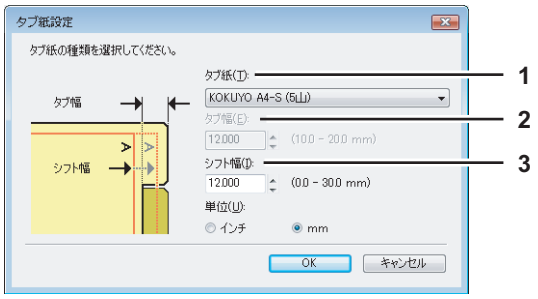
印刷部数を指定します。1～ 999（部）の範囲で指定できます。

7) 印刷の向き

給紙方法で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。

- **縦**：文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横**：文書を用紙に対して横方向に印刷します。

タブ紙設定



1) タブ紙

タブ紙の製品名を選択します。本機では以下のタブ紙をサポートしています。

A4 Tabを選択した場合:	KOKUYO A4-S （5山）
	King JIM A4-S （5山）
Letter Tabを選択した場合:	Blanks USA copy Tabs （5山）LT + 1/2" Tab
	Blanks USA copy Tabs （8山）LT + 1/2" Tab

上記以外のタブ紙を使ってタブ紙印刷を行う場合は、［カスタム］を選択しタブ幅を手動で設定します。

2) タブ幅

タブの幅を入力します。［タブ紙］欄で［カスタム］を選択した場合に入力します。

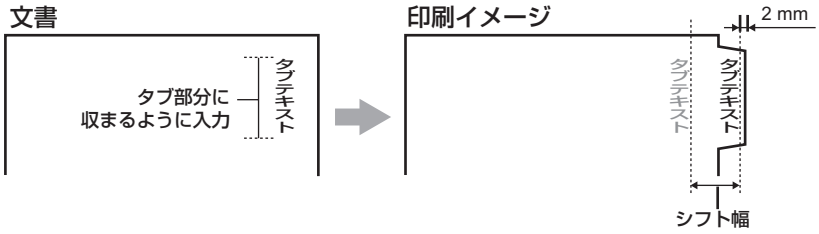
3) シフト幅

印刷イメージをシフトする幅を入力します。

たとえば、A4 Tab用紙のタブにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にタブに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをタブの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。

注 意

- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するタブ紙のタブに収まるように調整して入力してください。
- 本機ではタブの右端から2.0 mmの余白に印刷することはできません。印刷イメージがタブの右端から2.0 mm以上内側に印刷されるようにシフト幅を設定してください。

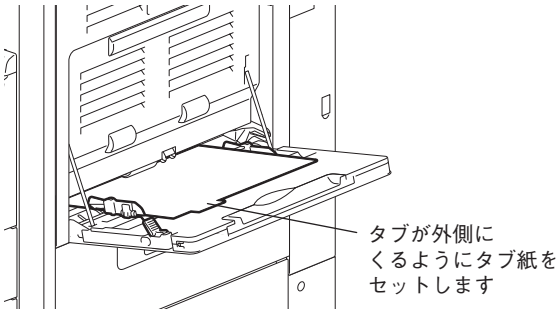


4) 単位

タブ幅およびシフト幅の単位を選択します。

注 意

- タブ紙は手差しトレイから給紙します。タブが外側になるように手差しトレイにタブ紙をセットしてください。



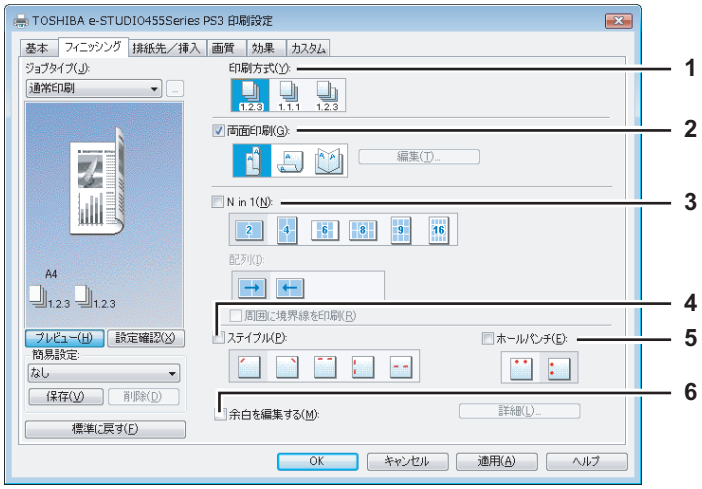
- タブ紙は大容量給紙装置（オプション）またはカセットから給紙することはできません。
- タブ紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、タブの正しい位置に印刷されません。タブ紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。
- 複数枚のタブ紙を一度に印刷し、印刷イメージがタブの正しい位置に印刷されずに、はみ出てしまった場合などは、2枚目以降のタブ紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、タブ紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- タブ紙印刷を行うと、タブを送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙がひっかかったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にタブ紙を取り除いてください。

補 足

タブ紙に印刷する場合の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.82 「タブ紙に印刷する」

□ [フィニッシング] タブ

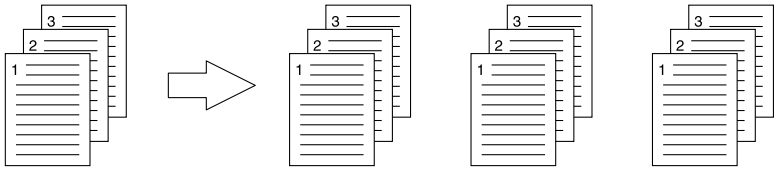
このタブでは、印刷方式や両面印刷、Nin1印刷、ステイプル印刷、ホールパンチ印刷などフィニッシャ機能に関する設定を行います。



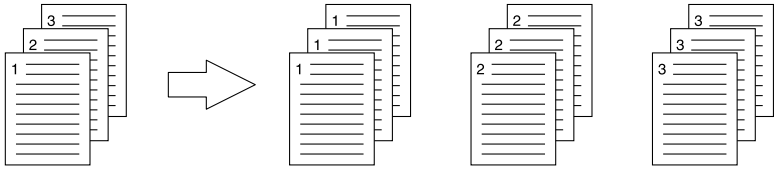
1) 印刷方式

複数部数の印刷を行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。

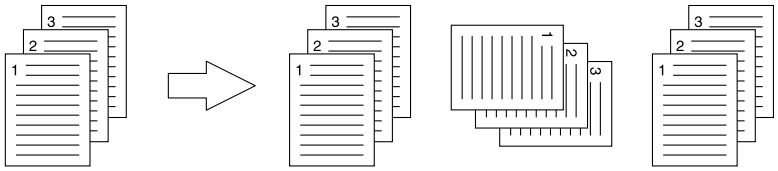
- ソート：ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。



- **グループ**：グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。



- **縦横交互**：1部ずつ縦横交互に排紙します。



注 意

- ［グループ］および［縦横交互］は、印刷部数を2部以上指定したときにのみ有効です。
- ［縦横交互］は、用紙サイズに［Letter］、［A4］、［B5］、［16K］を選択したときにのみ有効です。あらかじめ［Letter］、［A4］、［B5］、［16K］サイズの異なる方向の用紙をカセット、または大容量給紙装置（オプション）にセットしておきます。

補 足

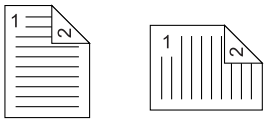
［印刷方式］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.68 「1部またはページごとに分けて印刷する」

2) 両面印刷

両面印刷は、左右開き（左とじ）または上下開き（上とじ）にとじしろを設定し、用紙の両面に印刷する機能です。用紙をステイプル留めして両面印刷する場合は、仕上げ機能を別途設定します。

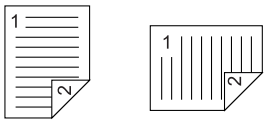
- **なし**：両面印刷をしません。
- **左とじ**：用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。

縦　横

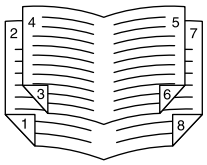


- **上とじ**：用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。

縦　横



- **マガジンソート**：本や雑誌のようなページ構成で印刷します。選択した場合は、［編集］をクリックしてどのようにマガジンソート印刷するかを設定します。
P.34 「マガジンソート設定」



注 意

- ［基本］タブの［印刷用紙サイズ］ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、両面印刷は実行できません。
  - はがき
  - A4 Tab
  - Letter Tab
  - 封筒長形3号（120 x 235 mm）
  - 封筒洋形4号（105 x 235 mm）
  - 封筒DL（110 x 220 mm）
  - 封筒COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
  - 封筒Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
  - カスタム用紙サイズ
- ［基本］タブの［用紙タイプ］ボックスで以下の用紙タイプが選択されている場合、両面印刷は実行できません。
  - 厚紙2
  - 厚紙3
  - OHPフィルム
- PostScript コマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3 プリンタドライバを使用してマガジンソート印刷を行うと、印刷結果が正常に出力されない場合があります。その場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
  P.51 「PostScript設定」

補 足

［両面印刷］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.69 「両面印刷する」

3) Nin1

複数のページを1枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- **2 in 1**：2ページを1枚の用紙に印刷します。
- **4 in 1**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6 in 1**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **8 in 1**：8ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9 in 1**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16 in 1**：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

配列

Nin1印刷を行う際のページの配列を選択します。

- **左から右**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **右から左**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **縦列で左から右**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **縦列で右から左**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

周囲に境界線を印刷

このチェックボックスをオンにすると、ページごとに境界線を印刷します。

注 意

- ［両面印刷］で［マガジンソート］が設定されている場合、Nin1印刷は実行できません。
- タブ紙印刷が設定されている場合、Nin1印刷は実行できません。

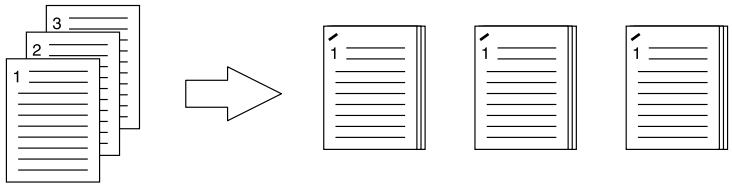
補 足

［Nin1］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.72 「複数ページを1ページにまとめて印刷する」

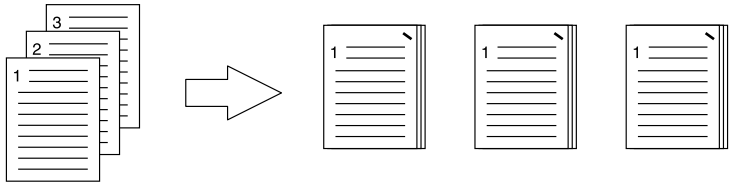
4) ステイプル

部ごとに用紙をステイプル留めして出力するかを設定します。

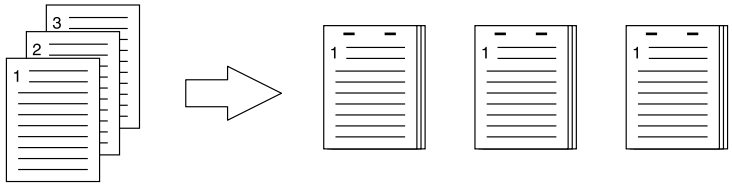
- **なし**：ステイプル留めをしません。
- **上段左**：部ごとに用紙の左上をステイプル留めして出力します。



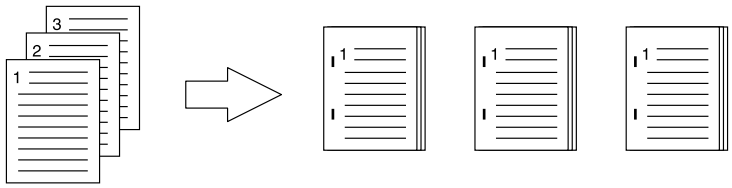
- **上段右**：部ごとに用紙の右上をステイプル留めして出力します。



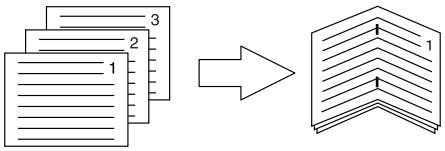
- **上段（2か所）**：部ごとに用紙の上部2か所をステイプル留めして出力します。



- **左（2か所）**：部ごとに用紙の左側2か所をステイプル留めして出力します。



- **サドルステッチ**：用紙の中央2か所をステイプル留めし中折りして出力します。この設定を選択すると、ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、単純に中折りとじして出力します。



補 足

［サドルステッチ］は、すでにデータ上でマガジンソートされた文書に対してサドルステッチ印刷を行う場合に使用します。通常のページ順の文書からマガジンソート印刷を行う場合は、［両面印刷］で［マガジンソート］を設定します。サドルステッチを使用した場合は、「マガジンソート設定」ダイアログボックスの［サドルステッチを使用する］チェックボックスをオンにしてください。

注 意

- 選択できる機能は、用紙サイズによって異なります。
- ステイプル印刷は、フィニッシャ（オプション）装着時のみ実行できます。
- ［サドルステッチ］は、サドルステッチフィニッシャ（オプション）装着時のみ有効です。
- ［両面印刷］で［マガジンソート］が設定されている場合、ステイプル印刷は実行できません。
- ［基本］タブの［印刷用紙サイズ］ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、ステイプル印刷は実行できません。
  - A5
  - はがき
  - Statement
  - A4 Tab
  - Letter Tab
  - 封筒長形3号（120 x 235 mm）
  - 封筒洋形4号（105 x 235 mm）
  - 封筒DL（110 x 220 mm）
  - 封筒COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
  - 封筒Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
  - カスタム用紙サイズ
- ［基本］タブの［用紙タイプ］ボックスで［OHP フィルム］が選択されている場合、ステイプル印刷は実行できません。
- 以下の場合には、サドルステッチフィニッシャ（オプション）を使用したステイプル印刷は実行できません。
  - e-STUDIO355/455用MJ-1024
    サドルステッチ印刷に［厚紙2］または［厚紙3］を指定した場合
  - e-STUDIO255用MJ-1025
    サドルステッチ印刷に［厚紙2］を指定した場合
    ステイプル印刷に［厚紙3］を指定した場合

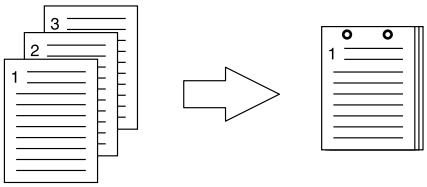
補 足

［ステイプル］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.73 「ステイプル留めする」

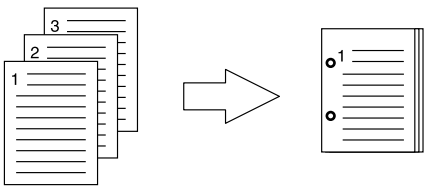
5) ホールパンチ

印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）を行うか設定します。

- **なし**：ホールパンチ処理をしません。
- **上段**：用紙の上部2か所に綴じ穴を開けて排紙します。



- **左**：用紙の左側2か所に綴じ穴を開けて排紙します。



注 意

- ホールパンチ印刷は、ホールパンチユニット（オプション）装着時のみ実行できます。
- ［両面印刷］で［マガジンソート］が設定されている場合、ホールパンチ印刷は実行できません。
- 選択できるホールパンチ位置は、用紙サイズによって異なります。

補 足

［ホールパンチ］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.74 「ホールパンチ印刷」

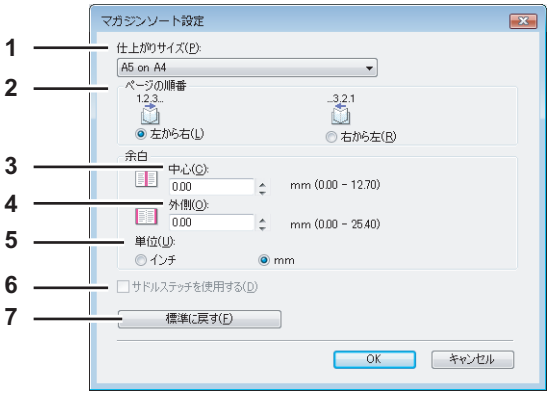
6) 余白を編集する

ページの余白を設定する場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、［詳細］をクリックして、上下左右の余白を設定します。
余白の設定範囲は4.2mm～100mmとなります。4.2mm以下に設定することはできません。

注 意

- ［両面印刷］で［マガジンソート］が設定されている場合、この機能は無効です。
- この機能は、アプリケーションが余白機能をサポートしていない場合にご使用ください。アプリケーションで余白が設定できる場合は、この機能は使用せずにアプリケーションの機能をご使用ください。
- この機能では、マガジンソート印刷のとじしろは設定できません。

マガジンソート設定



1) 仕上がりサイズ

出力される仕上がりサイズを選択します。

- **A5 on A4**：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **A4 on A3**：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **B5 on B4**：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **B6 on B5**：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Folio on Folio**：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **A6 on A5**：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **Letter - Half on Letter**：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **LT on LD**：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 LG on LG**：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Statement on Statement**：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Comp on Comp**：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 13LG on 13LG**：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 8.5SQ on 8.5SQ**：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **32K on 16K**：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **16K on 8K**：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

2) ページの順序
ページを左から右の順序で印刷するか、右から左の順序で印刷するかを選択します。

3) 余白 - 中心
見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。12.70 mm（0.50インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。

4) 余白 - 外側
ページの上下左右の余白を設定します。25.40 mm（1インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。

5) 余白 - 単位
中心の余白および外側の余白の単位を選択します。

6) サドルステッチを使用する
このチェックボックスをオンにすると、用紙の中央部分を2か所ステイプル留めして出力します。

注 意

- ［サドルステッチを使用する］は、以下の仕上がりサイズを指定したときにのみ使用できます。
  ［A5 on A4］、［A4 on A3］、［B5 on B4］、［Letter - Half on Letter］、［LT on LD］、［1/2 LG on LG］
- ［サドルステッチを使用する］は、サドルステッチフィニッシャ（オプション）装着時のみ有効です。

7) ［標準に戻す］
「マガジンソート設定」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

補 足

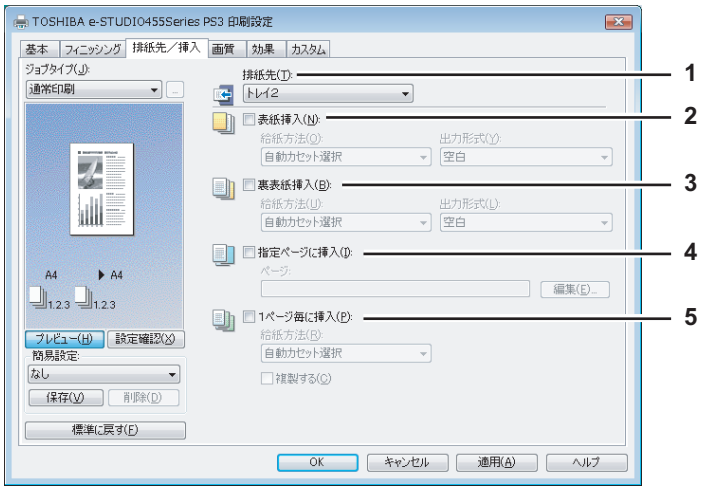
［マガジンソート］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.70 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」

□［排紙先／挿入］タブ

このタブでは、排紙先の設定や、表紙や裏表紙の印刷または挿入、ページ間への空白シートの挿入や、指定したページを別シートに印刷する設定を行います。

注 意

- タブ紙印刷が設定されている場合、［表紙挿入］、［裏表紙挿入］、［指定ページに挿入］、［1ページ毎に挿入］は実行できません。
- 同じサイズの用紙を挿入するときは、本機の給紙元カセットの用紙タイプを変更するか、［基本］タブで給紙方法を選択しないと、挿入するカセットからすべて印刷されてしまいますので注意してください。
- ジョブタイプで［本体に保存］を選択した場合、［表紙挿入］、［裏表紙挿入］、［指定ページに挿入］、［1ページ毎に挿入］の設定は無効となります。



1) 排紙先

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。

- **排紙トレイ**：本体の排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャ（オプション）の上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャ（オプション）の下段排紙トレイに排紙します。
- **上トレイ**：インナートレイ（オプション）の上段排紙トレイに排紙します。
- **下トレイ**：インナートレイ（オプション）の下段排紙トレイに排紙します。

注 意

- e-STUDIO355/455をお使いの場合、［トレイ1］および［トレイ2］は、フィニッシャ（オプション）またはサドルステッチフィニッシャ MJ-1024（オプション）装着時のみ有効です。ハンギングフィニッシャ（オプション）装着時は、［トレイ1］のみ有効です。
- e-STUDIO255 をお使いの場合、ハンギングフィニッシャ（オプション）またはサドルステッチフィニッシャ MJ-1025装着時は、［トレイ1］のみ有効です。
- インナートレイが装着されている場合は、［排紙トレイ］の代わりに［上トレイ］および［下トレイ］が選択できます。
  印刷用紙サイズに［はがき］を選択した場合は、用紙の排紙先は常に［下トレイ］になります。

補 足

フィニッシャ（オプション）のイニシャライズ動作を抑えたい場合は、［トレイ1］に設定してください。

2) 表紙挿入

表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。表紙印刷を設定する場合は、［表紙挿入］チェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

補 足

［表紙挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。

P.75 「表紙など異なる用紙を挿入する」

給紙方法

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［構成］タブの設定によって異なります。

出力形式

表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**：文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、［フィニッシング］タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。

注 意

［フィニッシング］タブで両面印刷を設定したときに［片面印刷］を選択すると、表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

3) 裏表紙挿入

裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、［裏表紙挿入］チェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

補 足

［裏表紙挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.75 「表紙など異なる用紙を挿入する」

給紙方法

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［構成］タブの設定によって異なります。

出力形式

裏表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**：文書の最後の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、［フィニッシング］タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。

注 意

- ［フィニッシング］タブで両面印刷を設定したときに［片面印刷］を選択すると、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。
- ［両面印刷］を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

4) 指定ページに挿入

ページ間へのシート挿入印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、指定したページの間に違うトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うトレイから給紙した用紙に指定したページを印刷することができます。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。シート挿入印刷を設定する場合は、［指定ページに挿入］チェックボックスをオンにし、［編集］をクリックして挿入方法を設定します。
P.38 「指定ページに挿入」

注 意

- ［1ページ毎に挿入］と同時に設定することはできません。
- Nin1印刷と同時に設定することはできません。
- 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。
- PostScript コマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3 プリンタドライバを使用して指定ページに挿入を行うと、指定したページに挿入されないことがあります。その場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
  P.51 「PostScript設定」

補 足

［指定ページに挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.75 「表紙など異なる用紙を挿入する」

5) 1ページ毎に挿入

印刷ジョブの各ページの間にそれぞれ用紙を挿入します。この機能を設定すると、印刷ジョブの各ページの間に、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入することができます。たとえば、OHP用紙の間に色シートをそれぞれ挿入するときなどに便利な機能です。この機能を設定する場合は、[1ページ毎に挿入]チェックボックスをオンにし、用紙の給紙方法を選択します。

注 意

- [表紙挿入][裏表紙挿入]と組み合わせて1ページごとに挿入を行った場合、表紙および裏表紙の後ろには用紙は挿入されません。
- [指定ページに挿入]と同時に設定することはできません。

補 足

[1ページ毎に挿入]設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。

P.77 「1ページごとに用紙を挿入する」

給紙方法

挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。[自動カセット選択]を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

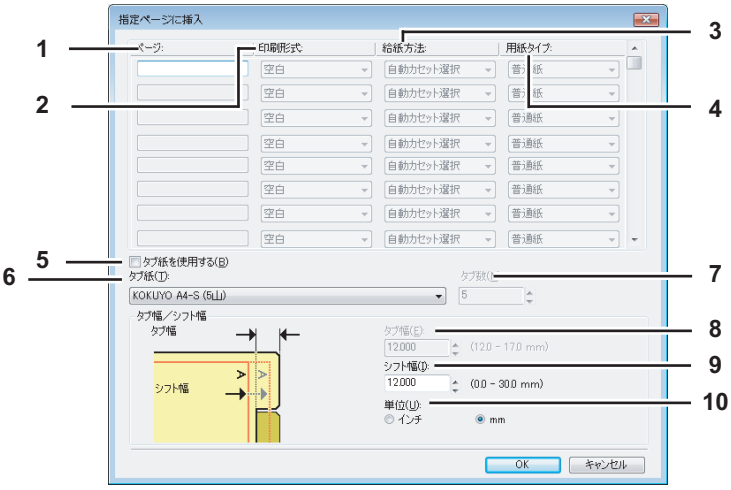
注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および[構成]タブの設定によって異なります。

複製する

このチェックボックスをオンにすると、挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。OHP用紙の間の紙にそれぞれ印刷するときなどに便利な機能です。

指定ページに挿入



1) ページ

シートを挿入するページ番号を入力します。

[印刷形式]ボックスで[空白]が選択されていると、白紙シートが入力したページ番号の前にそれぞれ挿入されます。

[片面印刷]が選択されている場合は、指定したページが挿入シートに印刷されます。

[両面印刷]が選択されている場合は、指定したページおよび次のページが挿入シートの両面に印刷されます。

注 意

両面印刷が設定されている場合は、1ページ目に用紙を挿入することはできません。

2) 印刷形式

挿入シートの印刷方法を選択します。

- 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を指定したページに挿入します。
- **片面印刷**：指定したページを別の用紙の表面にのみ印刷します。
- **両面印刷**：指定したページを別の用紙に両面印刷します。たとえば、［ページ］ボックスに［5］を入力した場合、文書の5ページ目と6ページ目を指定した給紙元の用紙に印刷します。この機能は、［フィニッシング］タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。

3) 給紙方法

挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［構成］タブの設定によって異なります。

4) 用紙タイプ

指定した挿入ページに使用する用紙タイプを選択します。

5) タブ紙を使用する

指定したページの間にタブ紙を挿入したり、タブ紙に指定したページを印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

6) タブ紙

タブ紙の製品名を選択します。本機では以下のタブ紙をサポートしています。

A4 Tabを選択した場合:	KOKUYO A4-S （5山）
	King JIM A4-S （5山）
Letter Tabを選択した場合:	Blanks USA copy Tabs （5山）LT + 1/2" Tab
	Blanks USA copy Tabs （8山）LT + 1/2" Tab

上記以外のタブ紙を使ってタブ紙印刷を行う場合は、［カスタム］を選択しタブ数とタブ幅を手動で設定します。

7) タブ数

タブ紙のタブの総数を1～10で選択します。
たとえば、タブが上から下まで5個ある場合は、5を選択します。

8) タブ幅

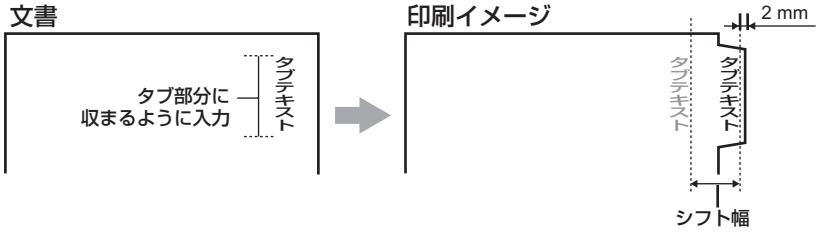
タブの幅を入力します。［タブ紙］欄で［カスタム］を選択した場合に入力します。

9) シフト幅

印刷イメージをシフトする幅を入力します。
たとえば、A4 Tab用紙のタブにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にタブに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをタブの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。

注 意

- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するタブ紙のタブに収まるように調整して入力してください。
- 本機ではタブの右端から2.0 mmの余白に印刷することはできません。印刷イメージがタブの右端から2.0 mm以上内側に印刷されるようにシフト幅を設定してください。

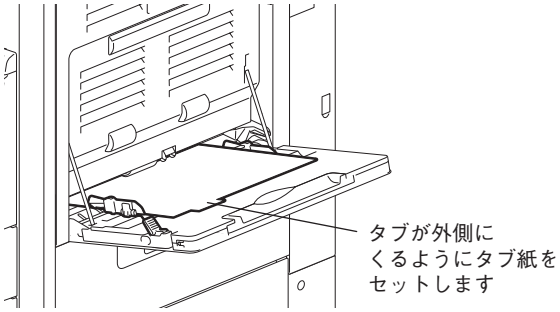


10) 単位

タブ幅およびシフト幅の単位を選択します。

注 意

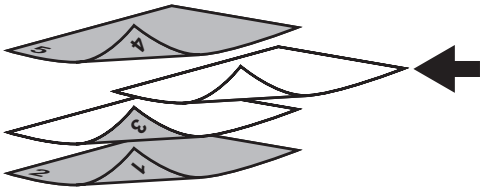
- タブ紙は手差しトレイから給紙します。タブが外側になるように手差しトレイにタブ紙をセットしてください。



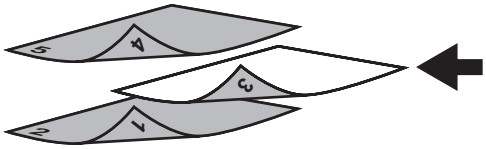
- タブ紙は大容量給紙装置（オプション）またはカセットから給紙することはできません。
- タブ紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、タブの正しい位置に印刷されません。タブ紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。
- 複数枚のタブ紙を一度に印刷し、印刷イメージがタブの正しい位置に印刷されずに、はみ出てしまった場合などは、2枚目以降のタブ紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、タブ紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- タブ紙印刷を行うと、タブを送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙がひっかかったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にタブ紙を取り除いてください。

補 足

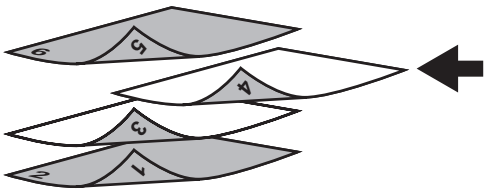
- 両面印刷を設定時に、印刷形式で［空白］を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、次に白紙シートが挿入され、その次の表面から引き続き印刷されます。



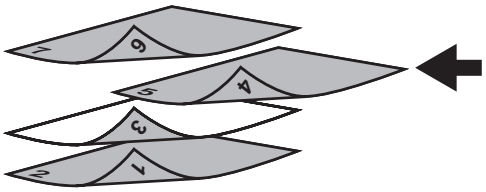
- 両面印刷を設定時に、印刷形式で［片面印刷］を選択すると、指定したページ（下図の例：3ページ）は挿入シートの表面に印刷され、シートの裏面はブランクとなります。



- 両面印刷を設定時に、印刷形式で［片面印刷］を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、挿入された用紙の表面に指定したページが印刷され、その次の表面から引き続き印刷されます。

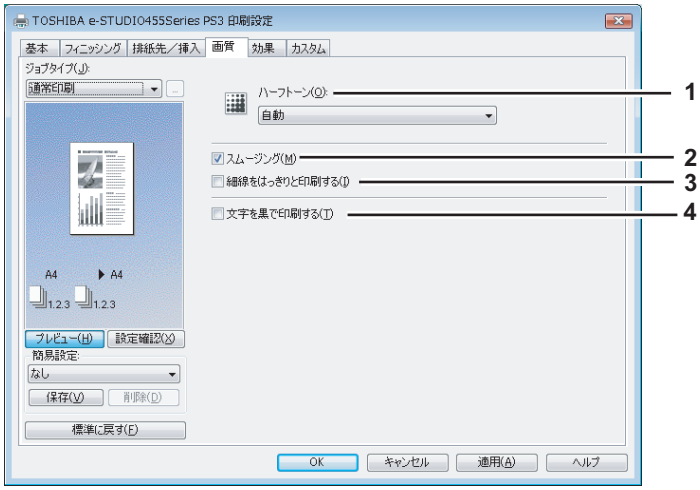


- 両面印刷を設定時、印刷形式で［両面印刷］を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、挿入された用紙の両面に指定したページと次のページが印刷され、それ以降のページはその次の表面から引き続き印刷されます。



□［画質］タブ

このタブでは、ページイメージをどのように印刷するかを設定します。文書の種類に応じた適切な画質を選択できます。



1) ハーフトーン

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

PCL6プリンタドライバ：

- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

PS3/XPSプリンタドライバ：

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

2) スムージング

テキストやグラフィックスをなめらかに印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

3) 細線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

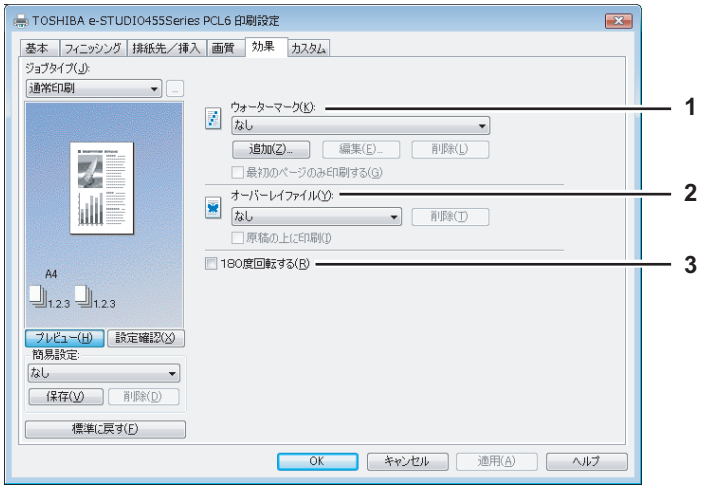
4) 文字を黒で印刷する

白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

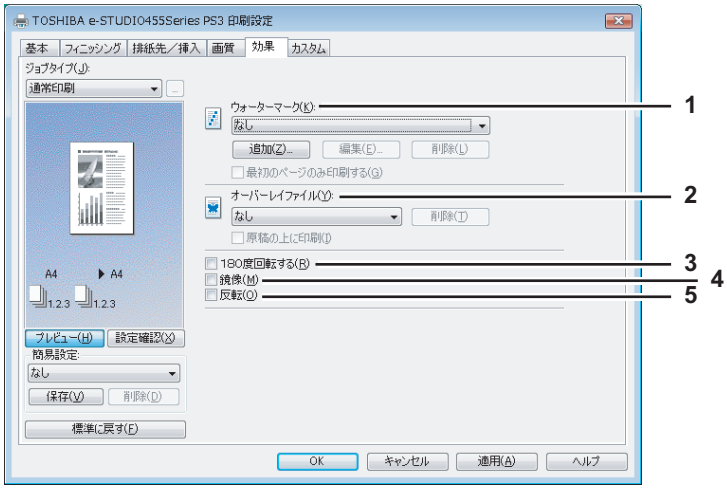
□［効果］タブ

このタブでは、ウォーターマーク、オーバーレイファイル印刷、回転印刷、鏡像印刷、白黒反転印刷など印刷ジョブの体裁をより整える設定を行います。

［効果］タブ（PCL6）



［効果］タブ（PS3/XPS）



1) ウォーターマーク

使用または編集するウォーターマークを選択します。プリンタドライバには、標準で［極秘］［社外秘］［ドラフト］［オリジナル］［コピー］のウォーターマークが登録されています。また、新たに作成したウォーターマークを最大15個まで保存することもできます。

- **なし** ：ウォーターマークを印刷しないときに選択します。
  標準で登録されている以下のウォーターマークが、ボックスに表示されます。
- **極秘**
- **社外秘**
- **ドラフト**
- **オリジナル**
- **コピー**

補 足

［ウォーターマーク］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.78 「ウォーターマークを入れて印刷する」

［追加］

新しいウォーターマークを作成します。クリックすると、「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。
P.45 「ウォーターマーク」

[編集]
［ウォーターマーク］ボックスで選択したウォーターマークを編集します。クリックすると、「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。
P.45 「ウォーターマーク」

[削除]
［ウォーターマーク］ボックスで選択したウォーターマークを削除します。
P.80 「ウォーターマークを削除する」

注 意

- 標準で登録されているウォーターマークも削除することができます。ただし、削除した場合、元に戻すことはできません。
- ［なし］は削除できません。

最初のページのみ印刷する
選択したウォーターマークを文書の最初のページにのみ印刷する場合に、チェックボックスをオンにします。

2) オーバーレイファイル
文書にオーバーレイファイルを印刷します。ウォーターマークはテキストのみですが、この機能は印刷文書の背面にグラフィックスなどのイメージを印刷することができます。

注 意

- Nin1印刷時にオーバーレイファイルを選択した場合は、1ページのレイアウトに対してオーバーレイファイルが印刷されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズかつ同じ用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScript コマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3 プリンタドライバを使用してオーバーレイファイル印刷を行うと、オーバーレイファイルが印刷されないことがあります。その場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
  P.51 「PostScript設定」

補 足

- 印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するときは、まず最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。オーバーレイファイルを作成するには、［ジョブタイプ］で［オーバーレイファイルで保存］を選択します。
  P.63 「オーバーレイファイルとして保存する」
- ［オーバーレイファイル］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
  P.80 「オーバーレイファイルを使用する」

[削除]
［オーバーレイファイル］ボックスで選択したオーバーレイファイルを削除します。
P.81 「オーバーレイファイルを削除する」

原稿の上に印刷
印刷文書に重ねてオーバーレイファイルを印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

3) 180度回転する
ページ全体を180度回転させて印刷します。

4) 鏡像
ページ全体を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

注 意

- PCL6プリンタドライバではこの設定は表示されません。
- アプリケーションのPostScriptを優先するときは、鏡像が効かないことがあります。
- Adobe Acrobatなどのアプリケーションから印刷する場合、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスがオンになっていると、鏡像印刷は無効になります。鏡像印刷を行う場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにして印刷してください。
P.51 「PostScript設定」

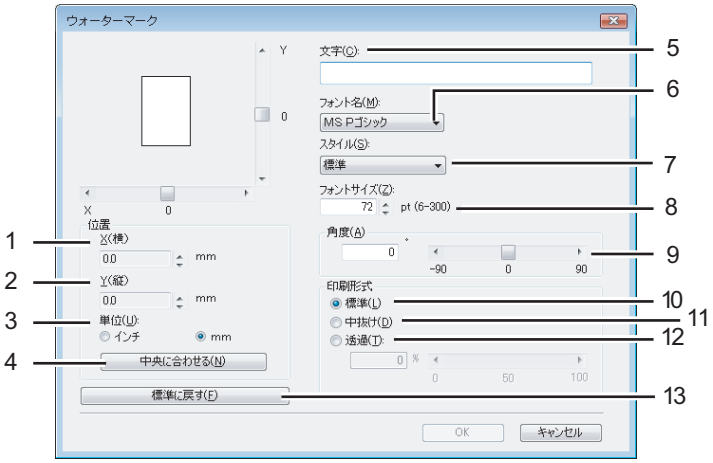
5) 反転
印刷イメージを白黒反転させて印刷します。

注 意

- PCL6プリンタドライバではこの設定は表示されません。
- アプリケーションのPostScriptを優先するときは、反転が効かないことがあります。
- Adobe Acrobatなどのアプリケーションから印刷する場合、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスがオンになっていると、反転印刷は無効になります。反転印刷を行う場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにして印刷してください。
P.51 「PostScript設定」

ウォーターマーク

［追加］または［編集］をクリックすると、「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、ウォーターマークの新規作成や既存のウォーターマークの編集をします。



1) X（横）
ウォーターマークの横位置を調整します。プレビュー表示部の水平スクロールバーを使って、位置を変更することもできます。

2) Y（縦）
ウォーターマークの縦位置を調整します。プレビュー表示部の垂直スクロールバーを使って、位置を変更することもできます。

3) 単位
［X（横）］および［Y（縦）］ボックスの単位を選択します。

4) ［中央に合わせる］
ウォーターマークの位置をページの中央に設定します。

5) 文字

ウォーターマークに使用するテキストを入力します。半角・全角63文字以内で入力します。ウォーターマークを編集している場合は、選択したウォーターマークのテキストが表示されます。

6) フォント名

ウォーターマークテキストのフォントを選択します。

7) スタイル

ウォーターマークテキストのスタイルを選択します。

8) フォントサイズ

ウォーターマークテキストのフォントサイズを指定します。6～300（pt）の範囲を1pt単位で設定できます。

9) 角度

ウォーターマークテキストの回転角度を指定します。-90～ 90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

10) 標準

ウォーターマークを黒で塗りつぶして印刷します。

11) 中抜け

ウォーターマークを中抜きのフォントスタイルで印刷します。

12) 透過

ウォーターマークが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～ 100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って透過率を設定することもできます。

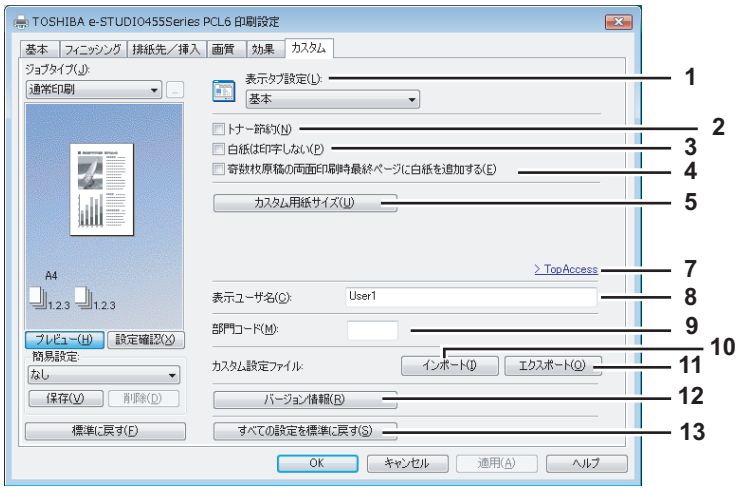
13) [標準に戻す]

「ウォーターマーク」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

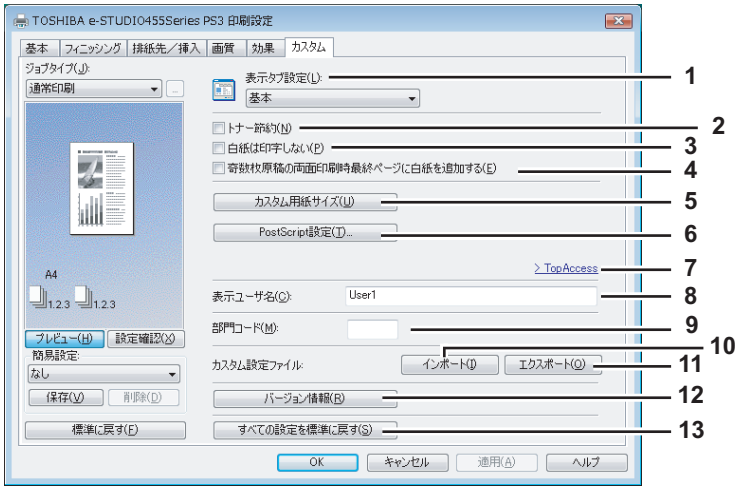
□［カスタム］タブ

このタブでは、表示タブ設定やトナー節約、白紙は印字しない、カスタム用紙サイズなど、特殊な機能について設定します。

［カスタム］タブ（PCL6/XPS）



［カスタム］タブ（PS3）



1) 表示タブ設定

プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定します。よく使う機能のタブを設定しておくと便利です。

注 意

アプリケーションの印刷設定から［カスタム］タブを開いて設定した場合、設定はプリンタドライバを閉じると消去され初期設定に戻ります。設定を保持したい場合はプリンタフォルダからプリンタドライバの設定をしてください。

P.19 「印刷機能の初期値を設定する」

2) トナー節約

トナー節約モードで印刷します。

注 意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

3) 白紙は印字しない
印刷原稿の白紙ページを印刷しません。
ウォーターマークが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。

注 意

ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、内容がないページも印刷されます。

4) 奇数枚原稿の両面印刷時最終ページに白紙を追加する
片面にイラストが印刷されているなど、表と裏を使い分けたい用紙で両面印刷を行う場合にチェックボックスをオンにします。

5) [カスタム用紙サイズ]
カスタム用紙サイズを定義します。クリックすると「カスタム用紙サイズ」ダイアログボックスが表示されます。
P.50 「カスタム用紙サイズ」

注 意

- [カスタム用紙サイズ] を設定するには、[プリンタ] フォルダで本機プリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [管理者で実行]、[プロパティ] の順にクリックします。管理者アカウントのパスワードを求められた場合は、パスワードを入力して管理者権限で実行する必要があります。
  - [ファイル] メニューが表示されていない場合は、[Alt] キーを押します。
  - 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、[続行] をクリックします。
- Administrators（管理者）（Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合）またはPower Users所属のユーザ（Windows 2000の場合のみ）でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。

6) [PostScript設定]
PostScript固有の機能を設定します。クリックすると、「PostScript設定」ダイアログボックスが表示されます。
P.51 「PostScript設定」

注 意

この印刷機能は、PS3プリンタドライバでのみ有効です。

7) [TopAccess]
クリックすると、Webブラウザを起動してTopAccessを表示します。

8) 表示ユーザ名
必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧やホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。ユーザ自身が任意のユーザ名を設定できるので、本機のタッチパネルから印刷を実行する際に自分が登録したジョブを容易に見つけることができます。

補 足

- [表示ユーザ名] は、半角・全角31文字まで入力できます。
- [表示ユーザ名] の初期値は、コンピュータのログインユーザ名です。[表示ユーザ名] を入力しない場合は、ログインユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧／ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。
- [表示ユーザ名] は、プライベート印刷ジョブ一覧およびホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

9) 部門コード

ユーザの部門コードを入力します。部門コードの入力は、本機が部門コードで管理されているときに必要となります。使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

注 意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、本機に使用したユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が本機に登録されていない場合は、印刷ジョブは無効ジョブとして部門コード強制の設定に従って処理されます。
- 印刷ジョブの印刷枚数が部門コードに設定された制限枚数を超えた場合は、印刷せずに［部門コードなし印刷ジョブ］リストに保留されます。この印刷ジョブを印刷したい場合は、タッチパネルの［状況確認］から［部門コードなし印刷ジョブ］リストを表示し、印刷枚数以上の制限枚数が設定された部門コードを入力して印刷してください。

補 足

TopAccess管理者設定の部門管理強制の有効／無効、また本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。双方向通信が有効で部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージを表示します。双方向通信が無効で部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、［部門コードなし印刷ジョブ］リストに表示されます。部門管理強制が［印刷］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。部門管理強制が［削除］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは印刷せずに削除されます。

10) [インポート]

ウォーターマーク、オーバーレイ、原稿種類、カスタム用紙サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をプリンタドライバにインポートします。

インポート方法

- ［インポート］をクリックします。
- 「ファイルを指定」ダイアログボックスが表示されますので、インポートするファイル（*.cfx：PCL6、*.cfp：PS3、*.cfv：XPS）を選択し、［開く］をクリックします。
- ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されますので［OK］をクリックします。

注 意

- ［インポート］を実行するには、［プリンタ］フォルダで本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［管理者で実行］、［プロパティ］、［印刷設定］の順にクリックします。管理者アカウントのパスワードを求められた場合は、パスワードを入力して管理者権限で実行する必要があります。
  - ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
  - 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Administrators（管理者）（Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合）またはPower Users所属のユーザ（Windows 2000の場合のみ）でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。

11) [エクスポート]

ウォーターマーク、オーバーレイ、原稿種類、カスタム用紙サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をエクスポートします。

エクスポート方法

- ［エクスポート］をクリックします。
- 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、保存先とファイル名を指定し、［保存］をクリックします。

注 意

- ［エクスポート］を実行するには、［プリンタ］フォルダで本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［管理者で実行］、［プロパティ］、［印刷設定］の順にクリックします。管理者アカウントのパスワードを求められた場合は、パスワードを入力して管理者権限で実行する必要があります。
  - ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
  - 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Administrators（管理者）（Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合）またはPower Users所属のユーザ（Windows 2000の場合のみ）でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。

12) ［バージョン情報］

クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

13) ［すべての設定を標準に戻す］

［フォント］タブ、［構成］タブ以外のすべてのタブの印刷設定を初期値に戻します。クリックすると、設定を初期値に戻すことを確認するメッセージが表示され、［はい］を押すとすべてのタブの印刷設定が初期値に戻ります。

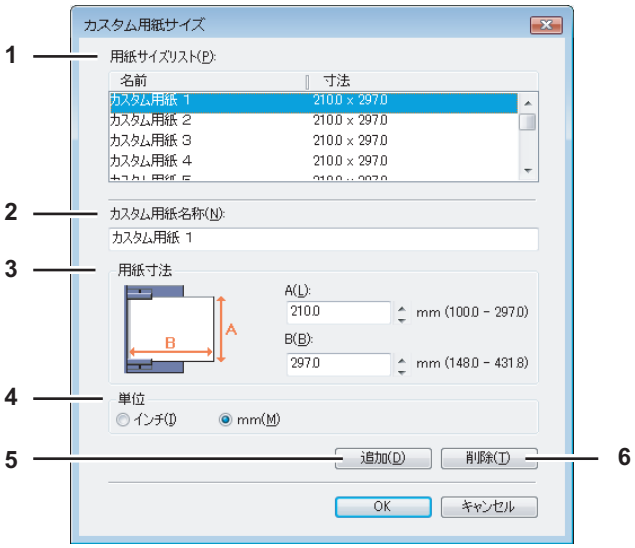
注 意

［フォント］タブ、［構成］タブを変更するには、プリンタフォルダから管理者権限で操作する必要があります。詳細については以下を参照してください。

P.52 「［フォント］タブ」
P.54 「［構成］タブ」

カスタム用紙サイズ

「カスタム用紙サイズ」ダイアログボックスでは、カスタムサイズの用紙設定を最大20個まで定義することができます。ここで定義したカスタム用紙サイズは、［基本］タブの［原稿サイズ］および［印刷用紙サイズ］で選択できます。



1) 用紙サイズリスト

定義するカスタム用紙名称を選択します。

2) カスタム用紙名称

カスタム用紙サイズの名称を入力します。半角・全角63文字まで入力できます。ここで設定した名前が、［基本］タブの［原稿サイズ］および［印刷用紙サイズ］に表示されます。

3) 用紙寸法

用紙の横幅（A）および縦幅（B）を指定します。

4) 単位

用紙寸法の単位を切り替えます。

5) ［追加］

カスタム用紙サイズの設定を、［用紙サイズリスト］で選択したカスタム用紙サイズに上書きします。

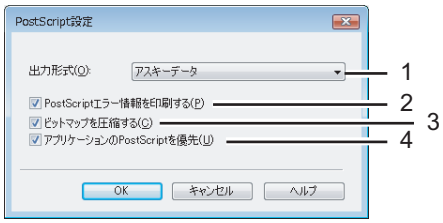
6) [削除]

[用紙サイズリスト]で選択したカスタム用紙サイズを削除し、初期値の状態に戻します。クリックすると、削除を確認するメッセージが表示されるので、削除する場合は[はい]をクリックします。

注 意

- 横幅（A）または縦幅（B）いずれかは、定型サイズより2mm以上異なる値で登録してください。横幅（A）と縦幅（B）いずれも定型サイズとの差異が2mm未満だった場合、定型サイズとして扱われます。
- 横幅（A）が縦幅（B）よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを[横]に変更して印刷してください。
- 定型サイズより長いサイズの用紙を定義した場合は、印刷時の用紙の扱いに注意が必要です。詳細については以下を参照してください。
P.85「定型サイズより長いサイズの用紙に印刷する」

PostScript設定



1) 出力形式

PostScript印刷の出力形式を選択します。

- **アスキーデータ**：ジョブをアスキーデータ形式（テキストエディタやワープロでPostScriptコード編集可能）で送信します。
- **Encapsulated PostScript（EPS）形式**：ジョブをEPS形式（PostScript対応プリンタ用ファイル）で送信します。
- **タグ付きバイナリ通信プロトコル**：ジョブをタグ付きバイナリ形式（情報付文字以外のデータ形式）で送信します。
- **PostScript（ポータビリティー ADSC用に最適化）**：印刷処理でエラーが少なくなるように最適化されたPostScript形式でジョブを送信します 。

注 意

EPS形式は、通常は文書に取り込むための画像を作成する場合に使用する形式です。したがって、[Encapsulated PostScript（EPS）形式]を選択すると、文書の1ページのみしか印刷されません。また、排紙先は管理者によって設定されていますので管理者にご確認ください。

2) PostScriptエラー情報を印刷する

印刷中に発生したPostScriptエラー情報を出力します。

3) ビットマップを圧縮する

圧縮したビットマップデータを本機へ送信します。

4) アプリケーションのPostScriptを優先

プリンタドライバのPostScriptプログラムの代わりにアプリケーションのプログラムを使用します。

注 意

この印刷機能を有効にしてAdobe Acrobatなど印刷時にPostScriptコードを独自に作成するアプリケーションから印刷すると、以下の印刷機能は正常に機能しないことがあります。その場合は、［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにして印刷を行ってください。

- 手動倍率
- 用紙サイズ
- 用紙タイプ
- 表紙挿入
- 裏表紙挿入
- 指定ページに挿入
- 1ページごとに挿入
- マガジンソート
- Nin1
- ［効果］タブの全機能
- ［画質］タブの全機能

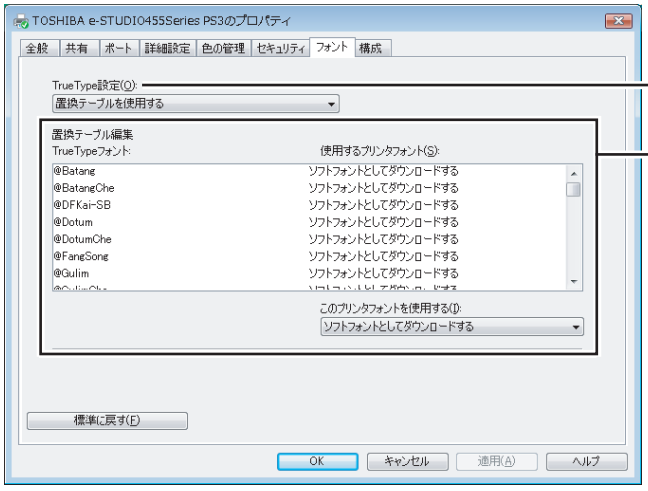
□［フォント］タブ

このタブでは、TrueTypeフォントの印刷方法を選択します。［フォント］タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。

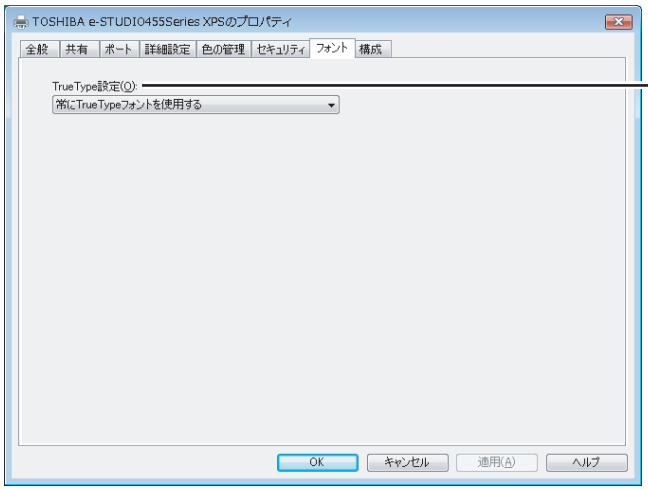
注 意

- ［フォント］タブを設定するには、［プリンタ］フォルダで本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［管理者で実行］、［プロパティ］の順にクリックします。管理者アカウントのパスワードを求められた場合は、パスワードを入力して管理者権限で実行する必要があります。
  - ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
  - 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Administrators（管理者）（Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合）またはPower Users所属のユーザ（Windows 2000の場合のみ）でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。

［フォント］タブ（PCL6/PS3）



［フォント］タブ（XPS）



1) TrueType設定

TrueTypeフォントの印刷方法を設定します。

- **常にTrueTypeフォントを使用する**：TrueTypeフォントをすべてイメージに展開して印刷するので、画面に表示されているページイメージと印刷結果が一致します。
- **常にプリンタフォントを使用する**：TrueType フォントをすべてプリンタの内蔵フォントに置き換えて印刷します。画面に表示されているページイメージと印刷結果が異なる場合があります。
- **置換テーブルを使用する**：ドライバの規定値を使用せず、TrueType置換テーブルの設定を使用してフォントを置き換えて印刷します。［置換テーブル編集］に表示されている置換テーブルを編集することができます。
- **ビットマップとしてダウンロードする**：文書で使用しているフォントをビットマップイメージとして本機にダウンロードし印刷します。

注 意

追加したフォントが、フォントリストに表示されない場合があります。正しくインストールされたかどうか確認するために、実際に印刷することをお勧めします。

補 足

- PCL6プリンタドライバでは［常にTrueTypeフォントを使用する］が初期設定になります。
- PS3プリンタドライバでは［置換テーブルを使用する］が初期設定になります。
- XPSプリンタドライバでは［常にTrueTypeフォントを使用する］のみとなります。

2) 置換テーブル編集

TrueTypeフォントごとにどのようにプリンタフォントに置き換えるかを設定します。置換テーブルの設定を変更するには、変更したいTrueTypeフォントの設定を一覧で選択し、［このプリンタフォントを使用する］ボックスでどのプリンタフォントに置き換えるかを選択します。［このプリンタフォントを使用する］ボックスでは、TrueTypeフォントをType 42形式で送信する［ソフトフォントとしてダウンロードする］、または本機の内蔵フォントを選択することができます。ボックスに表示される本機の内蔵フォントは、選択したTrueTypeフォントによって異なります。

注 意

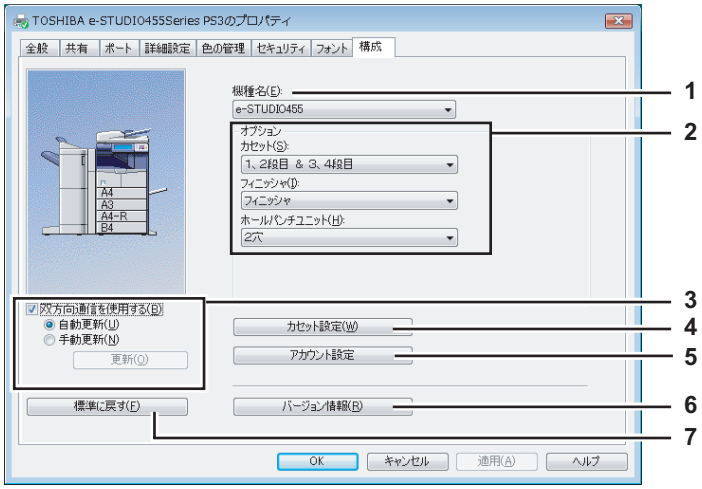
XPSプリンタドライバをお使いの場合は表示されません。

□［構成］タブ

このタブでは、本機に装着されているオプション機器の構成を設定します。装着されたオプション機器の機能を実行するには、［構成］タブでオプション構成を設定することが必要です。［構成］タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。

補 足

- ［構成］タブを設定するには、［プリンタ］フォルダで本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［管理者で実行］、［プロパティ］の順にクリックします。管理者アカウントのパスワードを求められた場合は、パスワードを入力して管理者権限で実行する必要があります。
  - ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
  - 「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。
- Administrators（管理者）（Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008の場合）またはPower Users所属のユーザ（Windows 2000の場合のみ）でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。



1) 機種名

本機のモデル名を選択します。

- e-STUDIO255/e-STUDIO355/e-STUDIO455

2) オプション

以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

カセット

オプションのカセットの装着を設定します。

- **1段目**：1段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1段目＆大容量給紙装置**：1段目カセットおよび大容量給紙装置（オプション）が装着されている場合に選択します。
- **1段目＆3段目**：1段目カセットおよび3段目カセット（オプション）が装着されている場合に選択します。
- **1段目＆3、4段目**：1段目カセット、3段目カセット（オプション）および4段目カセット（オプション）が装着されている場合に選択します。
- **1、2段目**：1段目カセットおよび2段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1、2段目＆3段目**：1段目カセット、2段目カセットおよび3段目カセット（オプション）が装着されている場合に選択します。
- **1、2段目＆3、4段目**：1段目カセット、2段目カセット、3段目カセット（オプション）および4段目カセット（オプション）が装着されている場合に選択します。
- **1、2段目＆大容量給紙装置**：1段目カセット、2段目カセットおよび大容量給紙装置（オプション）が装着されている場合に選択します。

フィニッシャ

フィニッシャ（オプション）の装着を設定します。

e-STUDIO355/455をお使いの場合：

- **なし**：フィニッシャ（オプション）を装着していない場合に選択します。

- **フィニッシャ**：フィニッシャ（オプション）を装着している場合に選択します。
- **ハンギングフィニッシャ**：ハンギングフィニッシャ（オプション）を装着している場合に選択します。
- **サドルステッチフィニッシャ**：サドルステッチフィニッシャ MJ-1024（オプション）を装着している場合に選択します。
- **インナートレイ**：インナートレイMJ-5006（オプション）を装着している場合に選択します。

e-STUDIO255をお使いの場合：

- **なし**：フィニッシャ（オプション）を装着していない場合に選択します。
- **ハンギングフィニッシャ**：ハンギングフィニッシャ（オプション）を装着している場合に選択します。
- **サドルステッチフィニッシャ**：サドルステッチフィニッシャ MJ-1025（オプション）を装着している場合に選択します。
- **インナートレイ**：インナートレイMJ-5004（オプション）を装着している場合に選択します。
- **オフセットインナートレイ**：オフセットインナートレイ（オプション）を装着している場合に選択します。

ホールパンチユニット

ホールパンチユニット（オプション）の装着を設定します。

- **なし**：ホールパンチユニット（オプション）を装着していない場合に選択します。
- **2穴**：2穴ホールパンチユニット（オプション）を装着している場合に選択します。
- **2／3穴**：2／3穴ホールパンチユニット（オプション）を装着している場合に選択します。
- **4穴（F）**：4穴（F）ホールパンチユニット（オプション）を装着している場合に選択します。
- **4穴（S）**：4穴（S）ホールパンチユニット（オプション）を装着している場合に選択します。

注 意

［2／3穴］［4穴（F)］［4穴（S)］は国内では対応しておりません。

3) 双方向通信を使用する

本機からオプション構成の情報を取得する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

双方向通信が無効になっている場合は、TopAccessDocMonによるイベント通知は行われません。

自動更新／手動更新

プリンタドライバのオプション構成情報の取得方法を選択します。［双方向通信を使用する］チェックボックスがオンのときのみ有効です。

- **自動更新**：プリンタドライバの［構成］タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。
- **手動更新：**オプション構成の情報を手動で更新します。

補 足

本機と双方向通信できない場合、または接続がまだセットアップされていない場合は、「プリンタのアドレスが不明です。検索しますか？」というメッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、「ローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。本機を検索すると、双方向通信によるオプション構成の取得が可能となります。

［更新］

クリックすると、本機からシステム構成の情報を直ちに取得し、情報を更新します。［双方向通信を使用する］チェックボックスがオンのときのみ有効です。

補 足

本機と双方向通信できない場合、または接続がまだセットアップされていない場合は、「プリンタのアドレスが不明です。検索しますか？」というメッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、「ローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。本機を検索すると、双方向通信によるオプション構成の取得が可能となります。

4) ［カセット設定］

各カセットの用紙サイズ、用紙タイプ、使用目的を設定します。クリックすると、「カセット設定」ダイアログボックスが表示されます。

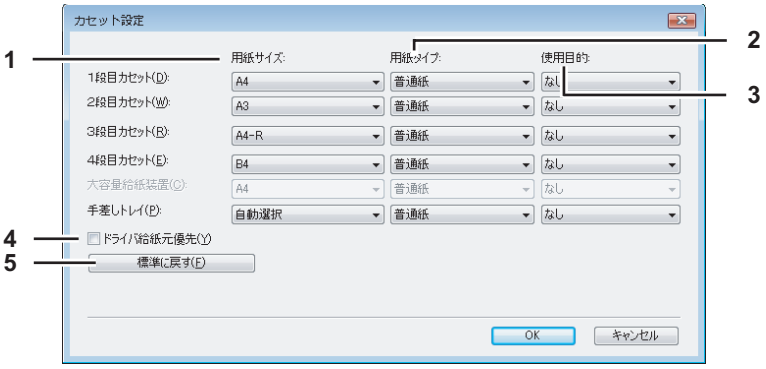
📖 P.56 「カセット設定」

5) [アカウント設定]
ユーザ認証の有効／無効、およびプライベート／ホールド印刷限定機能を設定します。クリックすると、「アカウント設定」ダイアログボックスが表示されます。
P.57 「アカウント設定」

6) [バージョン情報]
クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

7) [標準に戻す]
［構成］タブで表示されている本機の構成を、工場出荷時の状態に戻します。

カセット設定



1) 用紙サイズ
各カセットにセットされている用紙サイズを選択します。

2) 用紙タイプ
各カセットにセットされている用紙の用紙タイプを選択します。

3) 使用目的
各カセットにセットされている用紙の使用目的を選択します。使用目的を選択すると、印刷設定に従って、設定した使用目的のカセットを優先的に使用します。

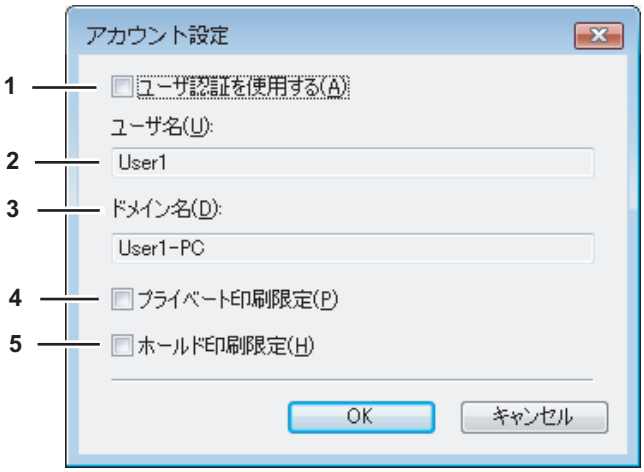
4) ドライバ給紙元優先
アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用する場合にチェックボックスをオンにします。

5) [標準に戻す]
「カセット設定」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

補 足

設定できるカセットはオプション構成により異なります。

アカウント設定



補 足

本機との双方向通信が有効な場合、下記アカウント情報は本機から自動的に取得され、「アカウント設定」ダイアログボックスに表示されます。

1) ユーザ認証を使用する
ユーザ認証を有効にする場合に、チェックボックスをオンにします。

2) ユーザ名
コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

3) ドメイン名
本機が属するドメイン名が表示されます。

4) プライベート印刷限定
プライベート印刷限定機能を有効にする場合に、チェックボックスをオンにします。

5) ホールド印刷限定
ホールド印刷限定機能を有効にする場合に、チェックボックスをオンにします。

注 意

- プライベート印刷限定機能およびホールド印刷限定機能については、弊社サービスエンジニアにお問い合わせください。
- [構成] タブでアカウント設定を変更した後、プリンタフォルダから印刷設定を開いて設定の確認を行ってください。または、アプリケーションから印刷する際に印刷プロパティを開いて内容を確認してください。

さまざまな機能を使って目的別に印刷する

ここでは、プリンタドライバが提供する印刷ジョブの処理方法や、レイアウトおよび仕上げ機能など、高度な印刷機能について説明します。このセクションをよくお読みになり、目的に合った印刷方法をご活用ください。

P.58「印刷ジョブタイプ」
P.67「[基本]タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能」
P.68「[フィニッシング]タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能」
P.75「[排紙先／挿入]タブで設定する仕上げ機能」
P.78「[効果]タブで設定する仕上げ機能」
P.82「さまざまな用紙を使って印刷する」

■ 印刷ジョブタイプ

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[ホールド印刷]、[お試し印刷]、[オーバーレイファイルで保存]、[本体に保存]があります。

P.59「予約印刷」
P.60「プライベート印刷」
P.61「ホールド印刷」
P.62「お試し印刷」
P.63「オーバーレイファイルで保存」
P.64「本体に保存」

□ 予約印刷

予約印刷機能を使用して、ジョブを印刷する日付と時間を指定することができます。特に、混雑時を避けて後で印刷を行う場合に便利です。

注 意

予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。

指定した日時にジョブを印刷する

1 **［基本］タブを選択します。**

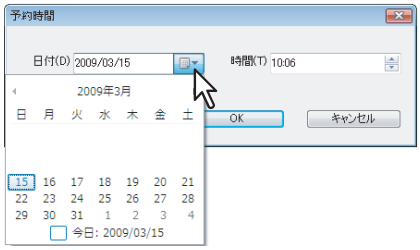
2 **［ジョブタイプ］ボックスで［予約印刷］を選択します。**



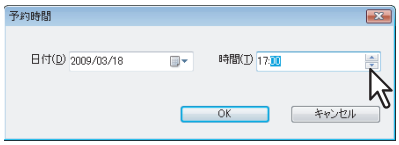
3 **［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックします。**

「予約時間」ダイアログボックスが表示されます。

4 **［日付］ボックスをクリックし、カレンダー画面を表示させます。そのカレンダーから印刷を行う日付を指定します。**



5 **［時間］ボックスを選択し、［▲］または［▼］をクリックし、印刷を行う時間を指定します。**



時を変更するには、時の値を選択し、［▲］、［▼］をクリックします。分を変更するには、分の値を選択し、［▲］、［▼］をクリックします。

6 **［OK］をクリックします。**

指定した日時が［時間］ボックスに表示されます。

7 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

8 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブがジョブキューに保存され、指定した日時に印刷が実行されます。

□ プライベート印刷

プライベート印刷機能は、ほかの人に見られたくない機密文書などを印刷するときに使用します。

注 意

プライベート印刷機能は、本機のユーザ管理設定が無効な場合に使用することができます。

機密文書を印刷する

1 **［基本］タブを選択します。**

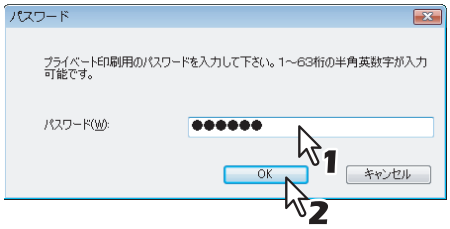
2 **［ジョブタイプ］ボックスで［プライベート印刷］を選択します。**



3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

5 **パスワードを入力し、［OK］をクリックします。**



プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。

注 意

- 1～63 文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21～0x7E までの ASCIIコード）の文字を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。このパスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

6 **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

7 **タッチパネルの［プライベート印刷］を押します。**

8 **目的のユーザ名を選択し、［パスワード］を押します。**

補 足

［カスタム］タブの［表示ユーザ名］ボックスに任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。

9 **コンピュータで設定したプライベート印刷のパスワードを入力し、［OK］を押します。**

- ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
  同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を入力した場合：
  同じユーザ名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

10 **プライベート印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［印刷］を押します。**

タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。

P.145 「プライベート印刷ジョブ」

□ ホールド印刷

ホールド印刷機能は、本機の操作パネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。

ホールド印刷ジョブを印刷する

1 **［基本］タブを選択します。**

2 **［ジョブタイプ］ボックスで［ホールド印刷］を選択します。**



3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。

5 **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

6 **タッチパネルの［ホールド印刷］を押します。**

7 **目的のユーザ名を選択します。**

補 足

［カスタム］タブの［表示ユーザ名］ボックスに任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

8 **ホールド印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［印刷］を押します。**

タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。

P.149 「ホールド印刷ジョブ」

補 足

- ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
  選択したユーザが登録したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
- ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を入力した場合：
  同じユーザ名を使って登録したホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。

□ お試し印刷

お試し印刷は、複数部数の印刷を行う前に確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、希望する印刷結果を効率よく得ることができます。お試し印刷された出力結果を確認したうえで、ジョブをそのまま印刷するか削除するかを選択します。

注 意

複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

お試し印刷を行う

1 **［基本］タブを選択します。**

2 **［ジョブタイプ］ボックスで［お試し印刷］を選択します。**



3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

サンプルが1部印刷され、印刷ジョブ（残り部数）は本機に保存されます。

5 **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

6 **タッチパネルの［お試し印刷］を押します。**

7 **お試し印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［印刷］を押します。**

タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。

🕮 P.142 「お試し印刷ジョブ」

□ オーバーレイファイルで保存

プリンタドライバを介して文書をオーバーレイファイルとして最大20個まで保存できます。作成したオーバーレイファイルは、ほかの印刷文書の背面または前面に印刷することができます。
P.80 「オーバーレイファイルを使用する」

注 意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ・用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してオーバーレイファイルで保存を行うと、オーバーレイファイルが正常に作成されないことがあります。その場合はPostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
  P.51 「PostScript設定」

オーバーレイファイルとして保存する

1 **［基本］タブを選択します。**

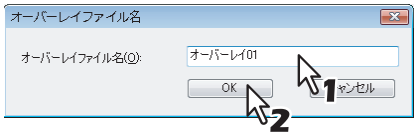
2 **［ジョブタイプ］ボックスで［オーバーレイファイルで保存］を選択します。**



3 **［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックします。**

「オーバーレイファイル名」ダイアログボックスが表示されます。

4 **オーバーレイファイルの名前を入力し、［OK］をクリックします。**



半角・全角63文字まで入力できます。

5 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

6 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

文書がオーバーレイファイルとして保存されます。

補 足

作成したオーバーレイファイルは、文書を印刷するときに使用することができます。
P.80 「オーバーレイファイルを使用する」

□ 本体に保存

この機能は、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機のハードディスクへ送信し、保存する機能です。保存したジョブは、タッチパネルから印刷出力したり、ファイリングボックスWebユーティリティを使って、ほかの文書と合成することもできます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもこれにアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

注 意

- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタドライバを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

補 足

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- また、保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。ファイリングボックスWebユーティリティを使った管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。

共有ボックスに印刷ジョブを保存する

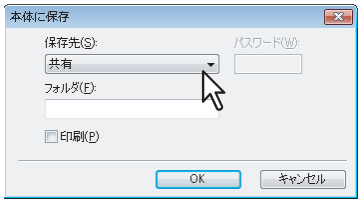
1 **［基本］タブを選択します。**

2 **［ジョブタイプ］ボックスで［本体に保存］を選択します。**

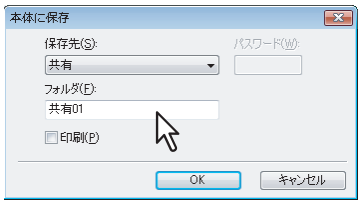


3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［保存先］ボックスで［共有］を選択します。**



5 共有ボックス内のフォルダを指定する場合は、［フォルダ］ボックスにフォルダ名を入力します。



注 意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合は、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数が100以上の場合は、新規に作成することはできません。

6 保存と同時に印刷を行う場合は、［印刷］チェックボックスをオンにします。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブが共有ボックスに保存されます。

ユーザボックスに印刷ジョブを保存する

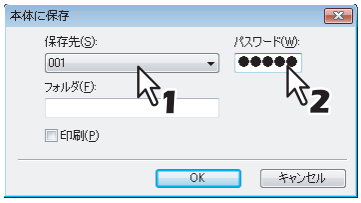
1 ［基本］タブを選択します。

2 ［ジョブタイプ］ボックスで［本体に保存］を選択します。

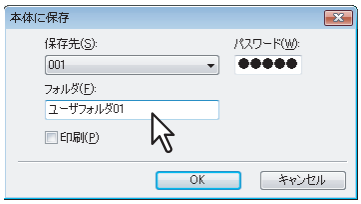


3 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

4 ［保存先］ボックスで保存先のユーザボックスを選択し、必要に応じて［パスワード］ボックスにユーザボックスのパスワード（5桁）を入力します。



5 ユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、［フォルダ］ボックスにフォルダ名を入力します。



注 意

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数が100以上の場合は、新規に作成することはできません。

6 保存と同時に印刷を行う場合は、［印刷］チェックボックスをオンにします。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブが指定したユーザボックスに保存されます。

■［基本］タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能

印刷目的に合わせてレイアウト機能や仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［基本］タブで設定できる下記機能について説明します。

P.67 「用紙に収まるように印刷する」

□ 用紙に収まるように印刷する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。倍率は手動で設定することもできます。

自動で変倍印刷を行う

1 **［基本］タブを選択します。**

2 **［原稿サイズ］ボックスから文書のサイズを選択します。［印刷用紙サイズ］ボックスから使用する用紙のサイズを選択します。**



選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

指定した用紙サイズに収まるように変倍されたページイメージが印刷されます。

手動で変倍印刷を行う

1 **［基本］タブを選択します。**

2 **［手動倍率］チェックボックスをオンにして、倍率を入力します。**



倍率は、25～ 400（%）の範囲を1%単位で設定することができます。

3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

指定した倍率で変倍されたページイメージが印刷されます。

■［フィニッシング］タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能

印刷目的に合わせてレイアウト機能や仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［フィニッシング］タブで設定できる下記機能について説明します。

P.68 「1部またはページごとに分けて印刷する」
P.69 「両面印刷する」
P.70 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」
P.72 「複数ページを1ページにまとめて印刷する」
P.73 「ステイプル留めする」
P.74 「ホールパンチ印刷」

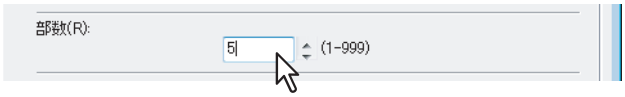
□ 1部またはページごとに分けて印刷する

複数部数のジョブを印刷するときのソート方法を選択します。1部ごと出力する［ソート］、ページごとにグループ分けして出力する［グループ］、および縦横交互に出力する［縦横交互排紙］を選択することができます。

1部ごと仕分けして印刷する

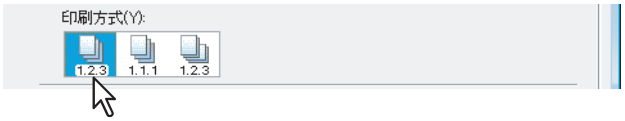
1 ［基本］タブを選択します。

2 ［部数］ボックスに印刷部数を入力します。



3 ［フィニッシング］タブを選択します。

4 ［印刷方式］で［ソート］アイコンを選択します。



5 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

6 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブを1部ごと仕分けして出力します。

ページごとにグループ分けして印刷する

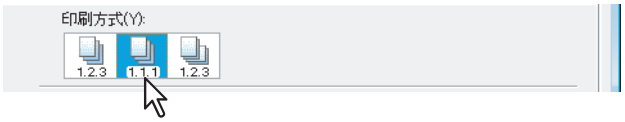
1 ［基本］タブを選択します。

2 ［部数］ボックスに印刷部数を入力します。



3 ［フィニッシング］タブを選択します。

4 ［印刷方式］で［グループ］アイコンを選択します。



5 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

6 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**
印刷ジョブをページごとにグループ分けして出力します。

印刷ジョブを縦横交互に出力する

注 意

［縦横交互］は、Letter、A4、B5、または16K用紙を使って印刷するときに有効です。

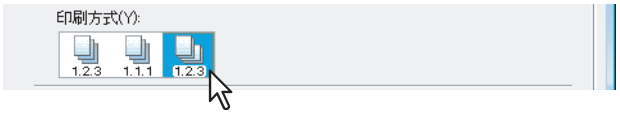
1 **［基本］タブを選択します。**

2 **［部数］ボックスに印刷部数を入力します。**



3 **［フィニッシング］タブを選択します。**

4 **［印刷方式］で［縦横交互］アイコンを選択します。**



5 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

6 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**
印刷ジョブを1部ごと、縦横交互に出力します。

□ 両面印刷する

両面印刷は、左右開き（左とじ）または上下開き（上とじ）にとじしろを設定し、用紙の両面に印刷する機能です。

両面印刷を行う

1 **［フィニッシング］タブを選択します。**

2 **［両面印刷］チェックボックスをオンにして、印刷文書のとじ向きを選択します。**



左とじ： 用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。

上とじ： 用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。

補 足

両面印刷では、マガジンソート印刷を設定することもできます。マガジンソート印刷の設定方法については、以下の説明を参照してください。
P.70 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」

3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブを指定したとじ向きで両面印刷します。

□ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する

マガジンソート印刷を選択して印刷を行うと、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。また、ステイプル機能を使用して印刷した文書の中央をステイプル留め（サドルステッチ処理）すれば、自動的に中折りとじを出力できます。たとえば、B4サイズで文書をマガジンソート印刷した場合、B5サイズの中折り綴じを作成します。各ページが指定の用紙の半分に収まるように文書サイズを自動調節し、中折りに綴じたときにページの順番が正しくなるようにページを並べ替えて印刷を行います。文書サイズを変更せずにマガジンソート印刷を行う場合は、印刷する用紙サイズを文書サイズの2倍のサイズの用紙を設定します。たとえば、B5サイズで作成した文書をB4サイズの用紙にマガジンソート印刷すると、B4サイズの中折りとじを作成します。文書サイズと同じサイズの中折りとじを作成するには、次のようなサイズで文書を作成し用紙サイズを指定します。

- A4（文書サイズ）／A3（用紙サイズ）
- B5（文書サイズ）／B4（用紙サイズ）
- Letter（文書サイズ）／Ledger（用紙サイズ）

注 意

PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してマガジンソート印刷を行うと、印刷結果が正常に出力されない場合があります。その場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。

P.51 「PostScript設定」

マガジンソート印刷を行う

1 **［フィニッシング］タブを選択します。**

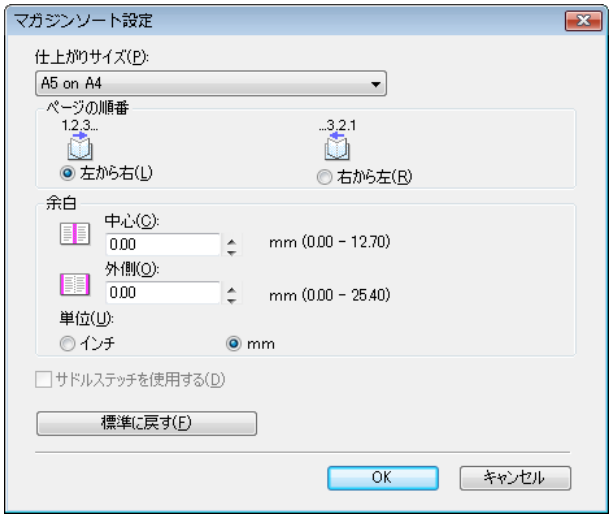
2 **［両面印刷］チェックボックスをオンにし、［マガジンソート］アイコンを選択します。**



3 **［編集］をクリックします。**

「マガジンソート設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 ［仕上がりサイズ］より仕上がりサイズを選択します。



A5 on A4：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
A4 on A3：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
B5 on B4：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
B6 on B5：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
1/2 Folio on Folio：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
A6 on A5：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
Letter - Half on Letter：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
LT on LD：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
1/2 LG on LG：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
1/2 Statement on Statement：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
1/2 Comp on Comp：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
1/2 13LG on 13LG：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
1/2 8.5SQ on 8.5SQ：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
32K on 16K：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
16K on 8K：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

5 ［ページの順番］よりページの印刷順序を選択します。

6 ［余白］より余白幅の設定をします。

［中心］：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。12.70 mm（0.50インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
［外側］：ページの上下左右の余白を設定します。25.40 mm（1インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
［単位］：中心の余白および外側の余白の単位を選択します。

7 用紙の中央部分を2か所ステイプル留めして出力する場合は、［サドルステッチを使用する］チェックボックスをオンにします。

注 意

［サドルステッチを使用する］は、サドルステッチフィニッシャ（オプション）装着時のみ有効です。

8 ［OK］をクリックして「マガジンソート設定」ダイアログボックスを閉じます。

9 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

10 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブをマガジンソート印刷します。

注 意

サドルステッチフィニッシャ（オプション）が装着されている場合、印刷ジョブは自動で中折りされて出力されます。装着されていない場合には、手動で出力紙の中央に折り目を入れてください。

□ 複数ページを1ページにまとめて印刷する

Nin1印刷は、複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷する機能です。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWeb ページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにNin1印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

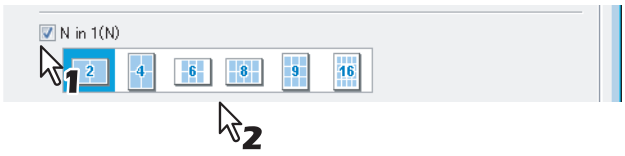
注 意

- Nin1 印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされる各ページイメージには、オーバーレイファイルは印刷されません。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してNin1印刷を行うと、印刷結果が正常に出力されない場合があります。その場合は、PostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
P.51 「PostScript設定」

複数ページを1ページの用紙に印刷する

1 ［フィニッシング］タブを選択します。

2 ［Nin1］チェックボックスをオンにし、レイアウト方法を選択します。



2 in 1： 2ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

4 in 1： 4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

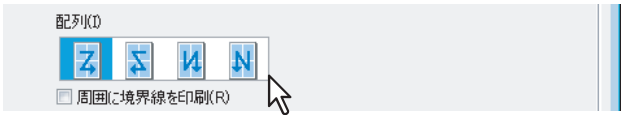
6 in 1： 6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

8 in 1： 8ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

9 in 1： 9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

16 in 1： 16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

3 ［配列］で、用紙にページをどのように並べるかを選択します。



左から右：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
右から左：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
縦列で左から右：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
縦列で右から左：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

4 ページごとに境界線を印刷するときは、［周囲に境界線を印刷］チェックボックスをオンにします。

5 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

6 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
印刷ジョブをNin1印刷します。

□ ステイプル留めする

部ごとに用紙をステイプル留めして出力することができます。

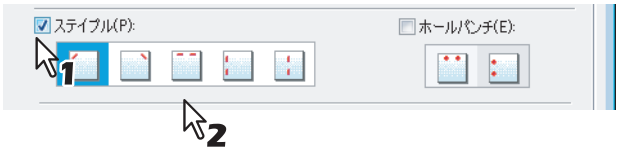
注 意

フィニッシャ（オプション）が装着されている場合のみ、ステイプル印刷は有効です。

ステイプル印刷を行う

1 ［フィニッシング］タブを選択します。

2 ［ステイプル］チェックボックスをオンにして、ステイプルの種類を選択します。



- **上段左**：部ごとに用紙の左上をステイプル留めして排紙します。
- **上段右**：部ごとに用紙の右上をステイプル留めして排紙します。
- **上段（2か所）**：部ごとに用紙の上部2か所をステイプル留めして排紙します。
- **左（2か所）**：部ごとに用紙の左側2か所をステイプル留めして排紙します。
- **サドルステッチ**：用紙の中央2か所をステイプル留めし中折りして排紙します。

注 意

- 選択できる項目は、用紙サイズによって異なります。
- ［サドルステッチ］は、サドルステッチフィニッシャ（オプション）装着時に有効です。

3 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

4 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。
部ごとに用紙をステイプル留めして出力します。

□ ホールパンチ印刷

印刷用紙に綴じるための穴を開けて出力することができます。

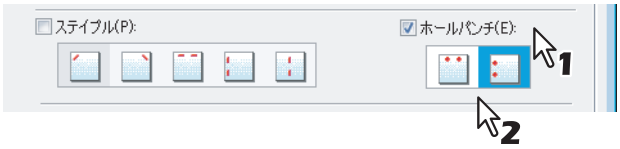
注 意

ホールパンチユニット（オプション）が装着されている場合のみ、ホールパンチ印刷は有効です。

ホールパンチ印刷を行う

1 **［フィニッシング］タブを選択します。**

2 **［ホールパンチ］チェックボックスをオンにして、ホールパンチ方法を選択します。**



- **上段**： 用紙の上部2か所に綴じ穴を開けて出力します。
- **左**： 用紙の左側2か所に綴じ穴を開けて出力します。

3 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

4 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

用紙に綴じ穴を開けて出力します。

■［排紙先／挿入］タブで設定する仕上げ機能

印刷目的に合わせて仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［排紙先／挿入］タブで設定できる下記機能について説明します。

📖 P.75「表紙など異なる用紙を挿入する」
📖 P.77「1ページごとに用紙を挿入する」

□ 表紙など異なる用紙を挿入する

シート挿入は、原稿の指定したページに表紙や裏表紙、用紙シートを挿入する機能です。種類の違う文書内容を区切るときなどに、色紙や索引用紙などを指定して挿入できます。また、空白シートを挿入することも、印刷したシートを挿入することもできます。

表紙および裏表紙を印刷、挿入する

1 **［排紙先／挿入］タブを表示します。**

2 **表紙を印刷または挿入するときは、［表紙挿入］チェックボックスをオンにし、［給紙方法］ボックスから表紙に使用する用紙の給紙元を選択します。［出力形式］ボックスから表紙の印刷方法を選択します。**



空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
片面印刷：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
両面印刷：文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。

注 意

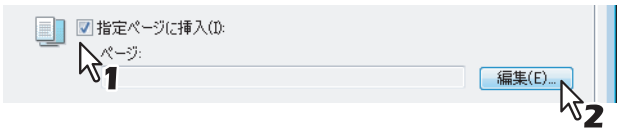
- ［給紙方法］ボックスで［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、手差しトレイを選択し、プリンタドライバの構成タブで手差しトレイの用紙種別に厚紙を設定します。
- ［フィニッシング］タブで両面印刷が有効に設定されているときに、［両面印刷］を選択することができます。

3 **裏表紙を印刷または挿入するときは、［裏表紙挿入］チェックボックスをオンにし、目的の［給紙方法］および［出力形式］を設定します。**



設定内容は、上記［表紙挿入］と同じです。

4 **ページの間にシートを挿入するときは、［指定ページに挿入］チェックボックスをオンにし、［編集］をクリックします。**

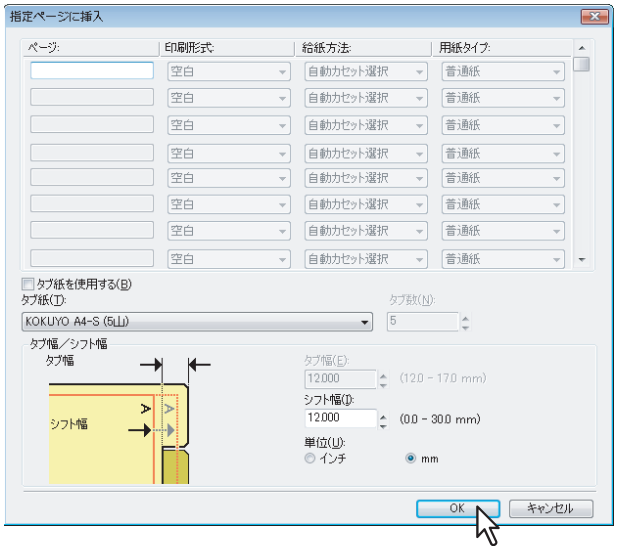


「指定ページに挿入」ダイアログボックスが表示されます。

注 意

- 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用して指定ページに挿入を行うと、指定したページに挿入されないことがあります。その場合はPostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。
  P.51 「PostScript設定」

5 **［ページ］ボックスにページを挿入するページ番号を入力し、挿入ページに適用する［印刷形式］［給紙方法］［用紙タイプ］をそれぞれ選択して、［OK］をクリックします。**



6 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

7 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷文書に表紙や裏表紙を挿入して出力します。

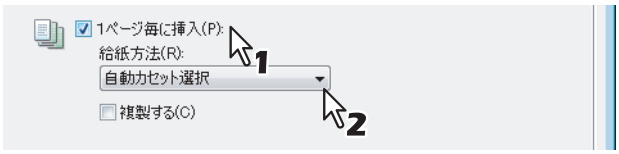
□ 1ページごとに用紙を挿入する

［1ページ毎に挿入］は、印刷ジョブの各ページの間にそれぞれ用紙を挿入する機能です。たとえば、OHP用紙の間に空白シートや色紙などをそれぞれ挿入するときなどに便利です。

印刷ジョブの各ページの間にシートを挿入する

1 **［排紙先／挿入］タブを表示します。**

2 **［1ページ毎に挿入］チェックボックスをオンにし、［給紙方法］ボックスから、挿入シートに使用する用紙の給紙元を選択します。**



注 意

- ［給紙方法］ボックスで［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、手差しトレイを選択し、プリンタドライバの構成タブで手差しトレイの用紙種別に厚紙を設定します。

3 **各挿入シートに印刷文書の前ページを印刷する場合は、［複製する］チェックボックスをオンにします。**

挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。

4 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

5 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブの各ページの間にシートが挿入されます。

■［効果］タブで設定する仕上げ機能

印刷目的に合わせて仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［効果］タブで設定できる下記機能について説明します。

P.78 「ウォーターマークを入れて印刷する」
P.80 「オーバーレイファイルを使用する」

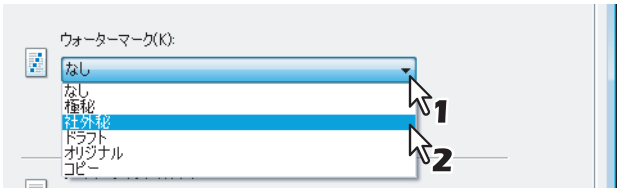
□ ウォーターマークを入れて印刷する

ウォーターマークは、「極秘」、「社外秘」、「ドラフト」、「オリジナル」、「コピー」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。ウォーターマークによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記5つのウォーターマークは標準で登録されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。ウォーターマークはテキストだけです。グラフィックスなどを使う場合は、オーバーレイファイルを使用してください。

ウォーターマークを印刷する

1 **［効果］タブを選択します。**

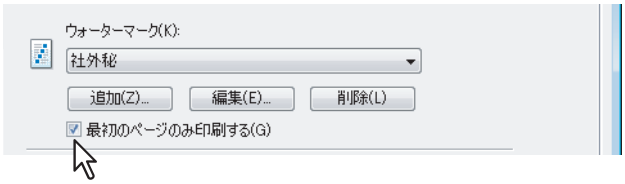
2 **［ウォーターマーク］ボックスで印刷するウォーターマークを選択します。**



注 意

ボックスに目的のウォーターマークがない場合は、ウォーターマークを新たに作成することができます。

3 **選択したウォーターマークを文書の最初のページにのみ印刷する場合は、［最初のページのみ印刷する］チェックボックスをオンにします。**



4 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

5 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

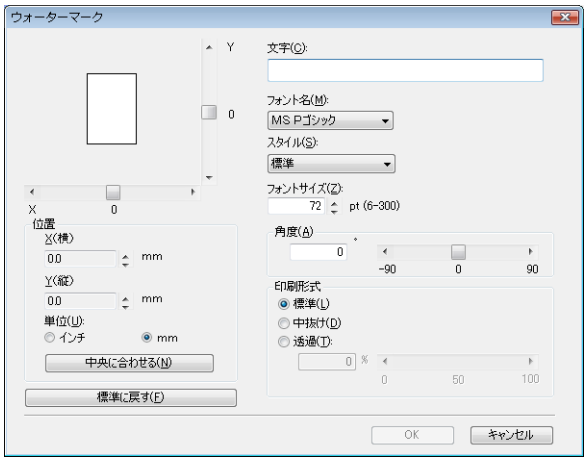
印刷ジョブにウォーターマークが印刷されます。

ウォーターマークを作成する／編集する

1 新規ウォーターマークを作成するときは、［追加］をクリックします。既存のウォーターマークを編集する場合は、目的のウォーターマークを選択し、［編集］をクリックします。



「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。



2 ［位置］よりX（横）、Y（縦）を指定してウォーターマークの位置を調整します。

［中央に合わせる］をクリックするとウォーターマークをページの中央に配置します。

3 ［文字］ボックスにウォーターマークに使用するテキストを入力します。

半角・全角63文字まで入力することができます。ただし、文字数が多いと、ウォーターマークが大き過ぎるため正しく印刷することができない場合があります。

4 ［フォント名］ボックスで、ウォーターマークテキストのフォントを選択します。

5 ［スタイル］ボックスで、ウォーターマークテキストのスタイルを選択します。

6 ［フォントサイズ］ボックスにウォーターマーククテキストのフォントサイズを入力します。

6ptから300ptの範囲を1pt単位で設定できます。スクロールバーを使ってフォントサイズを設定することもできます。

7 ［角度］ボックスにウォーターマークテキストの回転角度を入力します。

-90～ 90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

8 ［印刷形式］でウォーターマークテキストの印刷方法を選択します。

標準：ウォーターマークを黒で塗りつぶして印刷します。
中抜け：ウォーターマークを中抜きのフォントスタイルで印刷します。
透過：ウォーターマークが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って透過率を設定することもできます。

9 ［OK］をクリックし、ウォーターマーク設定を保存します。

新規ウォーターマークが追加、または変更内容が適用されます。

ウォーターマークを削除する

注 意

標準で登録されているウォーターマークも削除することができます。ただし、削除した場合、［標準に戻す］をクリックしても元に戻すことはできません。

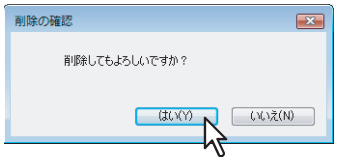
1 **［ウォーターマーク］ボックスで、削除するウォーターマークを選択します。**



2 **［削除］をクリックします。**

削除の確認メッセージが表示されます。

3 **［はい］をクリックします。**



ウォーターマークが削除されます。

□ オーバーレイファイルを使用する

テキスト、グラフィックス、チャート、表などによって構成された単ページ文書（または画像）を指定し、印刷文書の背面に印刷する機能です。グラフィックスを使用するため、通常のウォーターマークより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より適応したウォーターマークを印刷するときに便利です。印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するには、まず最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。

🕮 P.63 「オーバーレイファイルで保存」

注 意

- Nin1 印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされる各ページイメージには、オーバーレイファイルは印刷されません。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ・用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してオーバーレイファイル印刷を行うと、オーバーレイファイルが印刷されないことがあります。その場合はPostScript設定の［アプリケーションのPostScriptを優先］チェックボックスをオフにしてください。

  🕮 P.51 「PostScript設定」

オーバーレイファイルを使用する

1 ［効果］タブを選択します。

2 ［オーバーレイファイル］ボックスから使用するオーバーレイファイル名を選択します。



3 選択したオーバーレイファイルを印刷文書に重ねて印刷する場合は、［原稿の上に印刷］チェックボックスをオンにします。



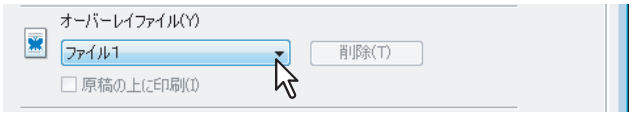
4 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

5 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブにオーバーレイファイルが印刷されます。

オーバーレイファイルを削除する

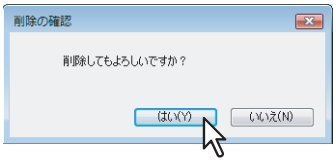
1 ［オーバーレイファイル］ボックスで、削除するオーバーレイファイルを選択します。



2 ［削除］をクリックします。

削除の確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をクリックします。



オーバーレイファイルが削除されます。

■ さまざまな用紙を使って印刷する

本機は、さまざまな種類の用紙に印刷することができます。ここでは、用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

P.82 「タブ紙に印刷する」
P.84 「はがきに印刷する」
P.85 「定型サイズより長いサイズの用紙に印刷する」

□ タブ紙に印刷する

本機では、タブ紙のタブに印刷するタブ紙印刷をサポートしています。

注 意

- 本機では、A4サイズまたはLetterサイズのタブ紙のみサポートしています。
- 複数枚のタブ紙を一度に印刷し、印刷イメージがタブの正しい位置に印刷されずに、はみ出てしまった場合などは、2枚目以降のタブ紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、タブ紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- タブ紙印刷を行うと、タブを送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙がひっかかったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にタブ紙を取り除いてください。

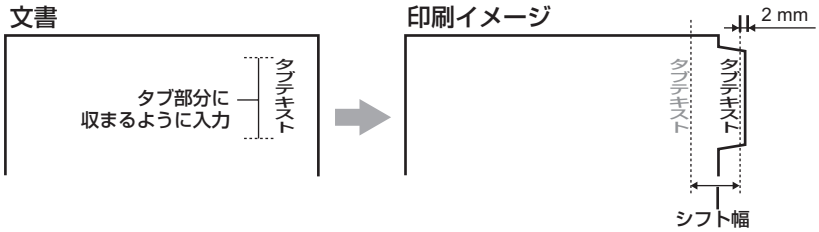
文書をタブ紙に印刷する

1 タブ紙に印刷するA4サイズまたはLetterサイズの文書を作成します。

タブ紙印刷用の文書を作成する場合は、タブに印刷するテキストを文書の右端に配置します。入力するテキストの縦位置は、使用するタブ紙のタブに収まるように調整して入力してください。

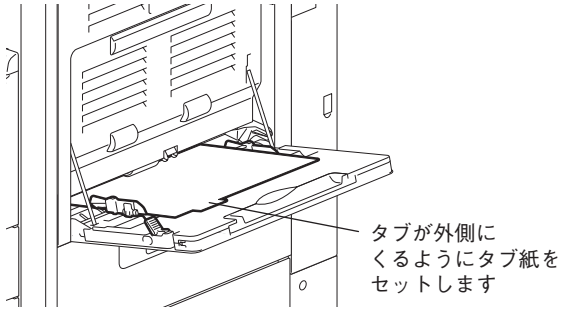
注 意

本機ではタブの右端から2.0 mmの余白に印刷することはできません。

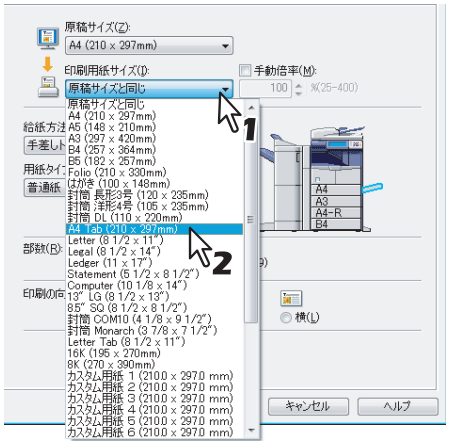


2 タブ紙を手差しトレイにセットします。

手差しトレイにタブ紙をセットする場合は、タブが外側になるようにセットします。

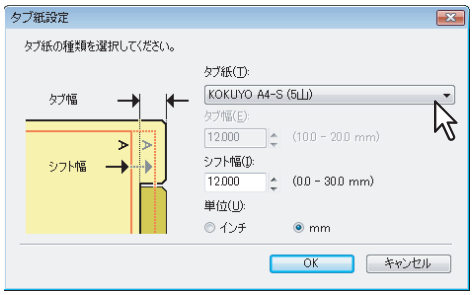


3 印刷するときに、プリンタドライバのプロパティを表示し、［基本］タブの［印刷用紙サイズ］で［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択します。



「タブ紙設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 ［タブ紙］ボックスで、使用するタブ紙の製品名を選択するか、または［カスタム］を選択します。



5 ［カスタム］を選択した場合は、［タブ幅］ボックスにタブ幅を入力します。

6 ［シフト幅］ボックスに印刷イメージをシフトする幅を入力します。

注 意

本機ではタブの右端から2.0 mmの余白に印刷することはできません。印刷イメージがタブの右端から2.0 mm以上内側に印刷されるようにシフト幅を設定してください。

7 ［OK］をクリックします。

8 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

9 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

10 タッチパネルの［状況確認］を押します。

印刷ジョブ一覧画面が表示されます。

11 印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［スタート］ボタンを押します。

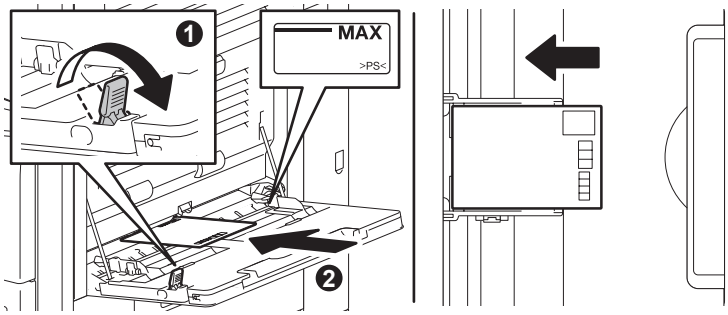
- 印刷ジョブがタブ紙に印刷されます。
- タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.138 「印刷ジョブの実行状況を確認する」

□ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきに印刷する方法を説明します。

はがきに印刷する

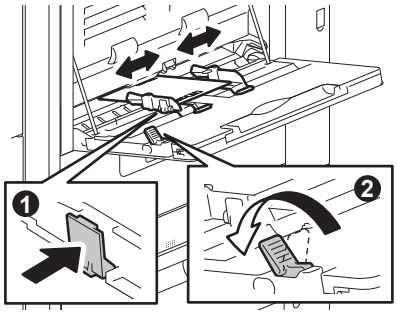
1 用紙押さえレバーを外側に倒します。はがきの下側を機体の方に向けて、印刷したい面を下にしてセットします。



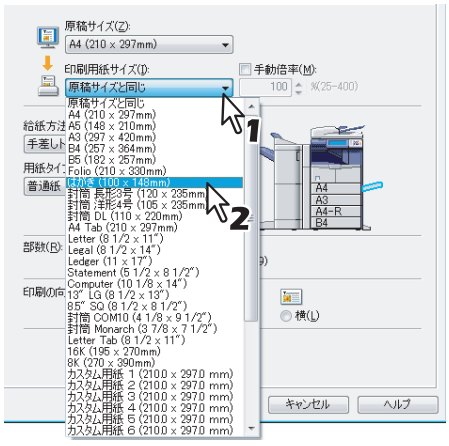
注 意

- はがきを複数枚セットする場合は、MAXの印を超えないようにセットしてください。
- はがきがカールしている場合は、平らに伸ばしてからセットしてください。

2 つまみを押さえながらサイドガイドをはがきの幅に合わせます。用紙押さえレバーを本機側に倒します。



3 印刷するときに、プリンタドライバのプロパティを表示し、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で [はがき] を選択します。



4 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

5 [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

6 **タッチパネルの［状況確認］を押します。**
印刷ジョブ一覧画面が表示されます。

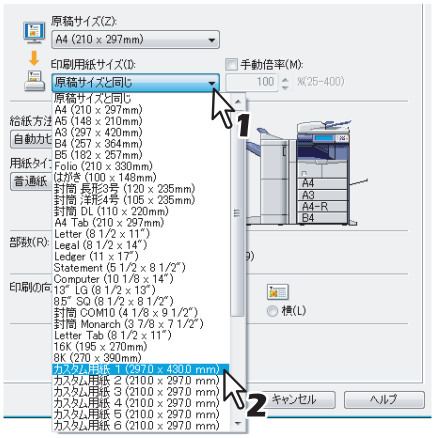
7 **印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［スタート］ボタンを押します。**
- 印刷ジョブがはがきに印刷されます。
  本機にインナートレイが装着されている場合、印刷されたはがきは常に［下トレイ］に出力されます。
- タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.138 「印刷ジョブの実行状況を確認する」

□ 定型サイズより長いサイズの用紙に印刷する

カスタム用紙サイズで定義した定型サイズより長いサイズの用紙（最大297 × 432mm）に印刷する方法を説明します。
カスタム用紙サイズは［カスタム］タブより定義することができます。
P.50 「カスタム用紙サイズ」

定型サイズより長いサイズの用紙に印刷する

1 **印刷するときに、プリンタドライバのプロパティを表示し、［基本］タブの［印刷用紙サイズ］で〔カスタム用紙〕を選択します。**



2 **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

3 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

4 **定型サイズより長いサイズの用紙を手差しトレイにセットします。**

注 意
- サイズを混在させて印刷しないでください。
- 印刷部数で複数枚指定しても印刷時は1枚ずつ手差しで挿入してください。

5 **タッチパネルの［状況確認］を押します。**
印刷ジョブ一覧画面が表示されます。

6 **印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［スタート］ボタンを押します。**
- 印刷ジョブが定型サイズより長いサイズの用紙に印刷されます。
- タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.138 「印刷ジョブの実行状況を確認する」

3

Macintoshアプリケーションから印刷する

Macintoshからの印刷方法について説明します。

アプリケーションから印刷する（Mac OS X 10.2.4 〜 Mac OS X 10.5.x）..... 88
注意点と制限事項について 88
印刷方法（Mac OS X 10.2.4 〜 Mac OS X 10.5.x）.....88
「ページ設定」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.4 〜 Mac OS X 10.5.x）.....90
「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.3.x 〜 Mac OS X 10.5.x）.....95
「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.x）..... 111

アプリケーションから印刷する（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x）

インストールガイドの「プリンタをインストールする（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x）」で説明している手順でPPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのMac OS Xのアプリケーションからそのまま印刷を行うことができます。

■ 注意点と制限事項について

- Mac OS X 10.2.xのプレビューアプリケーションを使ってPDFファイルを印刷した場合、ページ順序が正しく印刷されないことがあります。Adobe Readerを使ってPDFファイルを印刷してください。
- 印刷を実行する際のユーザ名、文書名に全角文字が含まれている場合、本機のタッチパネルの印刷ジョブに「OSX User」および「OSX Document」と表示されます。半角文字の場合には、実際のユーザ名、文書名が表示されます。
- プリンタ機能のカバーページメニューは、MacOS X 10.3以降で使用することができます。
- プリンタ機能のカバーページメニューとマガジンソートを同時に使用することはできません。
- プリンタ機能のカバーページメニューとNin1印刷を同時に使用することはできません。
- プリンタ機能のカバーページメニューと表紙機能を同時に使用することはできません。
- Mac OS X 10.5から、お試し印刷、プライベート印刷またはスケジュール印刷を行う場合は、LPR、AppleTalk、Bonjourを使用してください。
- ユーザ認証機能を使用するには、［アプリケーション］→［ユーティリティー］→［ディレクトリアクセス］でBSDフラットファイルおよびNISにドメインの設定を行ってください。

■ 印刷方法（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x）

すべてのプリンタはシステム環境設定のプリンタとファクスで管理されており、プリンタを印刷前に切り替える必要はありません。
プリンタリストにプリンタを追加すれば、「ページ設定」ダイアログボックスまたは「プリント」ダイアログボックスからすべてのプリンタを直接選択できます。

□ Macintoshコンピュータから印刷機能の設定や印刷を行う

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定し、印刷します。

注 意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては［ファイル］メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

アプリケーションから印刷する

1 文書を開き、アプリケーションの［ファイル］メニューをクリックして［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

2 ［対象プリンタ］ボックスから本機を選択し、印刷ジョブのページ設定を設定します。

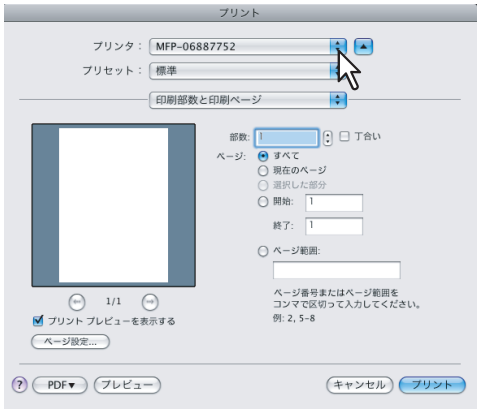


ページ設定は、どのように印刷するかによって異なります。
P.90 「ページ属性」

3 ［OK］をクリックし、設定を保存します。

4 ［ファイル］メニューをクリックして［プリント］を選択します。

5 ［プリンタ］ボックスから本機を選択し、印刷設定をセットアップします。



印刷設定は、どのように印刷するかによって異なります。

P.95 「「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.3.x ～ Mac OS X 10.5.x)」
P.111 「「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.x)」

注 意

「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なる場合があります。

6 ［プリント］をクリックし、印刷を実行します。

注 意

「プリント」ダイアログボックスで設定した内容を［プリセット］ボックスより［保存する］を選択し、名前を付けて保存することができます。印刷時にプリセットに保存した設定内容を初期値として使用する場合は、［プリセット］ボックスより使用するプリセットを選択します。

■「ページ設定」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.4 ～ Mac OS X 10.5.x）

ページ設定は、アプリケーションの［ファイル］メニューにある［ページ設定］を選択して表示します。「ページ設定」ダイアログボックスでは、ページ属性およびカスタム用紙サイズを操作します。

注 意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては［ファイル］メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

□ ページ属性



1) 対象プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。

2) 用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを選択します。

使用できる原稿サイズは、次のとおりです：

- A3
- A4
- A5
- B4（JIS）
- B5（JIS）
- Ledger
- リーガル
- レター
- Statement（5 1/2×8 1/2"）
- Folio
- Computer（10 1/8×14"）
- 13" LG（8 1/2×13"）
- 8.5" SQ（8 1/2×8 1/2"）
- はがき（100×148mm）
- 8K（270×390mm）
- 16K（195×270mm）

注 意

Mac OS X 10.2.xでは、［用紙サイズ］ボックスに［Ledger］の代わりに［Tabloid］が表示されますが、Ledger用紙に問題なく印刷できます。

3) 方向

給紙方向で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。

- **縦**：文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横（90度）**：文書を用紙に対して横方向に左から印刷します。
- **横（270度）**：文書を用紙に対して横方向に右から印刷します。Mac OS X 10.2.x ～ Mac OS X 10.4.xをお使いの場合のみ有効です。

4) 拡大縮小

印刷イメージを拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。1～10000（%）の範囲を1%単位で設定することができます。Mac OS X 10.2.4～Mac OS X 10.4.xをお使いの場合、拡大縮小の範囲は25～400（%）となります。

□ カスタム用紙サイズ

本機のPPDファイルは、カスタム用紙サイズをサポートしています。
カスタム用紙サイズを作成する手順は、Mac OS X 10.4.x ～ Mac OS X 10.5.xとMac OS X 10.2.8 ～ Mac OS X 10.3.xで異なります。

注 意

定型サイズより大きいサイズの用紙を設定した場合は、印刷するときに、用紙サイズを混在させずに1枚ずつ印刷してください。

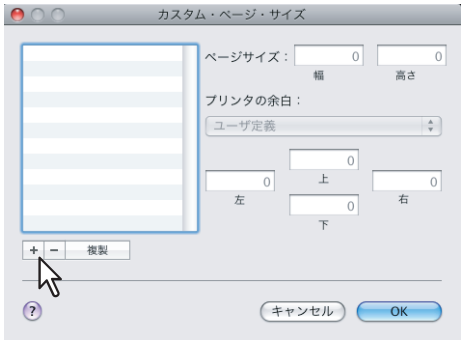
カスタム用紙サイズを作成する（Mac OS X 10.4.x ～ Mac OS X 10.5.x）

1 **［用紙サイズ］ボックスで［カスタムサイズを管理］を選択します。**



「カスタム・ページ・サイズ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **［+］をクリックします。**



新しいカスタム用紙サイズ名が一覧に追加されます。

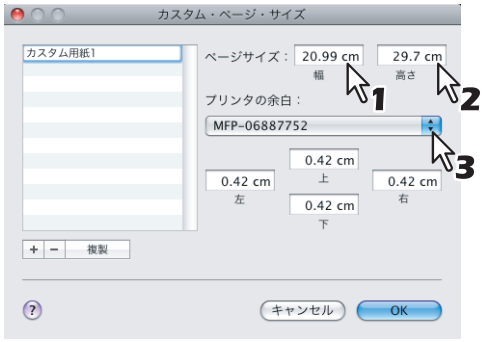
補 足

既存のカスタム用紙サイズの設定を複製して、新しいカスタム用紙サイズを作成する場合は、カスタム用紙サイズを選択し、［複製］をクリックします。

3 追加されたカスタム用紙サイズ名をダブルクリックし、カスタム用紙サイズ名を変更します。



4 [ページサイズ] ボックスに幅と高さを入力し、[プリンタの余白] ボックスで本機プリンタ名を選択します。



補 足

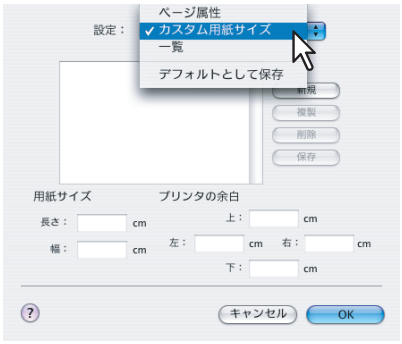
- 余白設定は、[プリンタの余白] ボックスで本機プリンタ名を選択したときに自動的に入力される値を使用してください。
- 作成したカスタム用紙サイズは、[−] をクリックすると削除することができます。

5 [OK] をクリックします。

カスタム用紙サイズの設定が保存され、[ページ属性] メニューの [用紙サイズ] ボックスで選択できるようになります。

カスタム用紙サイズを作成する（Mac OS X 10.2.8 ～ Mac OS X 10.3.x）

1 ［設定］ボックスで［カスタム用紙サイズ］を選択します。



「カスタム用紙サイズ」画面が表示されます。

2 ［新規］をクリックします。

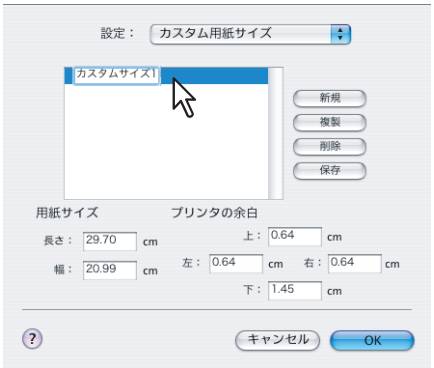


新しいカスタム用紙サイズ名が一覧に追加されます。

補 足

既存のカスタム用紙サイズの設定を複製して、新しいカスタム用紙サイズを作成する場合は、カスタム用紙サイズを選択し、［複製］をクリックします。

3 カスタム用紙サイズ名を入力します。



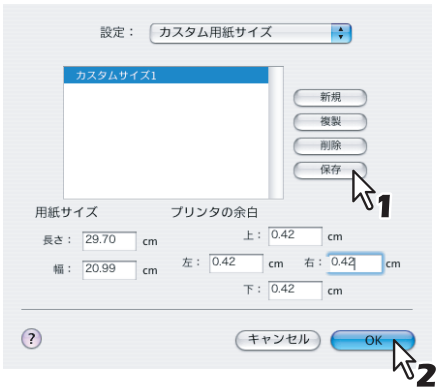
4 ［用紙サイズ］ボックスに長さと幅を入力し、［プリンタの余白］ボックスに余白を入力します。



補 足

- ［プリンタの余白］ボックスには「0.42（cm）」を入力してください。
- 作成したカスタム用紙サイズを削除するには、［削除］をクリックしてください。

5 ［保存］をクリックし［OK］をクリックします。



カスタム用紙サイズの設定が保存され、［ページ属性］メニューの［用紙サイズ］ボックスで選択できるようになります。

■「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.3.x ～ Mac OS X 10.5.x）

印刷設定は、アプリケーションの［ファイル］メニューにある［プリント］を選択して表示します。「プリント」ダイアログボックスでは、以下の設定を操作します。

補 足

「プリント」ダイアログボックスの設定は、Mac OS X 10.3. x ～ Mac OS X10.5.xとMac OS X 10.2.xでは異なります。Mac OS X 10.2.xの「プリント」ダイアログボックスの設定については、以下の説明を参照してください。

P.111 「「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.x）」

注 意

「プリント」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。

□ 印刷部数と印刷ページ

印刷部数と印刷ページメニューでは、印刷部数やソート印刷などの一般的な印刷機能を設定することができます。Microsoft Wordから印刷部数と印刷ページメニューを開いた例です。



1) プレビューウィンドウ
印刷する文書のプレビューが表示されます。

2) プリントプレビューを表示する
プレビュー機能を有効にする場合に、チェックボックスをオンにします。

3) ［ページ設定］
クリックすると「ページ設定」ダイアログボックスが表示されます。

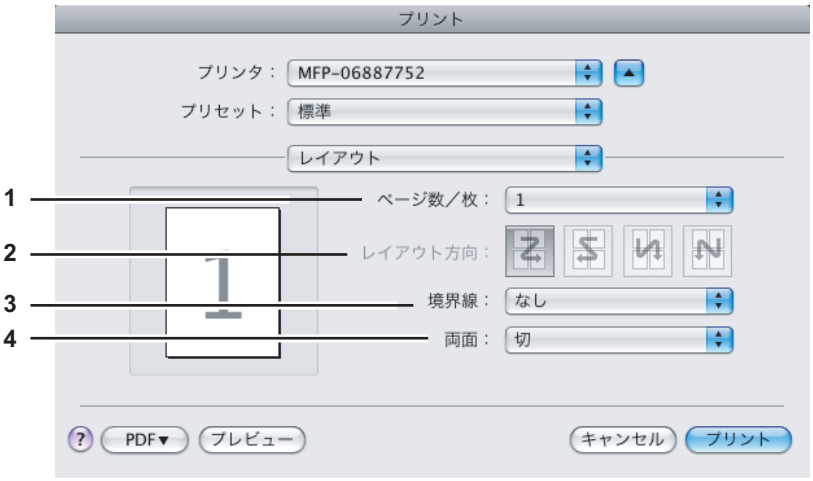
4) 部数
印刷する部数を設定します。

5) 丁合い
2部以上を印刷する場合に、部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

6) ページ
印刷するページを指定します。
- **すべて**：すべてのページを印刷します。
- **現在のページ**：現在選択しているページを印刷します。
- **選択した部分**：ページ上で選択したテキストやオブジェクトのみを印刷します。
- **開始／終了**：印刷するページを指定して印刷します。選択した場合は、印刷するはじめのページと終わりのページをそれぞれ入力します。
- **ページ範囲**：印刷するページをページ番号やページ範囲で指定して印刷します。選択した場合は、印刷対象のページ番号やページ範囲を入力します。

□ レイアウト

レイアウトメニューでは、Nin1印刷を設定することができます。



1) ページ数／枚

複数ページを１ページの用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- **1**：通常印刷します。
- **2**：2ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **4**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16**：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

2) レイアウト方向

ページをレイアウトする方向を設定します。［ページ／数］ボックスでNin1印刷を選択したときに設定することができます。

左上から右下へ（横方向優先）： ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。

右上から左下へ（横方向優先）： ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。

左上から右下へ（縦方向優先）： ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

右上から左下へ（縦方向優先）： ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

3) 境界線

各ページに枠線を付けてNin1印刷するかを選択します。

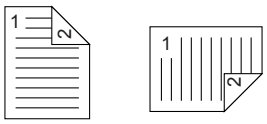
- **なし**：枠線を付けずにNin1印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてNin1印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてNin1印刷します。
- **極細2本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてNin1印刷します。
- **細2本線**：各ページに細い二重枠線を付けてNin1印刷します。

4) 両面

両面印刷を設定します。

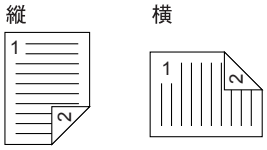
- **切**：両面印刷を無効にします。
- **長辺とじ**：用紙の長い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦　横



- **短辺とじ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦　横



□ 出力オプション

出力オプションメニューでは、印刷ジョブをファイルとして保存することができます。

注 意

出力オプションメニューは、Mac OS X 10.3.xでのみ表示されます。



1) ファイルとして保存

印刷ジョブをファイルとして保存する場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、［フォーマット］ボックスからファイル形式を選択します。

2) フォーマット

ファイルの保存形式を選択します。

- **PDF**：印刷ジョブをPDFファイルとして保存します。
- **PostScript**：印刷ジョブをPostScriptファイルとして保存します。

□ スケジューラ

スケジューラメニューでは、いつ印刷ジョブを本機に送信するかを設定することができます。



1) 書類をプリント

印刷ジョブを本機にいつ送信するかを設定します。

- **今すぐプリント**：印刷ジョブを今すぐ本機に送信します。
- **後でプリント**：印刷ジョブを指定した時間に本機に送信します。これを選択した場合は、印刷ジョブを送信する時間を指定します。印刷ジョブは指定した時間またはMac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。
- **保留**：印刷ジョブをMac OSのキューに保留します。これを選択した場合は、Mac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。

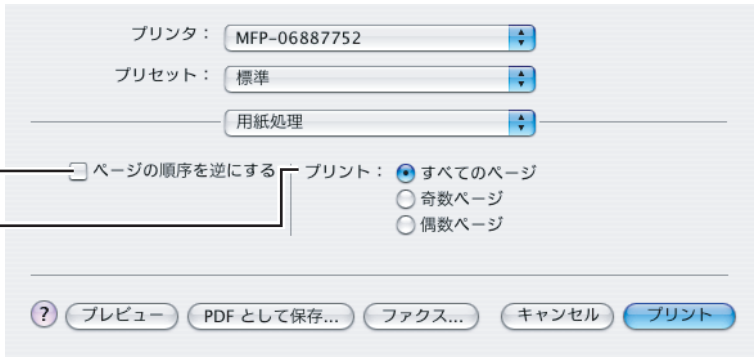
2) 優先順位

印刷ジョブの優先順位を選択します。

□ 用紙処理

用紙処理メニューでは、逆順印刷や奇数ページまたは偶数ページ印刷を設定することができます。用紙処理メニューに表示される設定は、お使いのMac OS Xのバージョンによって異なります。

Mac OS X 10.3.xの場合



1) ページの順序を逆にする

最後のページから順に印刷したい場合にチェックボックスをオンにします。

2) プリント

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

Mac OS X 10.4.xの場合



1) ページの順序

ページを印刷する順序を選択します。

2) プリント

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

3) 出力用紙サイズ

出力用紙サイズを選択します。

- **使用する出力用紙サイズ**：文書のサイズと同じサイズで出力する場合に選択します。
- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合に選択します。選択した場合は、ボックスで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、［縮小のみ］チェックボックスをオンにします。

Mac OS X 10.5.xの場合



1) プリントするページ

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

2) 出力用紙サイズ

出力用紙サイズを選択します。「ページ設定」ダイアログボックスで設定した用紙サイズが初期値として表示されます。

- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、ボックスで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、［縮小のみ］チェックボックスをオンにします。

3) ページの順序

ページを印刷する順序を選択します。

□ ColorSync

ColorSyncメニューは、カラー機専用の機能ですので本機では使用することはできません。

注 意

ColorSyncメニューはMac OS X 10.3.x ～ Mac OS X 10.4.xのみ表示されます。



□ カラーマッチング

カラーマッチングメニューは、カラー機専用の機能ですので本機では使用することはできません。

注 意

カラーマッチングメニューはMac OS X 10.5.xのみ表示されます。



□ 表紙

表紙メニューでは、印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかを設定します。バナーページには、jobID、Title、Requesting User、Billing Infoなどの情報が印刷されます。ジョブ名に、ひらがな、カタカナ、漢字を使用すると文字化けしますので、英数字を使用することを推奨します。



1) 表紙をプリント

バナーページを印刷するかを設定します。

- **なし**：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前**：文書の前にバナーページを挿入する場合にチェックボックスをオンにします。
- **書類の後**：文書の最後にバナーページを挿入する場合にチェックボックスをオンにします。

2) 表紙のタイプ

［表紙をプリント］で［書類の前］または［書類の後］を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。

3) 課金情報

バナーページに課金情報を印刷したい場合は、課金情報を入力します。

注 意

Mac OSの制限により、［課金情報］ボックスへ入力した内容はすべて表示されるわけではなく、フィールドの長さを超えた部分については表示されません。

□ エラー処理

エラー処理メニューでは、PostScriptエラーが発生したときにどのようにエラーを通知するかを設定します。

注 意

エラー処理メニューはMac OS X 10.3.x ～ Mac OS X 10.4.xのみ表示されます。



1) PostScriptエラー

PostScriptエラーレポートを印刷するかを設定します。

- **特にレポートは行わない**：PostScriptエラー情報を印刷しません。
- **詳細レポートをプリント**：PostScriptエラー情報を印刷します。

2) トレイの切り替え

この機能は、本機ではサポートしていません。

□ 給紙

給紙メニューでは、印刷に使用する給紙元や用紙タイプを選択できます。はじめのページと残りのページに異なった給紙元や用紙タイプを設定することもできます。



1) 全体

すべてのページに同じ給紙元または用紙タイプを使用する場合は、右のボックスで使用する給紙元や用紙タイプを選択します。[自動選択]、[自動カセット選択]を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ]、[厚紙2]、[厚紙3]、[OHPフィルム]、[薄紙]を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

2) 先頭ページのみ／残りのページ

先頭ページとそのほかのページに異なる給紙元を使用する場合は、［先頭ページのみ］および［残りのページ］ボックスで用紙の種類を選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。［手差しトレイ］、［厚紙2］、［厚紙3］、［OHPフィルム］、［薄紙］を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

□ ジョブタイプ

ジョブタイプメニューでは、本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。ジョブタイプにはプライベート印刷、お試し印刷、ホールド印刷などがあります。



1) ジョブタイプ

印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷**：通常の印刷を行います。
- **お試し印刷**：複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルコピーを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから 残り部数の印刷を実行します。間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、目的に合った印刷結果を効率よく得ることができます。
  タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.142 「お試し印刷ジョブ」
- **プライベート印刷**：ジョブをプライベート印刷として処理します。これを選択した場合は、右横のボックスに5桁のパスワード（文書パスワード）を指定します。送信した印刷ジョブは、本機のプライベートジョブ一覧に保存され、タッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。この機能は、他人に見られたくない機密文書を印刷するときに有効な機能です。
  タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.145 「プライベート印刷ジョブ」
- **ホールド印刷**：ジョブをホールド印刷として処理します。送信した印刷ジョブは、本機のホールドジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、［印刷］を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
  タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.149 「ホールド印刷ジョブ」

2) 部門コード

印刷を実行するのに部門コードを必要とするかを選択します。この機能を有効にした場合は、右横のボックスに5桁の部門コードを指定します。本機が部門コードで管理されている場合に、この機能を有効にします。使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

補 足

TopAccess管理者設定の部門管理強制の設定により、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、［部門コードなし印刷ジョブ］リストに表示されます。部門管理強制が［印刷］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。部門管理強制が［削除］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは印刷せずに削除されます。

3) 白紙は印字しない

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。

注 意

- レイアウトメニューの［ページ数／枚］で2以上が選択されている場合は、白紙ページは印刷されます。
- ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、ヘッダやフッタが含まれているため内容がないページも印刷されます。

4) 細線をはっきりと印刷する

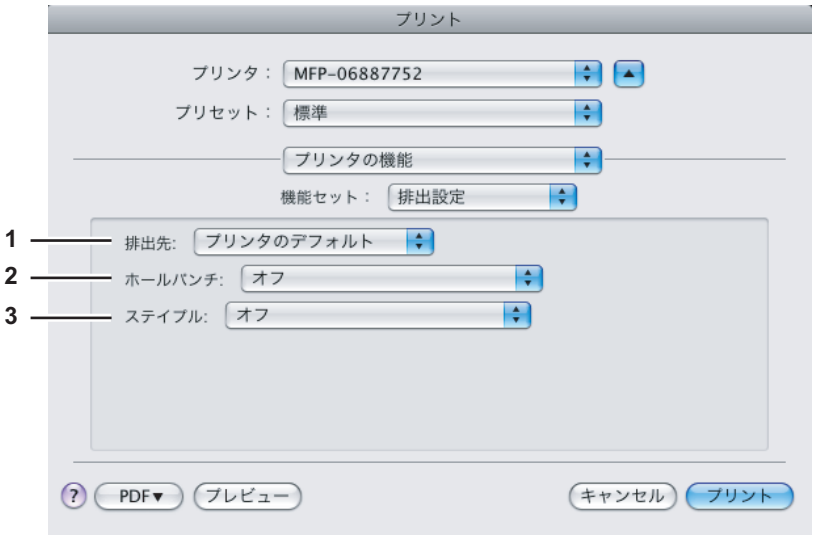
細線をはっきりと印刷するかを選択します。

□ プリンタの機能

プリンタの機能メニューでは、本機が提供する特殊な印刷機能を設定します。

排出設定

排出設定メニューでは、排紙先、ステイプル処理、ホールパンチ処理を設定できます。



1) 排出先

排紙先を選択します。

- **プリンタのデフォルト**：本機のデフォルト排紙トレイ（TopAccessのプリンタ設定ページにある［Raw印刷ジョブ_排紙トレイ］に設定された排紙先）に排紙します。
- **排紙トレイ**：本体の排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャ（オプション）の上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャ（オプション）の下段排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイ（オプション）の上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイ（オプション）の下段排紙トレイに排紙します。

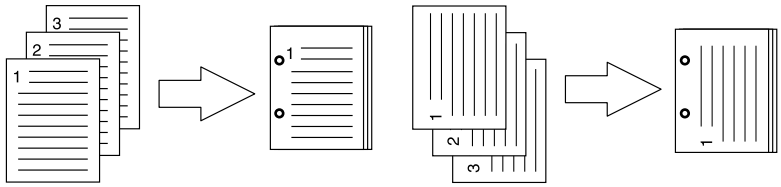
注 意

- フィニッシャ（オプション）の種類によって、指定した排出先でステイプルやホールパンチがされない場合があります。
- 出力先に［プリンタのデフォルト］を選んだ場合、本機の設定により、ステイプルやホールパンチのされないトレイに排出されることがあります。
- e-STUDIO355/455をお使いの場合、［トレイ1］および［トレイ2］は、フィニッシャ（オプション）またはサドルステッチフィニッシャ MJ-1024（オプション）装着時のみ有効です。ハンギングフィニッシャ（オプション）装着時は、［トレイ1］のみ有効です。
- e-STUDIO255 をお使いの場合、ハンギングフィニッシャ（オプション）またはサドルステッチフィニッシャ MJ-1025装着時は、［トレイ1］のみ有効です。
- インナートレイが装着されている場合は、［排紙トレイ］の代わりに［インナー上トレイ］および［インナー下トレイ］が選択できます。

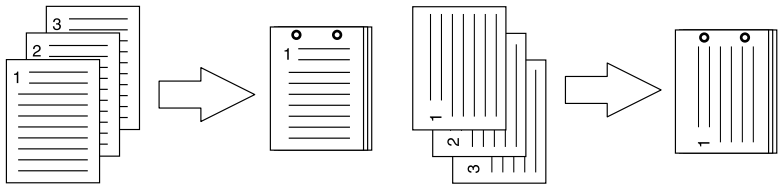
2) ホールパンチユニット

印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。

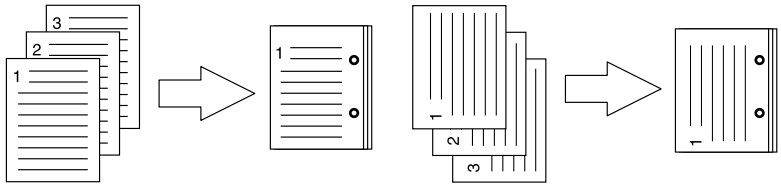
- **オフ**：ホールパンチ処理をしません。
- **長尺側へ穴開け**：縦型文書の左側にホールパンチ処理をします。または、横型文書の上部にホールパンチ処理をします。



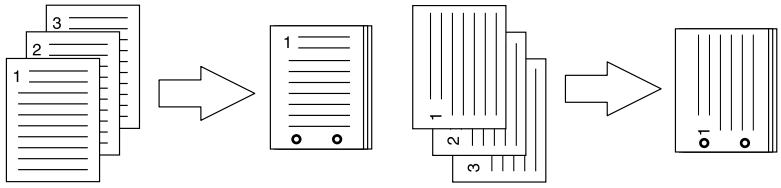
- **短尺側へ穴開け**：縦型文書の上部にホールパンチ処理をします。または、横型文書の右側にホールパンチ処理をします。



- **長尺側へ穴開け（画像180回転）**：縦型文書の右側にホールパンチ処理をします。または、横型文書の下部にホールパンチ処理をします。



- **短尺側へ穴開け（画像180回転）**：縦型文書の下部にホールパンチ処理をします。または、横型文書の左側にホールパンチ処理をします。



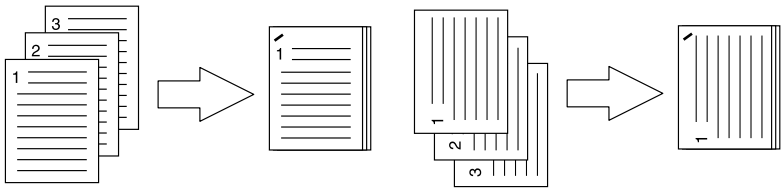
注 意

ホールパンチ印刷は、ホールパンチユニット（オプション）装着時のみ有効です。

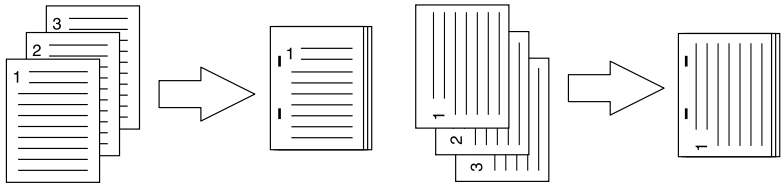
3) ステイプル

印刷文書を1部ごとにステイプル留めして出力するかを設定します。

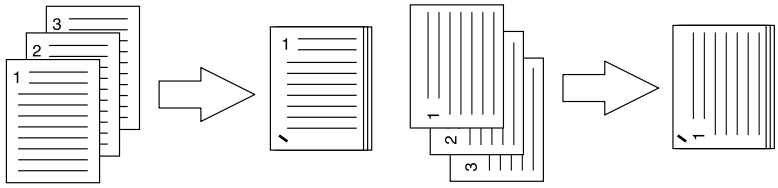
- **オフ**：ステイプル留めをしません。
- **左上側（縦置き）／右上側（横置き）**：縦型文書の左上部をステイプル留めします。または、横型文書の右上部をステイプル留めします。



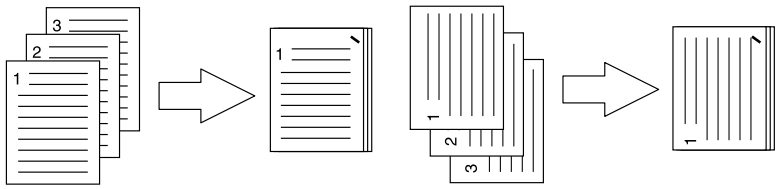
- **左側（縦置き）／上側（横置き）**：縦型文書の左側を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の上部を2か所ステイプル留めします。



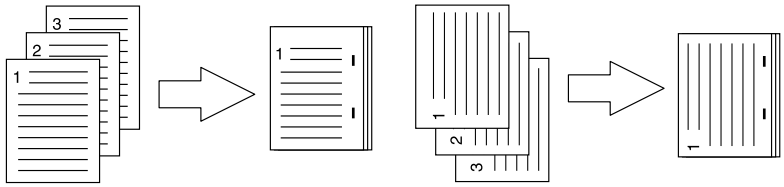
- **左下側（縦置き）／左上側（横置き）**：縦型文書の左下部をステイプル留めします。または、横型文書の左上部をステイプル留めします。



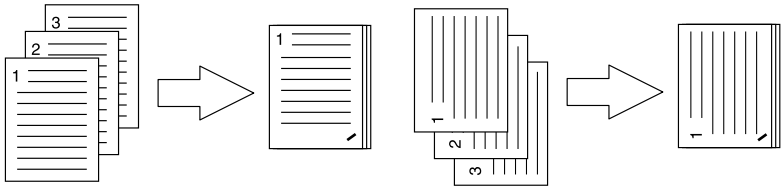
- **右上側（縦置き）／右下側（横置き）**：縦型文書の右上部をステイプル留めします。または、横型文書の右下部をステイプル留めします。



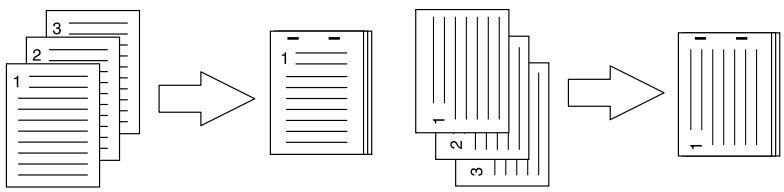
- **右側（縦置き）／下側（横置き）**：縦型文書の右側を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の下部を2か所ステイプル留めします。



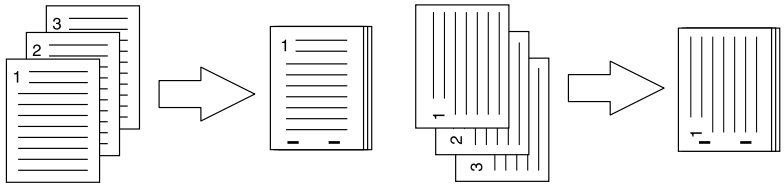
- **右下側（縦置き）／左下側（横置き）**：縦型文書の右下部をステイプル留めします。または、横型文書の左下部をステイプル留めします。



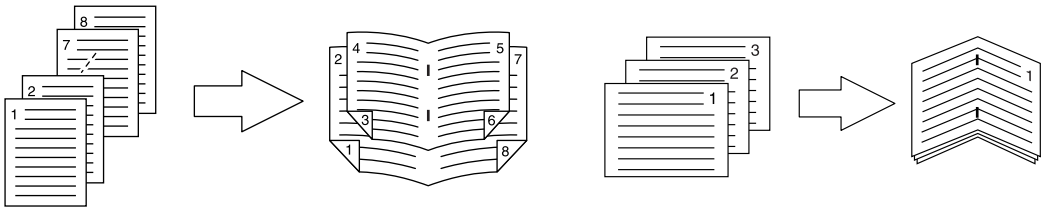
- **上側（縦置き）／右側（横置き）**：縦型文書の上部を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の右側を2か所ステイプル留めします。



- **下側（縦置き）／左側（横置き）**：縦型文書の下部を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の左側を2か所ステイプル留めします。



- **中央（縦置き）／中央（横置き）**：マガジンソート印刷を行う際に、用紙の中央を2か所ステイプル留めします。この機能は、マガジンソート印刷を実行するときにのみ選択してください。



注 意

- ステイプル印刷は、フィニッシャ（オプション）装着時のみ有効です。
- ハンギングフィニッシャ（オプション）装着時は、[左上側（縦置き）/右上側（横置き）] および [右上側（縦置き）／右下側（横置き）] のみ選択できます。
- [中央（縦置き）／中央（横置き）] は、サドルステッチフィニッシャ（オプション）装着時にのみ有効です。

マガジンソート

マガジンソートメニューでは、マガジンソート印刷を設定できます。



1) マガジンソート用紙サイズ
マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷されます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。

2) 左開き
左から右に読むように印刷を行う場合にチェックボックスをオンにします。

3) マガジンソート中央余白（0〜36 points）
見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。（1 point = 0.353 mm）

4) マガジンソート外側余白（0〜72 points）
ページの上下左右の余白を選択します。（1 point = 0.353 mm）

カバーページ

カバーページメニューでは、カバーページ機能を設定できます。



1) 表紙挿入

表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。表紙印刷を設定する場合は、［表紙挿入］のチェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

給紙方法

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定によって異なります。

出力形式

表紙の印刷方法を選択します。

- 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

2) 裏表紙挿入

裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、［裏表紙挿入］のチェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

給紙方法

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定によって異なります。

出力形式

裏表紙の印刷方法を選択します。

- 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

補 足

両面印刷を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

印刷品質

印刷品質メニューでは、イメージ品質に関する機能を設定できます。



1) ハーフトーン

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムース**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

2) スムージング

文字やグラフィックスをなめらかに印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

3) トナー節約

トナーを節約して印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

□ 一覧

一覧メニューでは、現在の印刷設定を確認できます。



■「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.2.x）

印刷設定は、アプリケーションの［ファイル］メニューにある［プリント］を選択して表示します。「プリント」ダイアログボックスでは、以下の設定を操作します。

補 足

「プリント」ダイアログボックスの設定は、Mac OS X 10.2.xとMac OS X 10.3. x ～ Mac OS X 10.5.xでは異なります。Mac OS X 10.3. x ～ Mac OS X 10.5.xの「プリント」ダイアログボックスの設定については、以下の説明を参照してください。

📖 P.95 「「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.3.x ～ Mac OS X 10.5.x）」

注 意

「プリント」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。

□ 印刷部数と印刷ページ

印刷部数と印刷ページメニューでは、印刷部数やソート印刷などの一般的な印刷機能を設定できます。



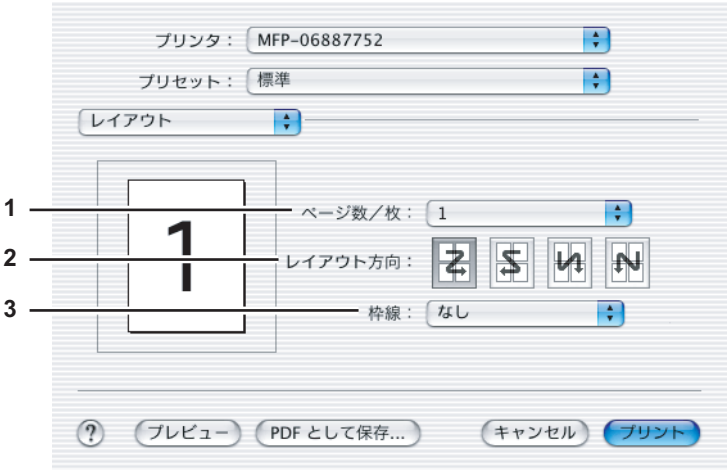
1) 部数
印刷する部数を設定します。

2) 丁合い
2部以上を印刷する場合に、部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

3) ページ
印刷するページを指定します。
- **すべて**：すべてのページを印刷します。
- **開始／終了**：印刷するページを指定して印刷します。選択した場合は、印刷するはじめのページと終わりのページをそれぞれ入力します。

□ レイアウト

レイアウトメニューでは、Nin1印刷を設定できます。



1) ページ数／枚

複数ページを１ページの用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- **1**：通常印刷します。
- **2**：2ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **4**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16**：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

2) レイアウト方向

ページをレイアウトする方向を設定します。［ページ／数］ボックスでNin1印刷を選択すると設定できます。

左上から右下へ（横方向優先）： ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。

右上から左下へ（横方向優先）： ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。

左上から右下へ（縦方向優先）： ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

右上から左下へ（縦方向優先）： ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

3) 枠線

各ページに枠線を付けてNin1印刷するかを選択します。

- **なし**：枠線を付けずにNin1印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてNin1印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてNin1印刷します。
- **極細2本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてNin1印刷します。
- **細2本線**：各ページに細い二重枠線を付けてNin1印刷します。

□ 両面印刷

両面印刷メニューでは、両面印刷を設定できます。



1) 両面にプリントする

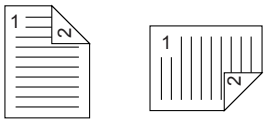
両面印刷をします。チェックボックスをオンにした場合は、［製本］で用紙のとじ向きを選択します。

2) 製本

両面印刷した用紙の綴じ方を設定します。

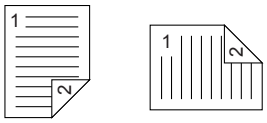
- **長手とじ**：用紙の長い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦　横



- **短手とじ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦　横



□ 出力オプション

出力オプションメニューでは、印刷ジョブをファイルとして保存できます。



1) ファイルとして保存

印刷ジョブをファイルとして保存する場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、［フォーマット］ボックスからファイル形式を選択します。

2) フォーマット

ファイルの保存形式を選択します。

- **PDF**：印刷ジョブをPDFファイルとして保存します。
- **PostScript**：印刷ジョブをPostScriptファイルとして保存します。

□ エラー処理

エラー処理メニューでは、PostScriptエラーが発生したときにどのようにエラーを通知するかを設定します。



1) PostScriptエラー

PostScriptエラーレポートを印刷するかを設定します。

- **特にレポートは行わない**：PostScriptエラー情報を印刷しません。
- **詳細レポートをプリント**：PostScriptエラー情報を印刷します。

2) トレイの切り替え

この機能は、本機ではサポートしていません。

□ 給紙

給紙メニューでは、印刷に使用する給紙元を選択します。はじめのページと残りのページに異なった給紙元や用紙タイプを設定することもできます。



1) 全体

すべてのページに同じ給紙元または用紙タイプを使用する場合は、右のボックスで使用する給紙元や用紙タイプを選択します。[自動選択]、[自動カセット選択]を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ]、[厚紙2]、[厚紙3]、[OHPフィルム]、[薄紙]を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

2) 先頭ページのみ／残りのページ

先頭ページとそのほかのページに異なる給紙元を使用する場合は、[先頭ページのみ]および[残りのページ]ボックスで用紙の種類を選択します。[自動カセット選択]を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。[手差しトレイ]、[厚紙2]、[厚紙3]、[OHPフィルム]、[薄紙]を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

□ プリンタの機能

プリンタの機能メニューでは、本機が提供する特殊な印刷機能を設定できます。

P.115 「マガジンソート」
P.116 「印刷品質」
P.116 「排出設定」
P.120 「印刷種別」
P.121 「部門コード」
P.122 「プライベート印刷パスワード」

注 意

カバーページメニューは使用しないでください。

マガジンソート

マガジンソートメニューでは、マガジンソート印刷を設定できます。



1) マガジンソート用紙サイズ
マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷されます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。

2) 左開き
左から右に読むように印刷を行う場合にチェックボックスをオンにします。

3) マガジンソート中央余白（0〜36 points）
見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。（1 point = 0.353 mm）

4) マガジンソート外側余白（0〜72 points）
ページの上下左右の余白を選択します。（1 point = 0.353 mm）

印刷品質

印刷品質メニューでは、イメージ品質に関する機能を設定できます。



1) ハーフトーン

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムース**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

2) スムージング

文字やグラフィックスをなめらかに印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

3) トナー節約

トナーを節約して印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

排出設定

排出設定メニューでは、排紙先、ステイプル処理、ホールパンチ処理を設定できます。



1) 排出先

排紙先を選択します。

- **プリンタのデフォルト**：本機のデフォルト排紙トレイ（TopAccessのプリンタ設定ページにある［Raw印刷ジョブ_排紙トレイ］に設定された排紙先）に排紙します。
- **排紙トレイ**：本体の排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャ（オプション）の上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャ（オプション）の下段排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイ（オプション）の上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイ（オプション）の下段排紙トレイに排紙します。

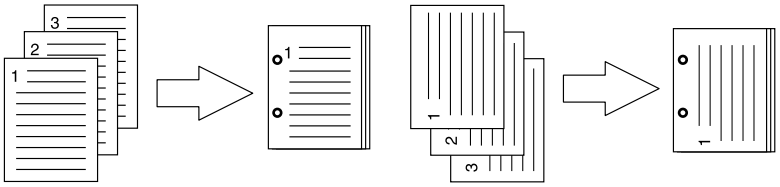
注 意

- フィニッシャ（オプション）の種類によって、指定した排出先でステイプルやホールパンチがされない場合があります。
- 出力先に［プリンタのデフォルト］を選んだ場合、本機の設定により、ステイプルやホールパンチのされないトレイに排出されることがあります。
- e-STUDIO355/455をお使いの場合、［トレイ1］および［トレイ2］は、フィニッシャ（オプション）またはサドルステッチフィニッシャ MJ-1024（オプション）装着時のみ有効です。ハンギングフィニッシャ（オプション）装着時は、［トレイ1］のみ有効です。
- e-STUDIO255 をお使いの場合、ハンギングフィニッシャ（オプション）またはサドルステッチフィニッシャ MJ-1025装着時は、［トレイ1］のみ有効です。
- インナートレイが装着されている場合は、［排紙トレイ］の代わりに［インナー上トレイ］および［インナー下トレイ］が選択できます。

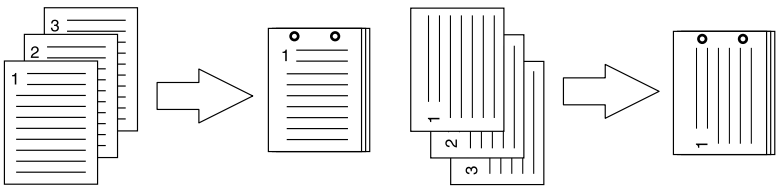
2) ホールパンチ

印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。

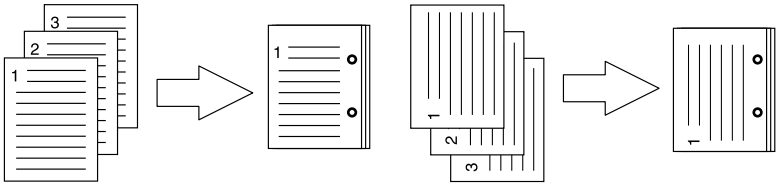
- **オフ**：ホールパンチ処理をしません。
- **長尺側へ穴開け**：縦型文書の左側にホールパンチ処理をします。または、横型文書の上部にホールパンチ処理をします。



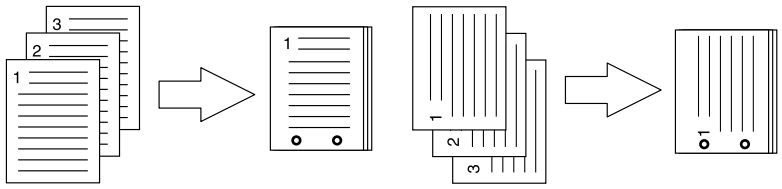
- **短尺側へ穴開け**：縦型文書の上部にホールパンチ処理をします。または、横型文書の右側にホールパンチ処理をします。



- **長尺側へ穴開け（画像180回転）**：縦型文書の右側にホールパンチ処理をします。または、横型文書の下部にホールパンチ処理をします。



- **短尺側へ穴開け（画像180回転）**：縦型文書の下部にホールパンチ処理をします。または、横型文書の左側にホールパンチ処理をします。



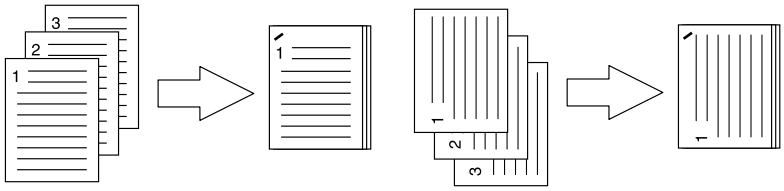
注 意

ホールパンチ印刷は、ホールパンチユニット（オプション）装着時のみ有効です。

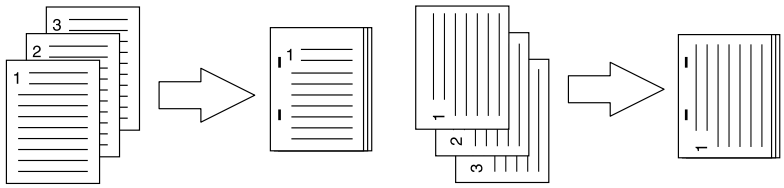
3) ステイプル

印刷文書を1部ごとにステイプル留めして出力するかを設定します。

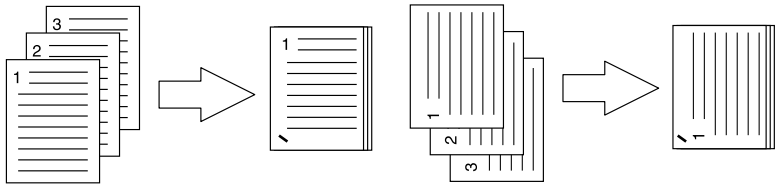
- **オフ**：ステイプル留めをしません。
- **左上側（縦置き）／右上側（横置き）**：縦型文書の左上部をステイプル留めします。または、横型文書の右上部をステイプル留めします。



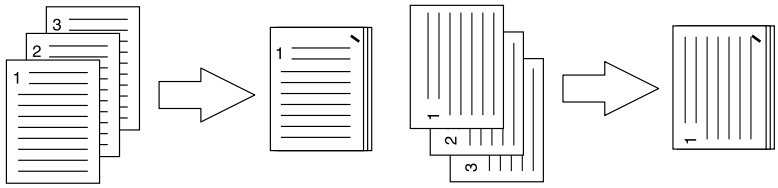
- **左側（縦置き）／上側（横置き）**：縦型文書の左側を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の上部を2か所ステイプル留めします。



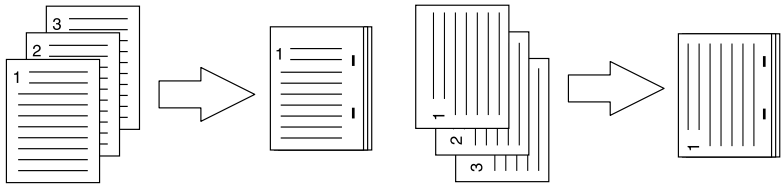
- **左下側（縦置き）／左上側（横置き）**：縦型文書の左下部をステイプル留めします。または、横型文書の左上部をステイプル留めします。



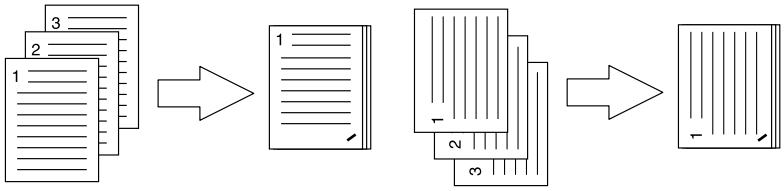
- **右上側（縦置き）／右下側（横置き）**：縦型文書の右上部をステイプル留めします。または、横型文書の右下部をステイプル留めします。



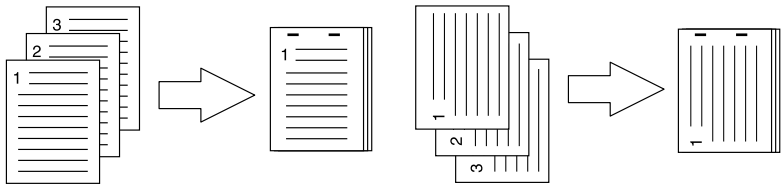
- **右側（縦置き）／下側（横置き）**：縦型文書の右側を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の下部を2か所ステイプル留めします。



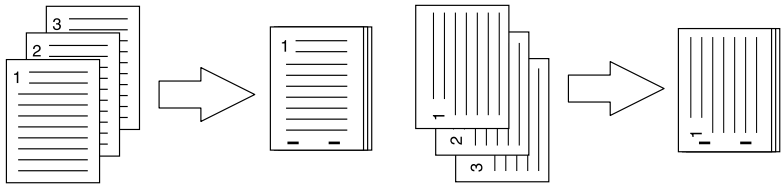
- **右下側（縦置き）／左下側（横置き）**：縦型文書の右下部をステイプル留めします。または、横型文書の左下部をステイプル留めします。



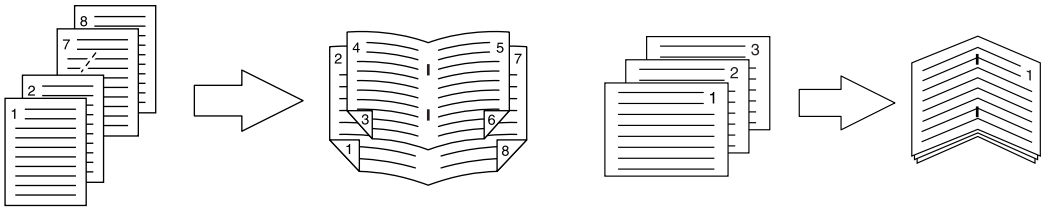
- **上側（縦置き）／右側（横置き）**：縦型文書の上部を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の右側を2か所ステイプル留めします。



- **下側（縦置き）／左側（横置き）**：縦型文書の下部を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の左側を2か所ステイプル留めします。



- **中央（縦置き）／中央（横置き）**：マガジンソート印刷を行う際に、用紙の中央を2か所ステイプル留めします。この機能は、マガジンソート印刷を実行するときにのみ選択してください。

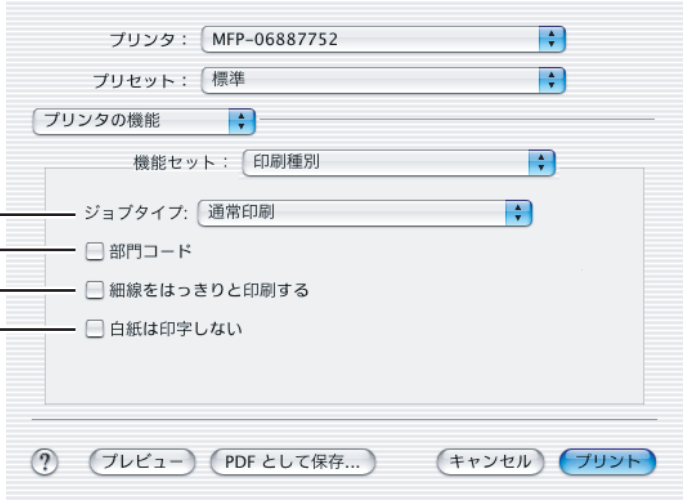


注 意

- ステイプル印刷は、フィニッシャ（オプション）装着時のみ有効です。
- ハンギングフィニッシャ（オプション）装着時は、[左上側（縦置き）/右上側（横置き）] および [右上側（縦置き）／右下側（横置き）] のみ選択できます。
- [中央（縦置き）／中央（横置き）] は、サドルステッチフィニッシャ（オプション）装着時にのみ有効です。

印刷種別

印刷種別メニューでは、本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。ジョブタイプにはプライベート印刷、お試し印刷、ホールド印刷などがあります。



1) ジョブタイプ

印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷**：通常の印刷を行います。
- **ホールド印刷**：ジョブをホールド印刷として処理します。送信した印刷ジョブは、本機のホールドジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、［印刷］を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
  タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.149 「ホールド印刷ジョブ」
- **お試し印刷**：複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルコピーを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから 残り部数の印刷を実行します。間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、目的に合った印刷結果を効率よく得ることができます。
  タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.142 「お試し印刷ジョブ」
- **プライベート印刷－パスワード**：ジョブをプライベート印刷として処理します。これを選択した場合は、プライベート印刷パスワードメニューで5桁のパスワード（文書パスワード）を指定します。送信した印刷ジョブは、本機のプライベートジョブ一覧に保存され、タッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。この機能は、他人に見られたくない機密文書を印刷するときに有効な機能です。
  プライベート印刷パスワードメニューの詳細は、以下を参照してください。
  P.122 「プライベート印刷パスワード」
  タッチパネルでの操作方法についての詳細は、以下を参照してください。
  P.145 「プライベート印刷ジョブ」

2) 部門コード

印刷を実行するのに部門コードを必要とする場合にチェックボックスをオンにします。この機能を有効にした場合は、部門コードメニューで5桁の部門コードを指定します。本機が部門コードで管理されている場合に、この機能を有効にします。使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。
P.121 「部門コード」

3) 細線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

4) 白紙は印字しない

白紙ページを印刷しない場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

- レイアウトメニューの［ページ数／枚］で2以上が選択されている場合は、白紙ページは印刷されます。
- ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、ヘッダやフッタが含まれているため内容がないページも印刷されます。

部門コード

部門コードメニューでは、部門コードを設定します。本機で部門コードが有効に設定されている場合は、部門コードを設定します。部門コードを設定する前に、［印刷種別］メニューの［部門コード］チェックボックスがオンにされているかをご確認ください。



補 足

TopAccess管理者設定の部門管理強制の設定により、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、［部門コードなし印刷ジョブ］リストに表示されます。部門管理強制が［印刷］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。部門管理強制が［削除］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは印刷せずに削除されます。

1) 部門コード（1文字目）
部門コードの1桁目を選択します。

2) 部門コード（2文字目）
部門コードの2桁目を選択します。

3) 部門コード（3文字目）
部門コードの3桁目を選択します。

4) 部門コード（4文字目）
部門コードの4桁目を選択します。

5) 部門コード（5文字目）
部門コードの5桁目を選択します。

プライベート印刷パスワード

プライベート印刷パスワードメニューでは、プライベートジョブを実行するためのパスワード（文書パスワード）を設定します。プライベートジョブを印刷する場合は、文書保護のためにもパスワードを設定することをお勧めします。パスワードを指定しない場合は、初期値のパスワード「00000」が使用されます。



1) パスワード（1文字目）
パスワードの1桁目を選択します。

2) パスワード（2文字目）
パスワードの2桁目を選択します。

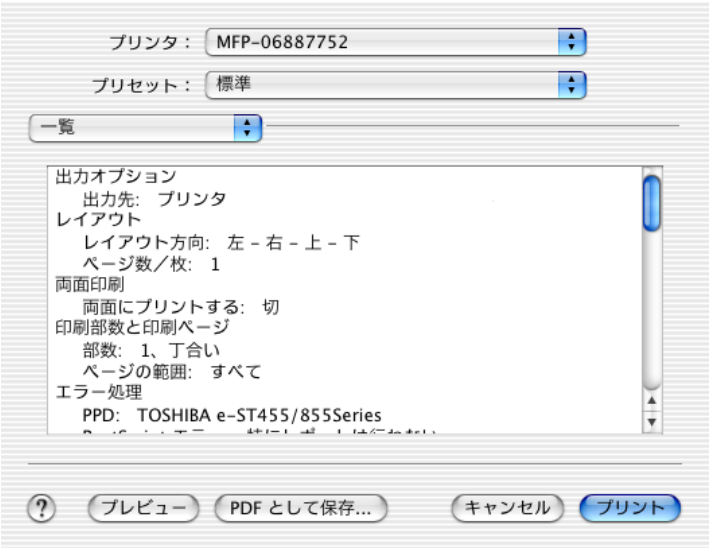
3) パスワード（3文字目）
パスワードの3桁目を選択します。

4) パスワード（4文字目）
パスワードの4桁目を選択します。

5) パスワード（5文字目）
パスワードの5桁目を選択します。

□ 一覧

一覧メニューでは、現在の印刷設定を確認できます。



4

UNIX/Linux環境から印刷する

UNIX/Linux環境からの印刷方法について説明します。

アプリケーションから印刷する 124
注意点と確認事項について 124
LPコマンドを使用して印刷する 125
一般的なlpおよびlptapオプション 125
一般的なオプション 126
PCL5e固有オプション 134

アプリケーションから印刷する

ここでは、UNIX/Linuxワークステーションから 印刷を行う方法を説明します。

注 意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、UNIX/Linux ワークステーションから送信された印刷ジョブは、無効ジョブとして部門コード強制の設定に従って処理されます。
- UNIX/Linuxワークステーションから印刷を実行する前に、すべてのUNIX/Linuxフィルタがワークステーションにインストールされているかを確認してください。UNIX/Linuxフィルタの設定については、**インストールガイド**の「プリンタドライバのインストール（UNIX/Linux）」を参照してください。

補 足

CUPSのインストールおよび設定については**インストールガイド**を参照してください。

■ 注意点と確認事項について

- 本機はUNIX/Linux用のフィルタ印刷のみサポートしています。ドライバのサポートはしておりません。印刷ページのサイズや順序を変更することはできません。
- UNIX/Linux用フィルタでは、以下の機能はサポートされておりません。
  - 変倍印刷
  - 縦横交互
  - Nin1印刷
  - ウォーターマーク
  - 表紙・裏表紙挿入
  - シート挿入
  - 予約印刷
  - オーバーレイで保存
  - 本体に保存
  - オーバーレイファイルを使用
- Linuxではlpコマンドはサポートされておりませんので、代わりにlptapコマンドを使って ファイルを本機へ送信して印刷を行ってください。
- AIXでは、qdaemonを使った印刷をサポートしています。qdaemonを使用して印刷するには、lp、lprまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。また、UNIX/Linuxフィルタを利用して印刷する場合は、lpコマンドまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。

■ LPコマンドを使用して印刷する

lpコマンド（Linuxではlptapコマンド）を使ってファイルを本機へ送信し印刷します。lpコマンドでは、-oオプションを使って本機特有の機能を指定することができます。また、さまざまなパラメータを利用して印刷機能を設定することもできます。印刷出力に使用できるさまざまな機能やパラメータを確認するには、［man net_estbw］コマンドを実行し、オンラインドキュメントを表示してください。すべての設定は印刷ジョブの先頭に付加されて本機へ送信されるため、送信したファイル自体に印刷機能の設定が含まれている場合は、lpコマンドで指定した印刷機能を上書きして印刷することがあります。

■ 一般的なlpおよびlptapオプション

□ ファイルの印刷方法

プリンタを指定してファイルを印刷するlpコマンドは以下となります。
"lp -d <queuename> <filename>"

□ 印刷部数

印刷ジョブの印刷部数は、lpコマンドを使って［-n <value>］パラメータで指定します。初期値は、lpコマンドにより決定され、常に［1］となります。印刷は常にページ順をそろえて出力されます。

□ タイトル

バナーページに印刷されるタイトルは、lpコマンドを使って［-t <title>］パラメータで指定することができます。タイトルを指定しない場合は、印刷ファイルの名称がバナーページのタイトルになります。同じlpコマンドを使って複数のファイルを印刷する場合、初期設定のタイトルがlpコマンドによって最初のファイルの名称に設定されます。

■ 一般的なオプション

下記オプションが、すべての東芝e-STUDIO455 Series印刷ファイルに適用されます。

注 意

- オプションコマンドは大文字・小文字の区別がありますので、以下の説明のとおりに正しく入力してください。
- 本機の仕様が優先されるため、オプションコマンドの組み合わせによっては無効となる場合があります。

□ 印刷言語

[net_estbw] プログラムは、印刷する各ファイルにどのプリンタ言語が使用されているかを把握する必要があります。この情報に従って、正しいコマンドを実行することができます。印刷言語の有効なオプションは、次のとおりです。

オプション値	代替値	説明
auto		印刷する各ファイルが [%!] シーケンスで始まっているかを確認します。始まっている場合は、PostScriptファイルと判断します。そうでない場合は、プレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルと判断します。
pcl		印刷ファイルを常にプレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルとして扱います。
postscript	ps	ファイルを常にPostScriptファイルとして扱います。
raw		ファイルを必要なすべてのコマンドを含んだ完全にフォーマットされたファイルとして扱います。ファイルに何らかの変更を加えることなく本機へ送信します。このモードでは、ほかのオプションは無効であり、またバナーページも印刷されません。

すべてのPCL5eジョブは、LFキャラクタを［復帰］シーケンスに変換する［<esc>&k2G］コマンドを自動で送信します。PCL5eジョブにジョブ自身のエスケープシーケンスが含まれていると、上記設定が上書きされてしまう場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（auto）が使用されます。
[例] ファイルをPostScriptとして指定するコマンド：lp -d <queuename> -o ps <filename>

□ ステイプル

部ごとに用紙をステイプル留めして排紙するかを設定します。
フィニッシャ（オプション）が装着されている場合、下記オプションを使用してステイプル位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
staple=0		ステイプル機能を無効にします。
staple=1		縦型ページの左上部をステイプル処理します。横型ページの場合は、右上部をステイプル処理します。
staple=2		縦型ページの左側を2か所ステイプル処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの上部を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=3		縦型ページの左下部をステイプル処理します。横型ページの場合は、左上部をステイプル処理します。
staple=4		縦型ページの右上部をステイプル処理します。横型ページの場合は、右下部をステイプル処理します。
staple=5		縦型ページの右側を2か所ステイプル処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの下部を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。
staple=6		縦型ページの右下部をステイプル処理します。横型ページの場合は、左下部をステイプル処理します。
staple=7		縦型ページの上側を2か所ステイプル処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の右側を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=8		縦型ページの下側を2か所ステイプル処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の左側を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。
staple=9		横型ページの中央を2か所ステイプル処理（サドルステッチ処理）し、中折りとじを出力します。このコマンドはブックレット印刷に関連するものであり、長手方向に給紙されるページには適用されません。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（staple=0）が使用されます。
［例］長手方向に給紙された縦型ページの左上部にステイプルするときのコマンド：
lp -d <queuename> -o staple=1 <filename>
ステイプル位置の値は、用紙サイズ、給紙方向や印刷の向きにより決定されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては、**クイックスタートガイド**を参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

□ 出力トレイ

下記オプションを使用して出力トレイを指定できます。

オプション値	代替値	説明
inner		本体の排紙トレイを選択します（フィニッシャ（オプション）未装着時）。
bin1		フィニッシャ（オプション）の上段排紙トレイを選択します。
bin2		フィニッシャ（オプション）の下段排紙トレイを選択します。
jsp1		インナートレイ（オプション）の上段排紙トレイを選択します。
jsp2		インナートレイ（オプション）の下段排紙トレイを選択します。

本機にフィニッシャ（オプション）が装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（inner）が使用されます。
［例］フィニッシャ（オプション）の上段排紙トレイ（bin 1）を指定するコマンド：lp -d <queuename> -o bin1 <filename>

□ ホールパンチ

印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。
ホールパンチユニット（オプション）が装着されている場合、下記オプションを使用してホールパンチ処理を行うことができます。

オプション値	代替値	説明
punch=0	nopunch	ホールパンチ機能を無効にします。
punch=1		長手ホールパンチ（回転なし）
punch=2		短手ホールパンチ（回転なし）
punch=3		長手ホールパンチ（180度回転）
punch=4		短手ホールパンチ（180度回転）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（nopunch）が使用されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては、**クイックスタートガイド**を参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。
［例］長手方向に給紙した縦型ページにホールパンチ処理するコマンド：
lp -d <queuename> -o punch=1 <filename>

□ 用紙タイプ

下記オプションを使用して、用紙タイプを指定することにより給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
mtype=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
mtype=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
mtype=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

PostScriptでは［メディア選択の据え置き］が常時有効なため、用紙サイズが用紙タイプや給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常に用紙タイプや給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（mtype=Plain）が使用されます。
［例］普通紙を指定するコマンド：lp -d <queuename> -o mtype=Plain <filename>

□ 給紙元

下記オプションを使用して用紙の給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
auto-source		自動で給紙元を指定します。
manual		手差しトレイを指定します。
drawer1	upper cas1	1段目カセットを指定します。
drawer2	lower cas2	2段目カセットを指定します。
drawer3	pedupper cas3	3段目カセット（オプション）を指定します。
drawer4	pedlower cas4	4段目カセット（オプション）を指定します。
lcf	tandem	大容量給紙装置（オプション）を指定します。

PostScriptでは［メディア選択の据え置き］が常時有効なため、用紙サイズが給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常に給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（auto-source）が使用されます。

［例］大容量給紙装置（オプション）を指定するコマンド：lp -d <queuename> -o lcf <filename>

□ 両面印刷

下記オプションを使用して両面印刷モードを指定できます。

オプション値	代替値	説明
simplex		両面印刷機能を無効にします。
duplex	lduplex duplex_long duplex=long hduplex	両面印刷（長手とじ）
sduplex	duplex_short duplex=short vduplex	両面印刷（短手とじ）

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（simplex）が使用されます。ブックレットモードを選択すると、［sduplex］（両面印刷：短手とじー有効）が自動的に選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

［例］両面印刷（長手とじ）を指定するコマンド：lp -d <queuename> -o duplex <filename>

□ 用紙サイズ

下記オプションを使用して用紙サイズを指定できます。

オプション値	代替値	説明
letter	lt LT	Letterサイズ用紙を選択します。
A4	a4	A4サイズ用紙を選択します。
legal	lg LG	Legalサイズ用紙を選択します。
statement	st ST	Statementサイズ用紙を選択します。
ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を選択します。
folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を選択します。
A3	a3	A3サイズ用紙を選択します。
A5	a5	A5サイズ用紙を選択します。
A6	a6	A6サイズ用紙を選択します。
B4	b4 b4-jis B4-JIS	JIS B4 サイズ用紙を選択します。
B5	b5 b5-jis B5-JIS	JIS B5サイズ用紙を選択します。
computer	co CO	Computerサイズ用紙を選択します。
legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を選択します。
sq85	letter-square	8.5SQサイズ用紙を選択します。
postcard		はがき用紙を選択します。
8K	8k	8Kサイズ用紙を選択します。
16K	16k	16Kサイズ用紙を選択します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］A4サイズ用紙を選択するコマンド：lp -d <queuename> -o a4 <filename>

□ 印刷モード

下記オプションを使用して印刷モードを選択できます。

オプション値	代替値	説明
normal		通常の印刷ジョブとして処理します。
proof		お試し印刷ジョブとして処理します。
private=din		プライベート印刷ジョブとして処理します。［din］は1～63文字のパスワード（文書パスワード）です。
hold		ホールド印刷ジョブとして処理します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（normal）が使用されます。
プライベート印刷を行うには、最大63文字のパスワードを指定します。
64文字以上のパスワードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。
以下の文字は、パスワードに指定することはできません。
" & ' ( ) ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

□ 部門コード

下記オプションを使用して部門アクセスコードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
dept=code		部門アクセスコードを設定します。[code]は5桁の数値です。

補 足

- TopAccess管理者設定の部門管理強制の設定により、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。部門管理強制が有効に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして［部門コードなし印刷ジョブ］リストに表示されます。部門管理強制が［印刷］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。部門管理強制が［削除］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは印刷せずに削除されます。
- 使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

□ スムージング

文字やグラフィックスをなめらかに印刷するか選択します。
下記オプションを使用してスムージングモードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
smoothing=on	ON	スムージングモードを設定します。
smoothing=off	OFF	スムージングモードを解除します。

［例］スムージングモードを指定するコマンド：lp -d <queuename> -o smoothing=on <filename>

□ 細線モード

細線をはっきりと印刷するかを設定します。
下記オプションを使用して細線モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
thinlinelimit=on	ON	細線モードを設定します。
thinlinelimit=off	OFF	細線モードを解除します。

［例］細線モードを指定するコマンド：lp -d <queuename> -o thinlinelimit=on <filename>

□ 白紙は印字しない

白紙ページを印刷するか設定します。
下記オプションを使用して白紙印字モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
blankpage=0		白紙ページを印字します。
blankpage=1		白紙ページを印字しません。

［例］白紙印字モードを指定するコマンド：lp -d <queuename> -o blankpage=0 <filename>

□ トナー節約

下記オプションを使用してトナー節約モードを設定できます。

オプション値	代替値	説明
tonersave=on	ON	トナー節約モードを設定します。
tonersave=off	OFF	トナー節約モードを解除します。

［例］トナー節約モードを指定するコマンド：lp -d <queuename> -o tonersave=on <filename>

□ マガジンソート印刷

下記オプションを使用してマガジンソート印刷を選択できます。

注 意

マガジンソート印刷はPostScriptデータのみに適用されます。PCLデータをマガジンソート印刷した場合は、印刷が無効になります。

オプション値	代替値	説明
booklet=letter	lt LT	Letterサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=A4	a4	A4 サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=legal	lg LG	Legalサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=statement	st ST	Statement サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=ledger	ld LD	Ledgerサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=folio	folio-japan	Folioサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=A3	a3	A3サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=A5	a5	A5サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=B4	b4 B4-JIS b4-jis	JIS B4サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=B5	b5 B5-JIS b5-jis	JIS B5サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=computer	co CO	Computerサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=legal13	lg13 LG13	13インチLGサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=SQ85	sq85 letter-square	8.5SQサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=8K	8k	8Kサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。
booklet=16K	16k	16Kサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。

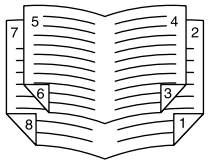
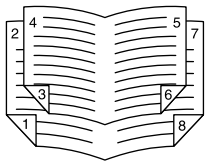
このオプションの値、およびページ記述言語のデータが［LT］の場合、Letter 用紙を使用したブックレットが出力されます。一方、このオプションの値が［A3］でページ記述言語のデータが［A4］の場合には、A3用紙を使用したA4サイズのブックレットが出力されます。ブックレットモードオプションを選択すると、対応する用紙サイズが自動的に設定されます。この機能は、A3、A4、B4、LetterおよびLedger用紙にのみ使用することができます。また、ブックレットモードを選択すると、［sduplex］（両面印刷：短手とじ一有効）が自動で選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。

［例］Letterサイズ用紙を使用してブックレット印刷を行うコマンド：

lp -d <queuename> -o booklet=letter <filename>

□ ページレイアウト

下記オプションを使用してマガジンソート印刷でのページレイアウトを選択できます。

オプション値	代替値	説明
left2right=off	OFF	右から左方向のページレイアウトでマガジンソート印刷を行います。この値は、マガジンソートのページレイアウトを決定します。この値が［OFF］の場合、右から左方向のページレイアウトは下図のように出力されます。
left2right=on	ON	左から右方向のページレイアウトでマガジンソート印刷を行います。この設定が初期値です。この値が［ON］の場合、左から右方向のページレイアウトは下図のように出力されます。

［例］左から右方向のページレイアウトでマガジンソート印刷を行うコマンド：
lp -d <queuename> -o left2right=on <filename>

□ 中央マージン

下記オプションを使用してマガジンソート印刷を行う際のページの中央マージンを指定できます。

オプション値	代替値	説明
centermargin=value		マガジンソート印刷を行う際のページの中央マージンを指定します。アプリケーションで指定済みの中央マージンに加えて、中央マージンまたは［のど空き］をピクセル単位で設定することができます。［value］はピクセルの単位で、0～300の範囲で設定することができます。初期値は、0です。

［例］マガジンソート印刷の中央マージンを指定するコマンド：
lp -d <queuename> -o centermargin=value <filename>

□ 外側マージン

下記オプションを使用してマガジンソート印刷を行う際のページの外側マージンを設定できます。

オプション値	代替値	説明
outermargin=value		マガジンソート印刷を行う際のページの外側マージンを指定します。マガジンソート印刷を出力中に各ページに設ける外側マージンまたは［クリープ］をピクセル単位で設定します。［value］はピクセルの単位で、0～600の範囲で設定することができます。初期値は、0です。

［例］マガジンソート印刷の外側マージンを指定するコマンド：
lp -d <queuename> -o outermargin=value <filename>

□ 部単位印刷

下記オプションを使用して部単位印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
collate=off	OFF	部単位印刷を無効にします。
collate=on	ON	部単位印刷を有効にします。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（collate=on）が使用されます。
［例］部単位印刷を無効にするコマンド：lp -d <queuename> -o collate=off <filename>

□ 印刷の向き

下記オプションを使用して印刷の向きを指定できます。

オプション値	代替値	説明
portrait		ドキュメントを縦向きで印刷します。
landscape		ドキュメントを横向きで印刷します。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］印刷の向きに横向きを指定するコマンド：lp -d <queuename> -o landscape <filename>

□ フォントピッチ

ピッチを指定すると、［net_estbw］プログラムは常時［Courier］を選択します。そのほかの場合は、デフォルトフォントが使用されます。下記オプションを使用して、フォントのピッチを選択できます。

オプション値	代替値	説明
c	pitch=16.67	文字ピッチを16.67文字／インチに設定します。
10	pitch=10	文字ピッチを10文字／インチに設定します。
12	pitch=12	文字ピッチを12文字／インチに設定します。
pitch=value		文字ピッチを入力した［value］／インチに設定します。

上記すべての場合において、［Courier］が選択されます。ピッチを変更すると、フォントサイズは自動的に適切なサイズに変更されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］文字ピッチを8文字／インチに設定するコマンド：lp -d <queuename> -o pitch=8 <filename>

□ ページ長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
pl=value		印字行数を入力した［value］に設定します。

本機はページプリンタであり、用紙の物理的な長さを変更することはできません。このため、インチ当たりの行数を変更するこのコマンドを使用し、目的の行数でページを印刷します。上部マージンやテキスト長オプションが使用されている場合、実際のページ長はこの値と異なる場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。指定できる最小のページ長は［5］です。［5］未満の値を指定した場合、ページ長は［5］に設定されます。
［例］1ページの印刷行数を66行に指定するコマンド：lp -d <queuename> -o pl=66 <filename>

■ PCL5e固有オプション

下記オプションは、プレーンテキストまたはPCL5eファイルのみに適用されます。

□ テキストラップ

下記オプションを使用してテキストラップ機能(テキストをウィンドウサイズや用紙の大きさに合わせて適当な位置で改行する機能）を管理します。

オプション値	代替値	説明
wrap		自動的にテキストラップを実行する。
nowrap		テキストラップを自動的には実行しない。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］テキストラップ機能を指定するコマンド：lp -d <queuename> -o wrap <filename>

□ 左マージン

下記オプションを使用して左マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
lm=value		左マージンを入力した［value］に設定します（コラム単位)。

左マージンを右マージンの右側に設定した場合、その設定は無視されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］左マージンを5コラムに設定するコマンド：lp -d <queuename> -o lm=5 <filename>

□ 右マージン

下記オプションを使用して右マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
rm=value		右マージンを入力した［value］に設定します（コラム単位)。

右マージンを左マージンの左に設定した場合、または実際のページ幅よりはみ出た位置に設定した場合は、その設定は無視されます。また、負の値も無視されます。入力する［value］は、左マージンからのコラム数を示します。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］Example: 右マージンを50コラムに設定するコマンド：
lp -d <queuename> -o rm=50 <filename>

□ 上マージン

下記オプションを使用して上マージン位置を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tm=value		上マージンを入力した［value］に設定します（行単位)。

上マージンを設定すると､極端に高い位置または低い位置にあるテキストはプリンタの非印字領域により印刷されない場合があります。上マージンを実際のページ長より高い位置に設定した場合、その設定は無視されます。上マージンの設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］上マージンを10行に設定するコマンド：lp -d <queuename> -o tm=10 <filename>

□ テキスト長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

オプション値	代替値	説明
tl=value		印字行数を入力した［value］に設定します。

テキスト長の設定が大き過ぎる場合、用紙の印字可能領域に入りきらず印字されないことがあります。本機のページ長の初期設定値から上マージンの設定を引いた数値よりテキスト長の設定が大きい場合は、テキスト長の設定は無効になります。テキスト長は上マージンからの行数を指定します。テキスト長の設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］1ページの印刷行数を40行に指定するコマンド：lp -d <queuename> -o tl=40 <filename>

□ バナーページ

バナーページはジョブごとに自動で印刷されます。バナーページは常にPCL5eジョブとして送信され、以下の内容が印刷されます。

- 印刷ジョブを実行したユーザ名
- ジョブ番号とジョブを実行したワークステーション名
- ジョブタイトル（ジョブタイトルは、［-t］オプションで指定することができます。通常は、［lp］コマンドにより指定された同じタイトル名が各ジョブに適用されます。）
- プリンタ名およびIPアドレス
- 日付と時刻

バナーページはジョブに設定された部数に関係なく各ジョブにつき1部のみ印刷されます。また、バナーページは元々のジョブとは別のジョブとして送信されるため、ステイプル印刷を実行しても、バナーページを一緒にステイプルすることはありません。バナーページは、常に以下の設定で印刷されます。

- 部数＝1
- ステイプル＝オフ
- ホールパンチ＝オフ
- 用紙の向き＝縦
- 両面印刷＝オフ
- 用紙サイズ＝［-o］オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- 給紙元＝給紙カセットまたは用紙タイプジョブオプションにより指定可能
- 出力トレイ＝［-o］オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- ページ長＝6/インチ
- テキストラップ＝オン

注 意

- バナーページはA5/Statement以上の大きさの用紙に収まるようにデザインされています。
  以下の用紙サイズを選択した場合は、1ページに収まりきらないためデフォルト用紙を使用します。
  - Statement
  - A5
  - A6
  - B5
  - Postcard（はがき）
- 印刷言語が［raw］に設定されている場合は、バナーページは印刷されません。
- バナーページの給紙カセットまたは用紙タイプによる給紙元の指定は、ジョブの給紙カセットまたは用紙タイプとは別に指定することができます。バナーページ用の給紙元が指定されていない場合は、自動選択が適用されます。用紙タイプが指定されていない場合は、プリンタのデフォルト用紙タイプが適用されます。
- 出力トレイや用紙サイズの印刷情報を含んでいるファイルを印刷した場合、バナーページは異なる出力トレイに出力されたり、異なる用紙サイズを使用して出力されることがあります。
- バナーページはホールパンチ処理されません。

バナーオプション

下記オプションを使用してバナーページの印刷を設定できます。

オプション値	代替値	説明
banner=last		ジョブを印刷した後にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番上（最後）にバナーページを出力します。
banner=first	banner	ジョブを印刷する前にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番下（最初）にバナーページを出力します。
nobanner	nb	バナーページを印刷しません。だたし、管理者によりLPDのバナーページを印刷するよう本機で設定されている場合は、このオプションは無効となりバナーページが印刷されます。

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（banner=first）が使用されます。
［例］ジョブを印刷した後にバナーページを印刷するコマンド：lp -d <queuename> -o banner=last <filename>

バナー給紙元

下記オプションを使用してバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bauto-source		自動で給紙元を指定します。
bdrawer1	buuper bcas1	1段目カセットを指定します。
bdrawer2	blower bcas2	2段目カセットを指定します。
bdrawer3	bpedupper bcas3	3段目カセット（オプション）を指定します。
bdrawer4	bpedlower bcas4	4段目カセット（オプション）を指定します。
blcf	BLCF btandem	大容量給紙装置（オプション）を指定します。

このオプションを指定しない場合、PCL5eの自動給紙元指定コマンド［<esc>&17H］が送信されます。バナーページは手差しトレイから給紙することはできません。また、バナー給紙元の指定より用紙サイズによる給紙元の指定が優先して適用されます。
［例］大容量給紙装置（オプション）から給紙するコマンド：lp -d <queuename> -o blcf <filename>

バナー用紙タイプ

下記オプションを使用して、用紙タイプを指定することによりバナーページの給紙元を指定できます。

オプション値	代替値	説明
bmtype=Plain		普通紙のセットされた給紙元を指定します。
bmtype=Transparency		OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。
bmtype=Thick1		厚紙1がセットされた給紙元を指定します。
bmtype=Thick2		厚紙2がセットされた給紙元を指定します。
bmtype=Thick3		厚紙3がセットされた給紙元を指定します。

用紙サイズが常に用紙タイプや給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］普通紙を指定するコマンド：lp -d <queuename> -o bmtype=Plain <filename>

5

操作パネルから印刷ジョブを管理する

ここでは、操作パネルから行うことのできる、印刷ジョブの管理や本機の状況確認について説明します。

印刷ジョブの実行状況を確認する 138
通常印刷／予約印刷ジョブ 138
お試し印刷ジョブ 142
プライベート印刷ジョブ 145
ホールド印刷ジョブ 149
無効ジョブ 153
USBメディアからファイルを印刷する（USBダイレクト印刷） 156
印刷ジョブの実行履歴を確認する 161

印刷ジョブの実行状況を確認する

印刷ジョブは、本機のタッチパネルから、その実行状況を確認できます。確認できる印刷ジョブには、通常印刷、予約印刷、プライベート印刷、ホールド印刷およびお試し印刷などがあり、部門管理機能が有効な場合は、印刷されずに保管された無効ジョブも表示できます。これらジョブは、実行状況の確認だけでなく、必要に応じてその実行や削除、中断／再開、実行順序の変更などもできます。USBメディアを本機に接続すれば、メディア内に保存されたPDF、暗号化PDF、XPS、JPEG、PRNおよびPS形式のファイルを、クライアントコンピュータを介することなくタッチパネルから直接印刷（USBダイレクト印刷）できます。

注 意

ユーザ管理機能によって本機が管理されている場合は、ユーザ名やパスワードなどのユーザ情報を入力する必要があります。

P.138 「通常印刷／予約印刷ジョブ」
P.142 「お試し印刷ジョブ」
P.145 「プライベート印刷ジョブ」
P.149 「ホールド印刷ジョブ」
P.153 「無効ジョブ」
P.156 「USBメディアからファイルを印刷する（USBダイレクト印刷）」

■ 通常印刷／予約印刷ジョブ

タッチパネルの［状況確認］を押すと、状況確認画面の［ジョブ］タブが表示されます。［ジョブ］タブでは、コピージョブとともに通常印刷および予約印刷ジョブが一覧表示され、各ジョブを登録したユーザ名、登録日時、用紙サイズ、ページ数、部数、実行状況を確認できます。また、これらジョブの削除や中断／再開、実行順序の変更ができます。



予約印刷ジョブは、「状態」の欄に「スケジュール」と表示されます。

最大1000件のジョブが表示されます。前後のページに移動するには、[^] または [v] を押してください。1ページに表示されるジョブの数は、お使いの機種により異なります。

状況確認を終了する場合は、［閉じる］を押してください。

注 意

［ジョブ］タブでは、［印刷］、［ファクス］または［スキャン］を押して、どのモードの実行状況を表示するか選択できます。スキャンやインターネットファクスジョブの状況確認については、**スキャンガイド**を参照してください。本機では、スキャン機能はオプションです。お使いの機体によっては、すでにオプションが装着されている場合があります。
ファクス（オプション）ジョブの状況確認については、**GD-1250J FAXユニット 取扱説明書**を参照してください。

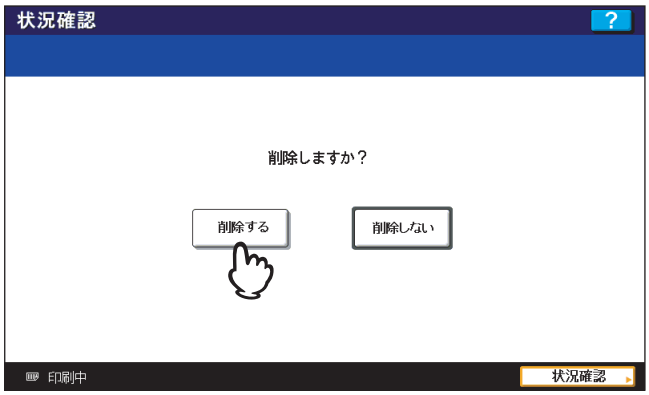
□ ジョブを削除する

不要な通常／予約印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1 印刷ジョブ一覧画面（P.138）で、削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。



2 「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。



選択したジョブが削除されます。

□ ジョブを中断／再開する

実行中のジョブから数えて11番目以降のジョブは、中断（保留）することができます。

ジョブを中断したい場合は

印刷ジョブ一覧画面（P.138）で、中断したいジョブを選択し、［中断］を押してください。



選択したジョブが中断されます。ジョブを中断すると、次のジョブが先に実行されます。

中断したジョブを再開したい場合は

再開したいジョブを選択し、［再開］を押してください。



□ ジョブの順番を変更する

実行待ちのジョブをリスト内で移動することで、ジョブの実行順序を変更できます。

注 意

移動できるのは実行中のジョブから数えて11番目以降のジョブです。移動先についても同じです。

1 印刷ジョブ一覧画面（P.138）で、順番を変えたいジョブを選択し、［移動］を押します。



移動したいジョブが画面に表示されていない場合は、▲ または ▼ を押して画面を切り替えてください。

2 ジョブの移動先を指定します。（ジョブは、ここで指定したジョブの下に移動します。）





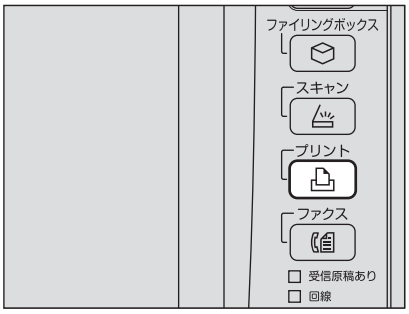
■ お試し印刷ジョブ

お試し印刷とは、ネットワーク上のコンピュータから2部以上の印刷を行うときに、全部数を印刷する前に確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。
お試し印刷ジョブ一覧画面では、お試し印刷で出力された最初の一部を確認したうえで、残り部数の印刷を行うか、設定を変更するために印刷を取りやめるかを選択できます。残りの印刷を行う場合は、印刷部数を変更することもできます。
お試し印刷についての詳細は、以下を参照してください。
📖 P.62 「お試し印刷」

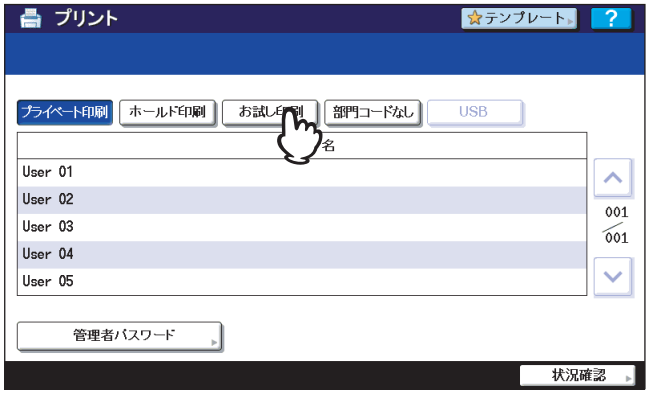
□ お試し印刷ジョブ一覧画面を表示する

お試し印刷ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

1 **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**



2 **［お試し印刷］を押します。**



お試し印刷ジョブ一覧画面が表示されます。



□ お試し印刷ジョブをそのまま印刷する

最初の一部を確認後、そのまま残り部数を印刷する場合は、以下の手順で行ってください。

1 お試し印刷ジョブ一覧画面（P.142）で、印刷したいジョブを押します。



目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。

2 [印刷] を押します。

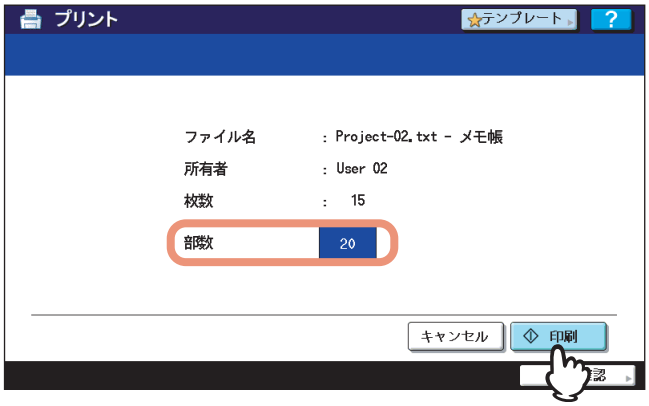


残り部数の印刷が実行されます。

ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（P.138）上で確認できます。

補 足

印刷部数を変更するときは、［編集］を押し、部数をテンキーで入力してください。［印刷］を押すと印刷が実行されます。



□ お試し印刷ジョブを削除する

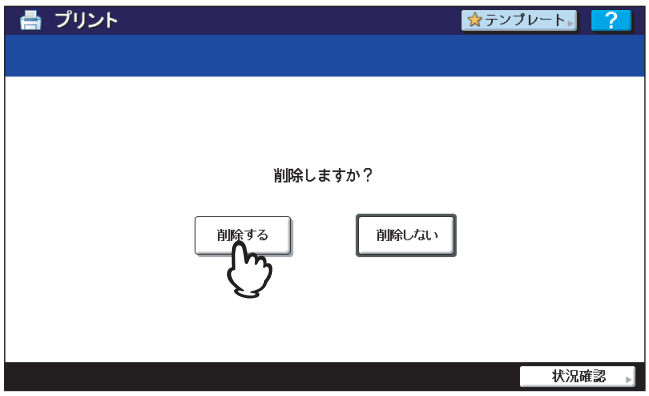
お試し印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1 お試し印刷ジョブ一覧画面（P.142）で削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。



目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。

2 「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。



選択したジョブが削除されます。

■ プライベート印刷ジョブ

プライベート印刷とは、ネットワーク上のコンピュータから印刷を行うときに、パスワードを設定しておき、本機の操作パネルからそのパスワードを入力するまで印刷を保留する機能です。他人に見られたくない機密文書を印刷するときに有効です。プライベート印刷ジョブ一覧画面では、このようなジョブの実行や削除ができます。
プライベート印刷についての詳細は、以下を参照してください。
P.60 「プライベート印刷」

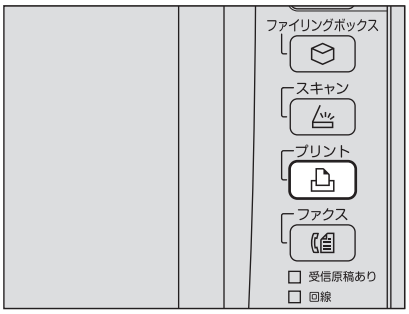
注 意

プライベート印刷機能は、本機のユーザ管理設定が無効な場合に使用することができます。

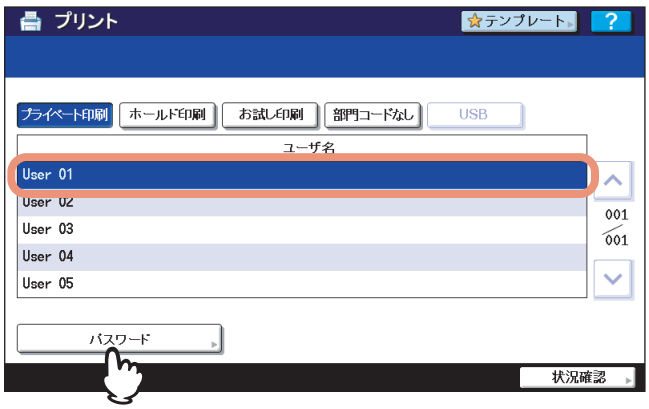
□ プライベート印刷ジョブ一覧画面を表示する

プライベート印刷ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

1 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。



2 プライベート印刷ジョブ一覧画面で目的のユーザ名を選択し、［パスワード］を押します。



注 意

- Windows コンピュータから［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。設定しない場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。
- 管理者として操作する場合は、ユーザ名を非選択状態にして［管理者パスワード］を押してください。文字入力画面が表示され、管理者パスワード（6～10桁）を入力できます。この場合、ジョブの削除はできますが、印刷はできません。（管理者パスワードを3回続けて誤入力すると、本機を操作できなくなります（約30秒間）。その場合は操作できるようになるのを待って、正しい管理者パスワードを入力し直してください。）

3 コンピュータで設定したプライベート印刷のパスワードを入力し、[OK] を押します。



プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されます。



補 足

- Windowsコンピュータから印刷ジョブを送信した場合：
  - [表示ユーザ名] に初期値のログインユーザ名を使用したときには、同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
  - [表示ユーザ名] に任意のユーザ名を設定したときには、同じユーザ名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- Macintoshコンピュータ、またはUNIX/Linuxワークステーションから印刷ジョブを送信した場合：
  同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

□ プライベート印刷ジョブを印刷する

プライベート印刷ジョブをパネルから実行する場合は、以下の手順で行ってください。

1 プライベート印刷ジョブ一覧画面（P.145）で、印刷したいジョブを選択します。



- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

2 ［印刷］を押します。



印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（P.138）上で確認できます。

□ プライベート印刷ジョブを削除する

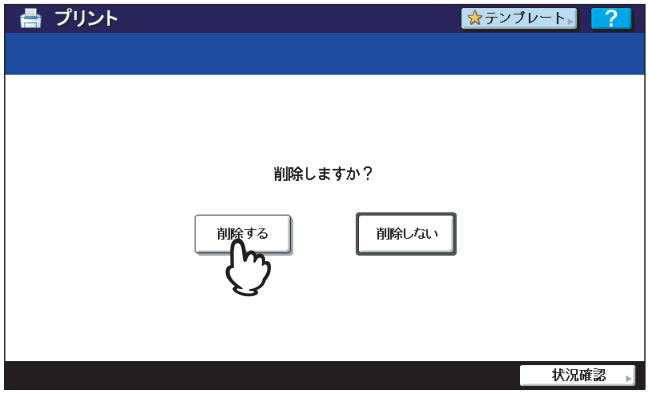
プライベート印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1 プライベート印刷ジョブ一覧画面（P.145）で、削除したいジョブを押し、［削除］を押します。



- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

2 「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。



選択したジョブが削除されます。

■ ホールド印刷ジョブ

ホールド印刷とは、ネットワーク上のコンピュータから送信したジョブを本機のタッチパネルから印刷を実行するまで保留する機能です。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。ホールド印刷ジョブ一覧画面では、このようなジョブの実行や削除ができます。

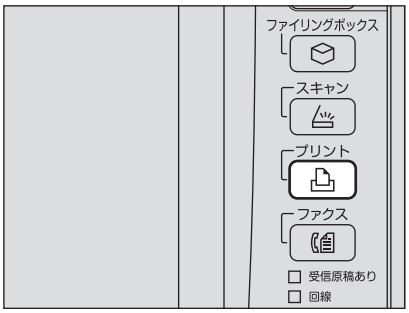
ホールド印刷についての詳細は、以下を参照してください。

P.61 「ホールド印刷」

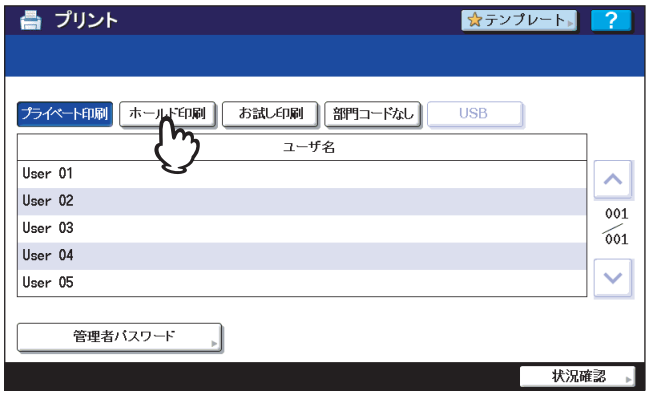
□ ホールド印刷ジョブ一覧画面を表示する

ホールド印刷ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

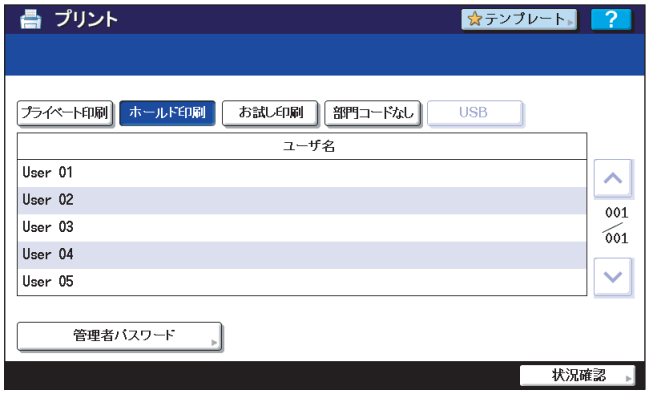
1 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。



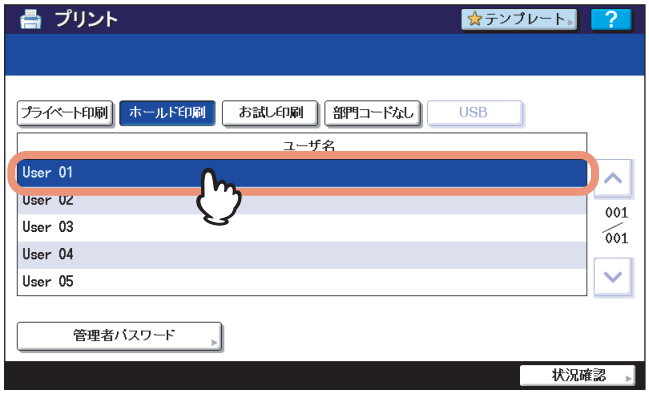
2 ［ホールド印刷］を押します。



ホールド印刷ジョブ一覧画面が表示されます。



3 ホールド印刷ジョブ一覧画面で目的のユーザ名を選択します。



ホールド印刷ジョブ一覧画面に印刷待ちのジョブが表示されます。

注 意

- Windows コンピュータから［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。設定しない場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。
- 管理者として操作する場合は、ユーザ名を非選択状態にして［管理者パスワード］を押してください。文字入力画面が表示され、管理者パスワード（6～10桁）を入力できます。この場合、各ユーザが登録したジョブの削除はできますが、印刷はできません。（管理者パスワードを3回続けて誤入力すると、本機を操作できなくなります（約30秒間）。その場合は操作できるようになるのを待って、正しい管理者パスワードを入力し直してください。）



補 足

- Windowsコンピュータから印刷ジョブを送信した場合：
  - ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用したときには、選択したユーザが送信したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
  - ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定したときには、同じユーザ名を使って送信されたホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。
- Macintoshコンピュータ、またはUNIX/Linuxワークステーションから印刷ジョブを送信した場合：
  選択したユーザが送信したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。

□ ホールド印刷ジョブを印刷する

ホールド印刷ジョブをパネルから実行する場合は、以下の手順で行ってください。

1 ホールド印刷ジョブ一覧画面（P.149）で、印刷したいジョブを選択します。



- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

2 ［印刷］を押します。



印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（P.138）上で確認できます。

補 足

印刷を実行したジョブはホールド印刷ジョブ一覧画面から削除されます。

□ ホールド印刷ジョブを削除する

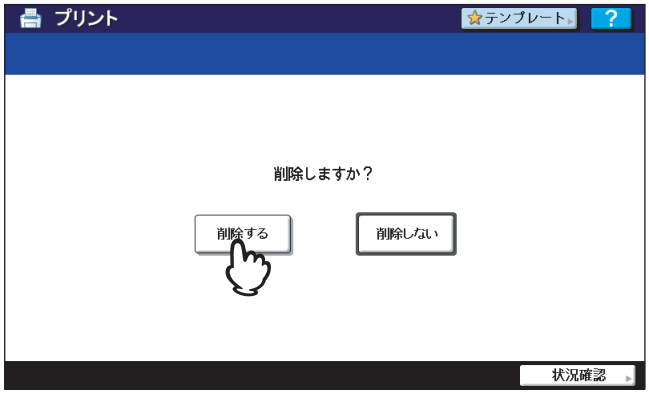
ホールド印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1 ホールド印刷ジョブ一覧画面（P.149）で、削除したいジョブを押し、［削除］を押します。



- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

2 「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。



選択したジョブが削除されます。

■ 無効ジョブ

無効ジョブとは、ジョブを実行するために入力した部門コードが間違っていたり、部門コードが入力されないために保留されたジョブのことです。SNMPネットワークサービスを無効にした状態で部門管理機能を使用している場合、印刷時にタッチパネルから間違った部門コードを入力すると、ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなしジョブ一覧に保管されます。この保管された無効ジョブを実行したい場合は、部門コードなしジョブ一覧画面で正しい部門コードを入力し直します。

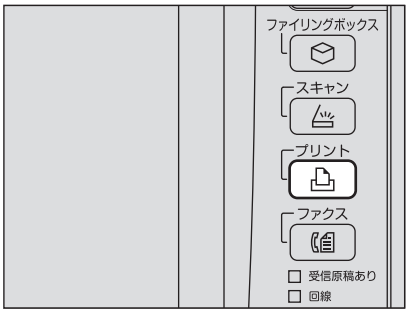
注 意

印刷ジョブの印刷枚数が部門コードに設定された制限枚数を超えた場合も印刷されません。この場合は、管理者にご相談ください。

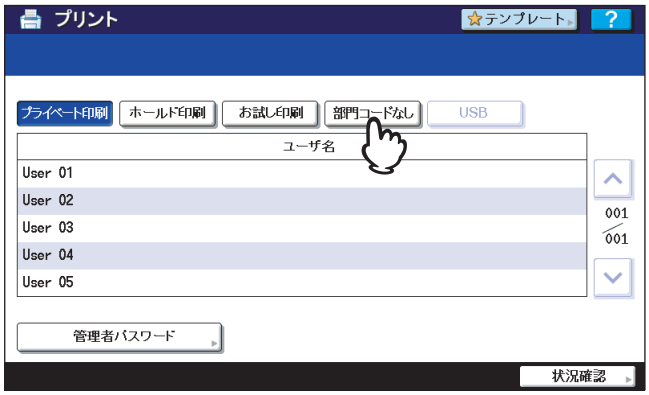
□ 部門コードなしジョブ一覧画面を表示する

無効ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

1 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。



2 ［部門コードなし］を押します。



部門コードなしジョブ一覧画面が表示されます。



□ 無効ジョブを印刷する

印刷時に誤った部門コードを入力した場合は、正しい部門コードを入力し直して印刷します。以下の手順に従ってください。

1 部門コードなしジョブ一覧画面（P.153）で、印刷したいジョブを選択します。

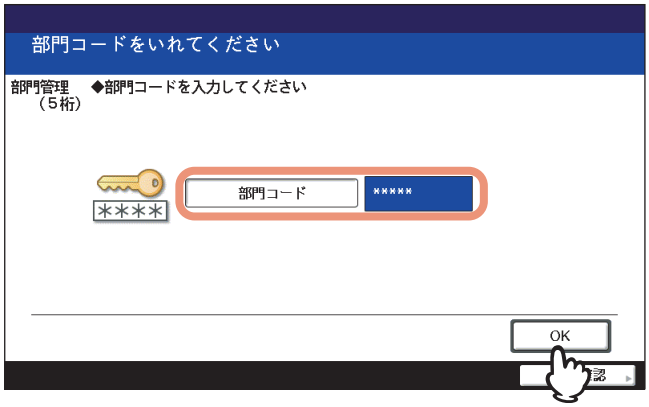


目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。

2 [印刷] を押します。



3 正しい部門コードをテンキーで入力し、[OK] を押します。



印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（P.138）上で確認できます。

補 足

入力した部門コードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

□ 無効ジョブを削除する

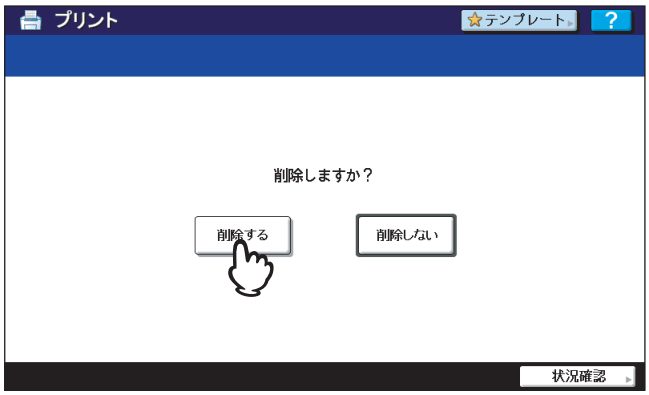
無効ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1 部門コードなしジョブ一覧画面（P.153）で、削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。



目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。

2 「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。



選択したジョブが削除されます。

■ USBメディアからファイルを印刷する（USBダイレクト印刷）

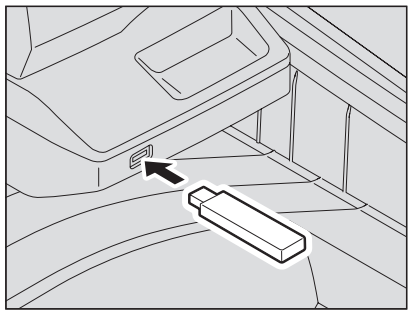
USBダイレクト印刷は、本機のUSBポートに接続したUSBメディアに保存してあるファイルを印刷する機能です。印刷できるのは、PDF／暗号化PDFファイル（拡張子が「.pdf」）、XPSファイル（拡張子が「.xps」）、JPEGファイル（拡張子が「.jpg」または「.jpeg」）、PRNファイル（拡張子が「.prn」）およびPSファイル（拡張子が「.ps」）です。

注 意

- USBダイレクト印刷を行うには、TopAccessの「USBダイレクト印刷」設定が有効になっている必要があります。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。
- 印刷範囲は設定できません。すべてのページが印刷されます。
- 本機能は、PDFファイルバージョンが1.3～1.7のPDFファイルに対応しています。
- 暗号化PDFの場合は、暗号化レベルに「40-bit RC4」または「128-bit RC4」を選択して作成されたファイルに対応しています。
- 本機能は、暗号化レベルに「128-bit AES」を選択して作成された暗号化PDFには対応していません。また、他の暗号化レベルの場合でもまれに印刷できないことがあります。この場合は、クライアントコンピュータから印刷を行ってください。
- USBダイレクト印刷でPRNファイルを印刷する場合、本機がサポートするページ記述言語は、PostScript（PS3）、Printer Command Language（PCL5eおよびPCL6）、およびXML Paper Specification（XPS）です。
- USBメディアをUSBポートに接続したまま、本機の電源を入れないでください。
- 使用可能なUSBメディアは、以下の条件を満たしたものに限ります。ただし、USBメディアによっては、条件を満たしていても本機で使用できないことがあります。
  - FAT16、FAT32フォーマット
  - 単一パーティション（複数パーティションのUSBメディアは使用不可）
- CMYK形式のJPEGファイルを印刷することはできません。

1 USBメディアを、本機のUSBポートに接続します。

数秒後、画面左下に「USBメディアを検知しました」と表示されます。

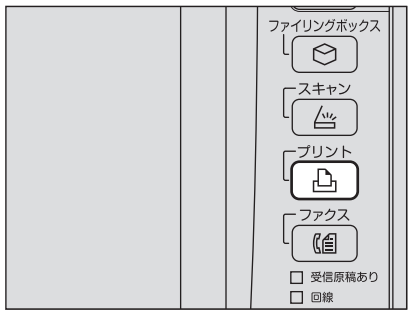


注 意

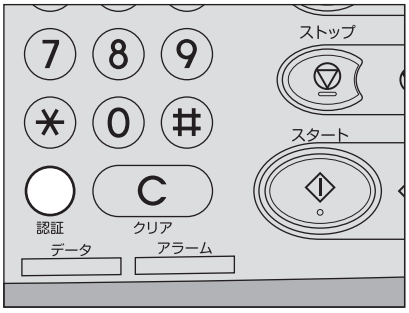
「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

2 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。

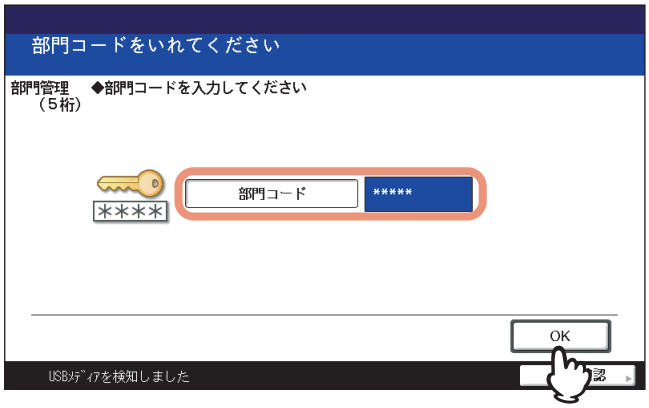
- 部門管理機能が有効な場合は、手順3に進んでください。
- 本機を部門管理機能で管理していない場合は、手順5に進んでください。



3 部門管理機能が有効な場合は、操作パネルの［認証］ボタンを押します。



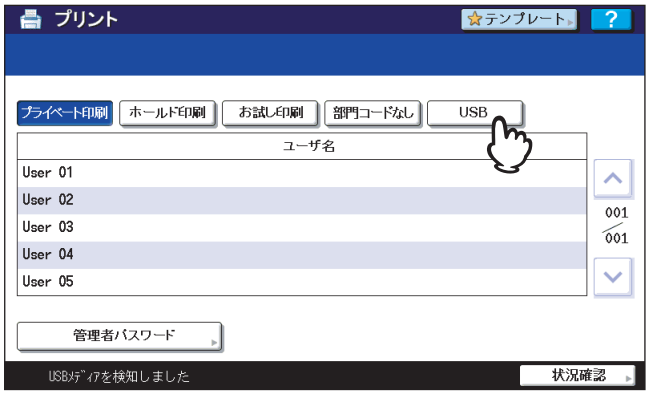
4 部門コードをテンキーで入力し、［OK］を押します。



注 意

- 本機を部門管理機能で管理していない場合は、上の画面は表示されません。
- 入力した部門コードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

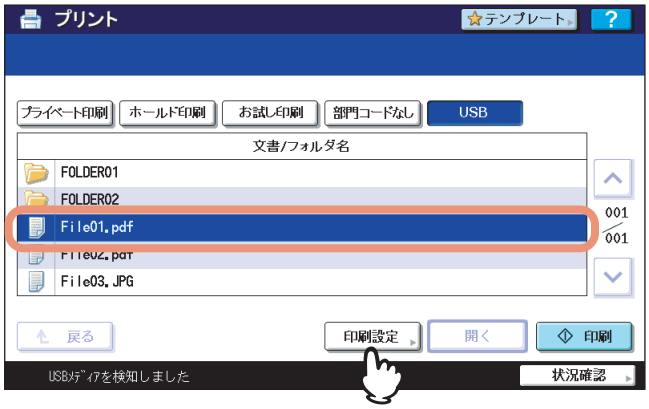
5 ［USB］を押します。



注 意

「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

6 「文書/フォルダ名」一覧から印刷したいファイルを選択し、［印刷設定］を押します。



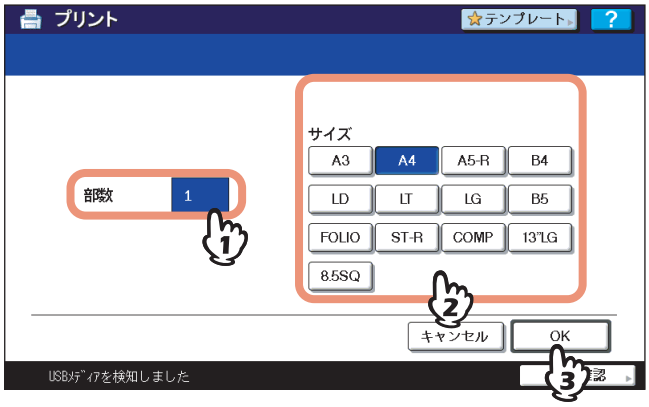
- 目的のファイルが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- フォルダの中のファイルを選択したい場合は、印刷したいファイルが入っているフォルダを押し、［開く］を押してください。表示された画面から、印刷したいファイルを選択します。
- 印刷部数や用紙サイズを変更しない場合は、上の画面で［印刷］を押して印刷を開始できます。このときに選択したファイルが暗号化PDFで、パスワードが設定されている場合は、手順9に進んでください。

注 意

「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

7 下記項目を設定します。

1）印刷部数をテンキーで入力します。
2）用紙サイズを指定します。
3）最後に［OK］を押します。



注 意

用紙サイズは、JPEGファイルの場合のみ指定できます。（続けてJPEGファイルを印刷する場合には、ここで指定した用紙サイズの設定が継続して使用されます。）

8 **［印刷］を押します。選択したファイルが暗号化PDFでパスワードが設定されている場合は、手順9に進んでください。**

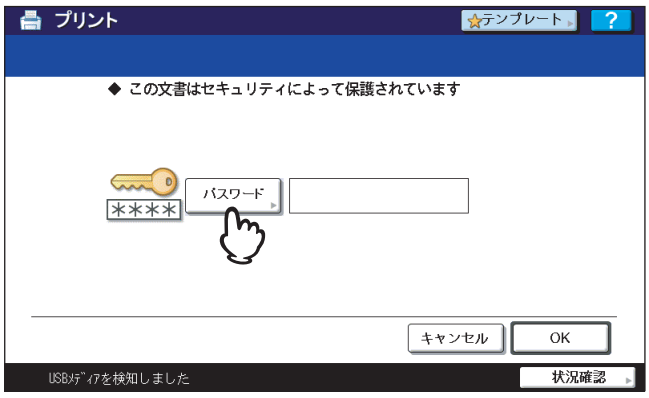


印刷を開始します。用紙は排紙トレイに排紙されます。
印刷の実行状況は、通常印刷ジョブ一覧画面で確認できます。

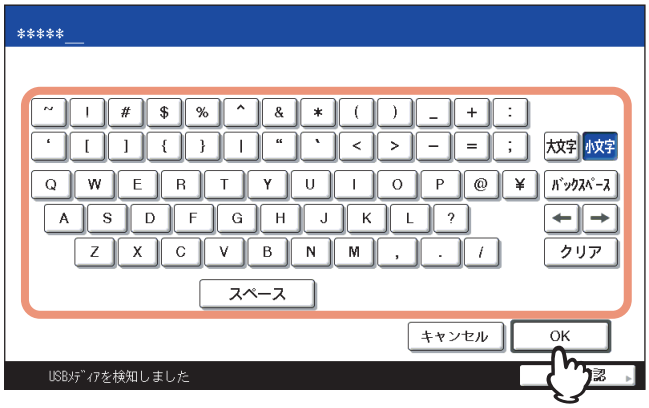
USBメディアを抜くときは

タッチパネル上に「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが表示されていないことを確認してください。このメッセージが表示されている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

9 **［パスワード］を押します。**



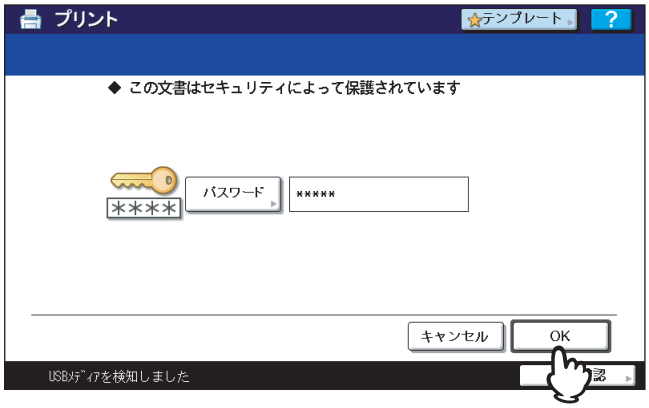
10 **文字入力画面およびテンキーを使って、暗号化PDFファイルのユーザパスワード（1～32桁）またはマスタパスワードを入力し、［OK］を押します。**



補 足

- Adobe Acrobat 6.0以降で作成した暗号化PDFファイルを印刷する場合は、「文書を開くパスワード」または「権限パスワード」を入力してください。
- Adobe Acrobatで印刷許可権限を「低解像度（150dpi）」に設定して作成された暗号化PDFファイルを印刷するには、作成時に設定した権限パスワードの入力が必要です。

11 ［OK］を押します。



印刷を開始します。用紙は排紙トレイに排紙されます。
印刷の実行状況は、通常印刷ジョブ一覧画面で確認できます。

USBメディアを抜くときは

タッチパネル上に「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが表示されていないことを確認してください。このメッセージが表示されている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

印刷ジョブの実行履歴を確認する

印刷ジョブの実行履歴を画面上で確認できます。

1 タッチパネルの［状況確認］を押します。



2 ［ログ］を押して［ログ］タブを表示します。



3 ［印刷］を押します。



印刷ログ画面が表示されます。



印刷ログ画面では、ジョブを送ったユーザ名、印刷した日時、用紙サイズ、ページ数および部数が表示されます。

履歴には最大120件のジョブが表示されます。前後のページに移動するには、[^] または [v] を押してください。1ページに表示されるジョブの数は、お使いの機種により異なります。

実行履歴の確認を終了する場合は、［戻る］を押してください。

補 足

印刷機能を使用中にエラーが発生したときは、ユーザ名の欄にエラーコードが記録されます。印刷ジョブエラーの解除方法やエラーコードについての詳細は、**トラブルシューティングガイド**を参照してください。

6

その他の印刷方法

その他の印刷方法について説明します。

FTP印刷 **164**
Eメール印刷 **165**

FTP印刷

FTP印刷は、本機でFTP印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。FTPプロトコルを使用して本機へ印刷ファイルを送信し、文書を印刷します。以下のファイルを印刷することができます。

- PCLファイル
- PostScriptファイル
- テキストファイル

注 意

本機のユーザ管理設定が有効な場合、FTP印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとして部門コード強制の設定に従って処理されます。

補 足

- Windowsでは、プリンタドライバを使ってPCLファイルおよびPSファイルを作成することができます。PCLファイルまたはPSファイルを作成するには、プリンタドライバのプリンタポートを「FILE:」ポートに変更し、文書を印刷します。ファイルへの出力についての詳細は、Windowsの取扱説明書を参照してください。
- Macintoshでは、プリンタドライバを使ってPSファイルを作成することができます。PSファイルを作成するには、「プリント」ダイアログボックスの［出力対象］ボックスから［ファイル］を選択します。ファイルへの出力についての詳細は、Macintoshの取扱説明書を参照してください。

FTPコマンドを使用してファイルを印刷する

ここでは、MS-DOSプロンプトからFTPコマンドを入力し、印刷を行う例で説明します。

1 MS-DOSプロンプトを起動します。

2 カレントディレクトリを印刷ファイルが保存されているディレクトリに変更します。

3 以下のコマンドを入力し、［Enter］キーを押します。

ftp <IPアドレス>
<IPアドレス>の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。

4 ユーザ名の入力を要求された場合は、FTPプリントユーザ名を入力し、［Enter］キーを押します。

注 意

FTPプリントユーザ名が管理者によって割り当てられている場合に、ユーザ名の入力が要求されます。FTPユーザ名については、管理者にご確認ください。

5 パスワードの入力を要求された場合は、FTPプリントパスワードを入力し、［Enter］キーを押します。

注 意

- FTP 印刷ユーザ名が管理者によって設定されている場合は、パスワードの入力が要求されます。FTP 印刷パスワードについては、管理者にご確認ください。
- FTP 印刷ユーザ名が設定されており、FTP 印刷パスワードが設定されていない場合は、パスワードの入力が要求されたらパスワードを入力せずにそのまま［Enter］キーを押します。

6 以下のコマンドを入力し、［Enter］キーを押します。

put <ファイル名>
例：印刷ファイル名が「sample.ps」の場合
put sample.ps

7 ファイルが本機へ送信され、印刷キューにスプールされます。

Eメール印刷

Eメール印刷は、本機でEメール印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。メールクライアントソフトウェアを使って、印刷ファイルを本機へEメールの添付ファイルとして送信することにより文書を印刷します。本機では、インターネットファクスのファイルフォーマットであるTIFF-FX（Profile S）、TIFF-FX（Profile F）、TIFF-FX（Profile J）ファイルのみ印刷することができます。

注 意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、Eメール印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとして部門コード強制の設定に従って処理されます。
- Eメール印刷ジョブは、本機の管理者設定メニューより［ファクス］→［記録モード］を押して表示される画面で設定できる、切り捨て印刷および縮小印刷の設定によって、どのように印刷されるかが異なります。

  切り捨て印刷がONの場合は、印刷範囲を超える長さが10mm未満の印刷イメージは切り捨てられます。印刷範囲を超える長さが10mmより長い印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。
  切り捨て印刷がOFFの場合は、長さが用紙印刷範囲を超える印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

  縮小印刷がONの場合は、用紙より長い印刷イメージは、用紙に収まるように縦方向に最大で90%まで縮小し印刷します。90%の縮小でも用紙に収まらない場合は、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。
  縮小印刷がOFFの場合は、用紙より長い印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

ここでは、Microsoft Outlook Expressを使って印刷を行う例で説明します。

注 意

本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。

1 Eメールアプリケーションを開きます。

2 ファイルメニューから［新規作成］－［メールメッセージ］を選択します。または、ツールバーの［メールの作成］をクリックします。

「メッセージの作成」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［宛先］ボックスに、本機のEメールアドレスを入力します。

4 必要に応じて、［件名］ボックスにEメールの件名を入力します。

5 本文欄にメッセージを入力します。

6 印刷したいファイルを添付します。

7 Eメールを送信します。

注 意

Eメールの「件名」および「本文」は、本機のEメール印刷サービスで「Eメールヘッダ印刷」および「本文印刷」が有効に設定されているときに印刷されます。

7

フォントー覧

この章には、内蔵フォント一覧が記載されています。

内蔵フォントー覧 168
内蔵PCLフォントー覧 168
内蔵PSフォントー覧 169

内蔵フォント一覧

■ 内蔵PCLフォント一覧

0	Courier	40	Helvetica-BoldOblique
1	CG-Times	41	Helvetica-Narrow
2	CG-Times Bold	42	Helvetica-Narrow-Bold
3	CG-Times Italic	43	Helvetica-Narrow-Oblique
4	CG-Times Bold Italic	44	Helvetica-Narrow-BoldOblique
5	CG Omega	45	Palatino-Roman
6	CG Omega Bold	46	Palatino-Bold
7	CG Omega Italic	47	Palatino-Italic
8	CG Omega Bold Italic	48	Palatino-BoldItalic
9	Coronet	49	ITC AvantGarde-Book
10	Clarendon Condensed	50	ITC AvantGarde-BookOblique
11	Univers Medium	51	ITC AvantGarde-Demi
12	Univers Bold	52	ITC AvantGarde-DemiOblique
13	Univers Italic	53	ITC Bookman-Light
14	Univers Bold Italic	54	ITC Bookman-LightItalic
15	Univers Medium Condensed	55	ITC Bookman-Demi
16	Univers Condensed Bold	56	ITC Bookman-DemiItalic
17	Univers Medium Condensed Italic	57	NewCenturySchlbk-Roman
18	Univers Condensed Bold Italic	58	NewCenturySchlbk-Bold
19	Antique Olive	59	NewCenturySchlbk-Italic
20	Antique Olive Bold	60	NewCenturySchlbk-BoldItalic
21	Antique Olive Italic	61	Times-Roman
22	Garamond Antiqua	62	Times-Bold
23	Garamond Halbfett	63	Times-Italic
24	Garamond Kursiv	64	Times-BoldItalic
25	Garamond Kursiv Halbfett	65	ITCZapfChancery-MediumItalic
26	Mrigold	66	Symbol
27	Albertus Medium	67	Symbol PS
28	Albertus Extra Bold	68	Wingdings
29	Arial	69	ITCZapfDingbats
30	Arial Bold	70	Courier Bold
31	Arial Italic	71	Courier Italic
32	Arial Bold Italic	72	Courier Bold Italic
33	Times New Roman	73	Letter Gothic Regular
34	Times New Roman Bold	74	Letter Gothic Bold
35	Times New Roman Italic	75	Letter Gothic Italic
36	Times New Roman Bold Italic	76	CourierPS
37	Helvetica	77	CourierPS Oblique
38	Helvetica-Bold	78	CourierPS Bold
39	Helvetica-Oblique	79	CourierPS BoldOblique

■ 内蔵PSフォント一覧

AlbertusMT-Light	Eurostile-Bold
AlbertusMT	Eurostile-ExtendedTwo
AlbertusMT-Italic	Eurostile-BoldExtendedTwo
AntiqueOlive-Roman	Geneva
AntiqueOlive-Italic	GillSans-Light
AntiqueOlive-Bold	GillSans-LightItalic
AntiqueOlive-Compact	GillSans
Apple-Chancery	GillSans-Italic
ArialMT	GillSans-Bold
Arial-ItalicMT	GillSans-BoldItalic
Arial-BoldMT	GillSans-ExtraBold
Arial-BoldItalicMT	GillSans-BoldCondensed
AvantGarde-Book	GillSans-Condensed
AvantGarde-BookOblique	Goudy
AvantGarde-Demi	Goudy-Italic
AvantGarde-DemiOblique	Goudy-Bold
Bodoni	Goudy-BoldItalic
Bodoni-Italic	Goudy-ExtraBold
Bodoni-Bold	Helvetica
Bodoni-BoldItalic	Helvetica-Oblique
Bodoni-Poster	Helvetica-Bold
Bodoni-PosterCompressed	Helvetica-BoldOblique
Bookman-Light	Helvetica-Condensed
Bookman-LightItalic	Helvetica-Condensed-Oblique
Bookman-Demi	Helvetica-Condensed-Bold
Bookman-DemiItalic	Helvetica-Condensed-BoldObl
Candid	Helvetica-Narrow
Chicago	Helvetica-Narrow-Oblique
Clarendon-Light	Helvetica-Narrow-Bold
Clarendon	Helvetica-Narrow-BoldOblique
Clarendon-Bold	HoeflerText-Regular
CooperBlack	HoeflerText-Italic
CooperBlack-Italic	HoeflerText-Black
Copperplate-ThirtyTwoBC	HoeflerText-BlackItalic
Copperplate-ThirtyThreeBC	HoeflerText-Ornaments
Coronet-Regular	JoannaMT
Courier	JoannaMT-Italic
Courier-Oblique	JoannaMT-Bold
Courier-Bold	JoannaMT-BoldItalic
Courier-BoldOblique	LetterGothic
Eurostile	LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold	Univers-Condensed
LetterGothic-BoldSlanted	Univers-CondensedOblique
LubalinGraph-Book	Univers-CondensedBold
LubalinGraph-BookOblique	Univers-CondensedBoldOblique
LubalinGraph-Demi	Univers-Extended
LubalinGraph-DemiOblique	Univers-ExtendedObl
Marigold	Univers-BoldExt
Monaco	Univers-BoldExtObl
MonaLisa-Recut	Wingdings-Regular

NewCenturySchlbk-Roman	ZapfChancery-MediumItalic
NewCenturySchlbk-Italic	ZapfDingbats
NewCenturySchlbk-Bold	HeiseiKakuGothicW5
NewCenturySchlbk-BoldItalic	HeiseiMinchoW3
NewYork	
Optima	
Optima-Italic	
Optima-Bold	
Optima-BoldItalic	
Oxford	
Palatino-Roman	
Palatino-Italic	
Palatino-Bold	
Palatino-BoldItalic	
StempelGaramond-Roman	
StempelGaramond-Italic	
StempelGaramond-Bold	
StempelGaramond-BoldItalic	
Symbol	
Taffy	
Times-Roman	
Times-Italic	
Times-Bold	
Times-BoldItalic	
TimesNewRomanPSMT	
TimesNewRomanPS-ItalicMT	
TimesNewRomanPS-BoldMT	
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT	
Univers-Light	
Univers-LightOblique	
Univers	
Univers-Oblique	
Univers-Bold	
Univers-BoldOblique	

索引

数字
180度回転する 45
1ページ毎に挿入 38, 77

C
ColorSync 100

E
Eメール印刷 165

F
FTP印刷 164

J
JPEG 156

L
lp 124
lptap 124

N
Nin1 ..... 31, 72

P
PDF 156
PostScript (PS) 156
PostScriptエラー 102, 114
PostScriptエラー情報を印刷する 51
[PostScript設定] 48
Printer Command Language (PCL) 156
PRN 156
PS 156

T
[TopAccess] 48
TrueType設定 53

U
USBダイレクト印刷 156
USBメディア 156
USBメディアを抜く 159, 160

X
XML Paper Specification (XPS) 156

あ
[アカウント設定] 56
アプリケーションのPostScriptを優先 51
暗号化PDF 156

い
一覧 110, 122
印刷言語 126
印刷種別 120
印刷ジョブ
　お試し印刷 142
　通常印刷 138
　プライベート印刷 145
　ホールド印刷 149
　無効ジョブ 153
　予約印刷 138
印刷の向き
　Windows 27
印刷品質 109, 116
印刷部数 125
印刷部数と印刷ページ 95, 111
印刷方式 29, 68, 69
印刷向き 133
印刷モード 129
印刷用紙サイズ 26, 67
[インポート] 49

う
上マージン 134
ウォーターマーク 43, 45, 78
裏表紙挿入 37, 75, 108

え
[エクスポート] 49
エラー処理 102, 114

お
オーバーレイファイル 44, 81
オーバーレイファイルで保存 24, 63
お試し印刷 24, 62
　一覧画面 142
　印刷する 143
　削除する 144
オプション構成を設定する 10

か
課金情報 101
拡大縮小 90
[画質] タブ 42
[カスタム] タブ 47
カスタム用紙 85
カスタム用紙サイズ 48, 50, 91
カセット 11, 54
[カセット設定] 11, 55
カセット設定 56, 57
カバーページ 108
カラーマッチング 100
簡易設定 20, 25

き
機種名 11, 54
奇数枚原稿の両面印刷時最終ページに
　白紙を追加する 48
[基本] タブ 26, 67
給紙 102, 114
給紙方法 27
給紙元 128
境界線 96
鏡像 45

く
グループ 30, 68

け
原稿サイズ 26, 67
原稿の上に印刷 44

こ
[効果] タブ 43, 78
[更新] 55
[構成] タブ 11, 54

さ
最初のページのみ印刷する 44
細線をはっきりと印刷する 42, 104, 120
サドルステッチを使用する 35

し
仕上がりサイズ 34
指定ページに挿入 37, 76
自動更新 55

シフト幅 28, 39, 83
周囲に境界線を印刷 31, 73
出力オプション 97, 113
出力形式 51
出力トレイ 127
出力用紙サイズ 99
手動更新 55
手動倍率 26, 67
［状況確認］....161
状況確認
　ジョブ 138
　ログ 161
ジョブタイプ 24, 103, 120
書類をプリント 98

す
スケジューラ 98
ステイプル 32, 73, 106, 118, 126
［すべての設定を標準に戻す］....50
スムージング 42, 109, 116, 130

せ
製本 113

そ
双方向通信を使用する 55
ソート 29, 68
外側マージン 132

た
対象プリンタ 90
タイトル 125
縦横交互 30, 69
タブ紙 28, 39, 83
タブ紙を使用する 39
タブ数 39
タブ幅 28, 39, 83
タブ紙設定 28

ち
置換テーブル編集 53
中央マージン 132
丁合い 95, 111

つ
通常印刷 24
　再開する 140
　削除する 139
　順序を変更する 141
　中断する 140

て
定型サイズ 85
テキスト長 135
テキストラップ 134

と
トナー節約 47, 109, 116, 130
ドライバ給紙元優先 12, 56
トレイの切り替え 102, 114

は
［バージョン情報］....50, 56
ハーフトーン 42, 109, 116
排紙先 36
［排紙先／挿入］タブ 75, 35
排出先 104, 117
排出設定 104, 116
配列 31, 72
はがき 84
白紙は印字しない 48, 130, 104, 120
はじめに 1
バナーオプション 136
バナー給紙元 136
バナーページ 135
バナー用紙タイプ 136
反転 45

ひ
左開き 107, 115
左マージン 134
ビットマップを圧縮する 51
表紙 101
表紙挿入 36, 75, 108
表示タブ設定 47
表紙のタイプ 101
表示ユーザ名 48
［標準に戻す］....25, 35, 46, 56
表紙をプリント 101

ふ
ファイルとして保存 97, 113
フィニッシャ 11, 54
［フィニッシング］タブ 29, 68
フォーマット 97, 113
［フォント］タブ 52
フォントピッチ 133
複製する 38
部数 27, 68, 69, 95, 111
部単位印刷 132
部門コード 13, 14, 49, 103, 120, 121, 130
プライベート印刷 24, 60
　一覧画面 145
　印刷する 147
　削除する 148
プライベート印刷限定 57
プライベート印刷パスワード 122
プリンタの機能 104, 115
プリント 98, 99
プリントするページ 99
プレビューウィンドウ 25

へ
ページ 95, 111
ページ数／枚 96, 112
ページ属性 90
ページ長 133
ページの順序 35, 99, 100
ページの順序を逆にする 98
ページレイアウト 132
ヘルプ 25

ほ
方向 90
ホールド印刷 24, 61
　一覧画面 149
　印刷する 151
　削除する 152
ホールド印刷限定 57
ホールパンチ 33, 74, 117, 127
ホールパンチユニット 11, 55, 105
細線モード 130
本体に保存 25, 64, 65

ま
マガジンソート 30, 70, 107, 115
マガジンソート印刷 131
マガジンソート外側余白 107, 115
マガジンソート中央余白 107, 115
マガジンソート用紙サイズ 107, 115
マガジンソート設定 34

み
右マージン 134

む
無効ジョブ
　一覧画面 153
　印刷する 154
　削除する 155

も
文字を黒で印刷する 42

ゆ
ユーザ認証を使用する 57
優先順位 98

よ
用紙サイズ 90, 129
用紙処理 98
用紙タイプ 27, 127
余白を編集する 34
予約印刷 24, 59
　再開する 140
　削除する 139
　順序を変更する 141
　中断する 140

り
両面 97
両面印刷 30, 69, 70, 113, 128
両面にプリントする 113
履歴 161

れ
レイアウト 96, 112
レイアウト方向 96, 112

わ
枠線 112

東芝デジタル複写機
印刷ガイド

e-STUDIO255/355/455

＜開発・製造元＞
東芝テック株式会社

＜販売元＞
東芝テックビジネスソリューション株式会社

QUALITY SERVICE

© 2009 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

R081120G9000-TTEC
2009-03